

瑞浪市市民生活の現状についての アンケート調査報告書

令和8年8月

瑞 浪 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	アンケート調査における標本誤差.....	1
7	調査結果の表示方法.....	2
II	調査結果.....	3
1	回答者属性.....	3
2	瑞浪市の暮らしやすさについて.....	7
3	みなさんの暮らしの現状などについて.....	13
4	まちの現状について.....	22
5	みなさんの幸福度について.....	33
6	その他のご質問.....	40
7	瑞浪市のまちづくりについて自由な意見をお聞かせください。.....	45
III	資料編（調査票）	

I 調査の概要

1 調査の目的

『第7次瑞浪市総合計画（計画期間：2024年度～2033年度）』では、まちづくりの進捗具合を数値で測るための「指標」を設けており、その現状値を把握することを目的として実施したものです。

2 調査対象

市内在住の18歳以上の市民から無作為抽出した1,000人

3 調査期間

令和8年6月1日から令和8年6月30日

4 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
1,000件	502件	50.2%

6 アンケート調査における標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいですが、実際には適切な数の標本を抽出して調査を行うことになります。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要となります。その精度は、以下の式で表される標本誤差を算出することで把握できます。

$$b = k \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

b＝標本誤差、N＝母集団数、n＝回答者数、P＝回答の比率、k＝信頼度による定数kは信頼度の設定により変わり、信頼度95%の場合、k＝1.96となります。信頼度95%とは、100回に5回がその標本誤差の範囲内におさまらないという意味であり、通常のアンケートでは信頼度として95%がとられるケースが多いとされています。

以下の表に本調査における信頼度 95% の場合の標本誤差の早見表を整理します。

回答比率 回答者数	10% 90%	20% 80%	30% 70%	40% 60%	50%
502	±2.60%	±3.47%	±3.98%	±4.25%	±4.34%
400	±2.92%	±3.89%	±4.46%	±4.77%	±4.87%
300	±3.38%	±4.50%	±5.16%	±5.52%	±5.63%
200	±4.14%	±5.53%	±6.33%	±6.77%	±6.91%

※母集団数：30,103 人（令和 8 年 5 月 1 日現在の満 18 歳以上の市民）

この表の見方は、例えば、「設問の回答数が 502 票あり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±4.25% 以内（55.75%～64.25%）である」とみることができます。

7 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・クロス集計において回答者数が 1 桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

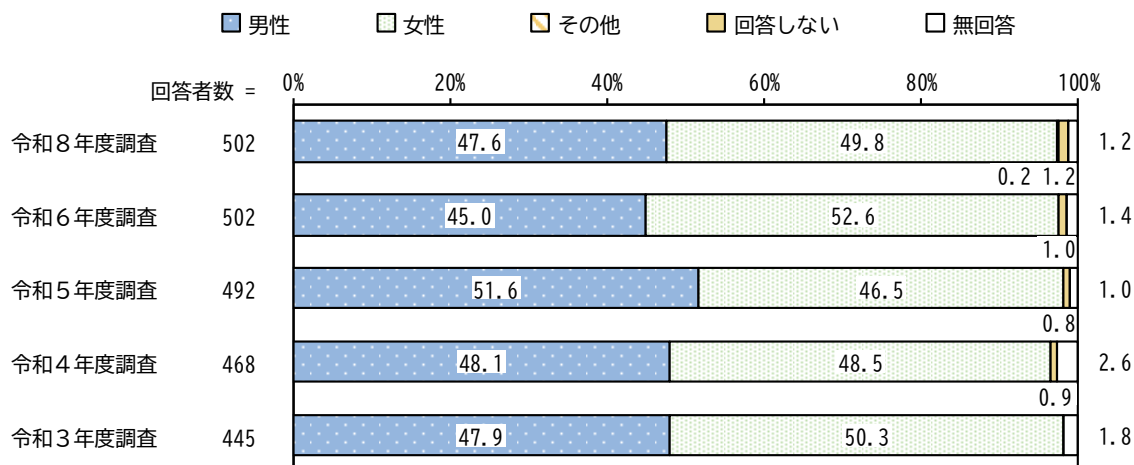
Ⅱ 調査結果

1 あなた（回答者）ご自身について

設問1 あなたの性別は？＜1つに○印＞※ご自身の主観によりご記入ください。

「男性」の割合が47.6%、「女性」の割合が49.8%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。

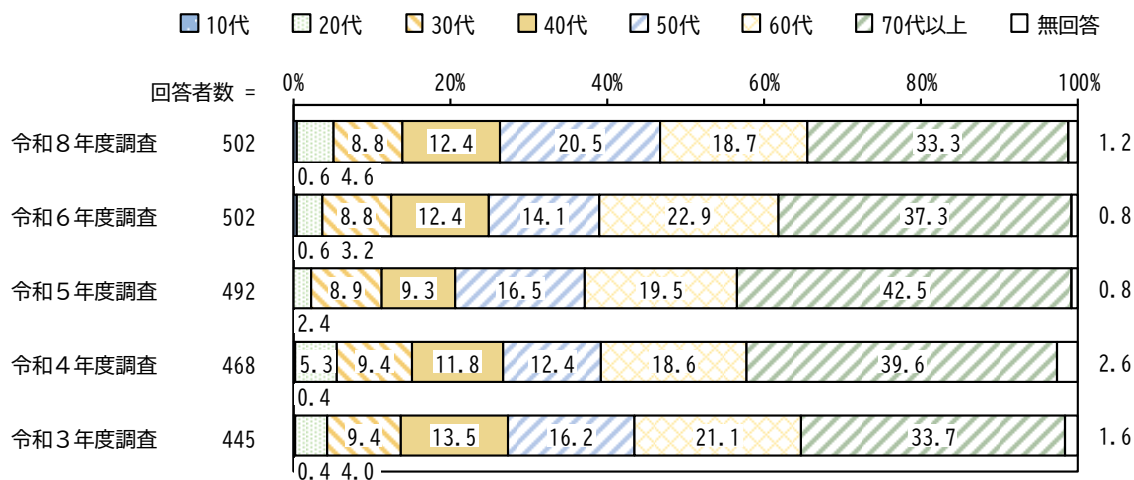


※令和5年度調査より「その他」の選択肢を新設しています。

設問2 あなたの年齢は？＜1つに○印＞※回答日時点の年齢

「70代以上」の割合が33.3%と最も高く、次いで「50代」の割合が20.5%、「60代」の割合が18.7%となっています。

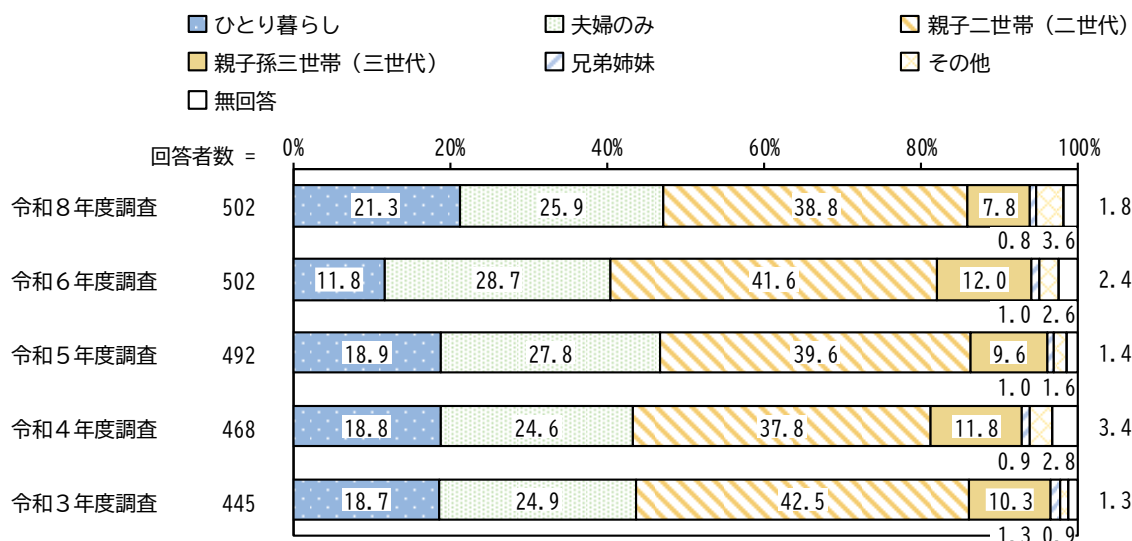
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「50代」の割合が増加しています。



設問3 ご家族の構成は？＜1つに○印＞

「親子二世帯（二世帯）」の割合が38.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が25.9%、「ひとり暮らし」の割合が21.3%となっています。

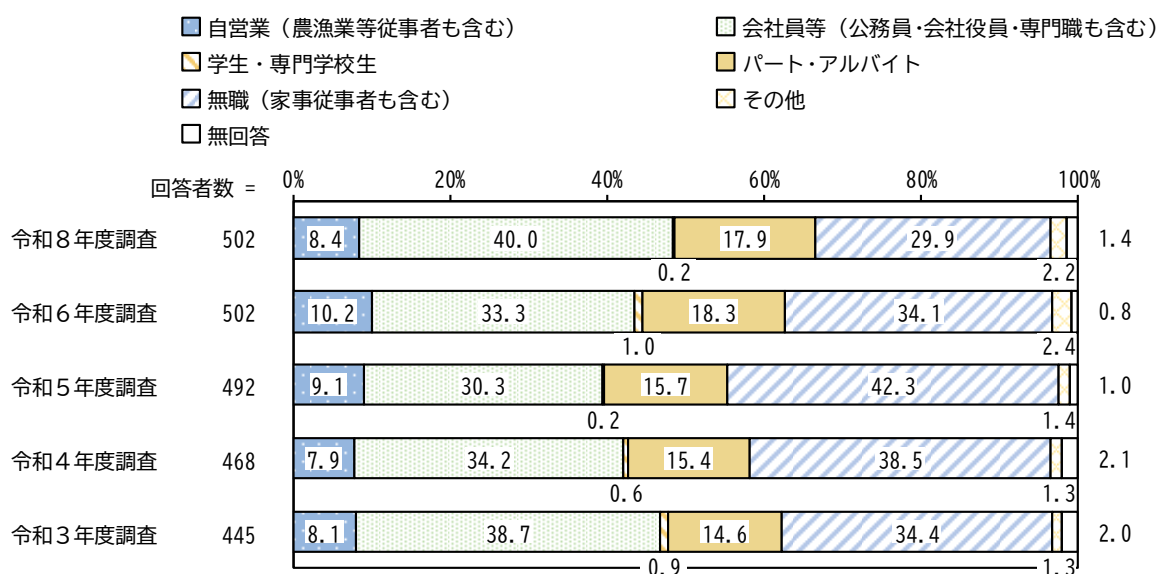
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「ひとり暮らし」の割合が増加しています。



設問4 あなたの職業は？＜1つに○印＞

「会社員等（公務員・会社役員・専門職も含む）」の割合が40.0%と最も高く、次いで「無職（家事従事者も含む）」の割合が29.9%、「パート・アルバイト」の割合が17.9%となっています。

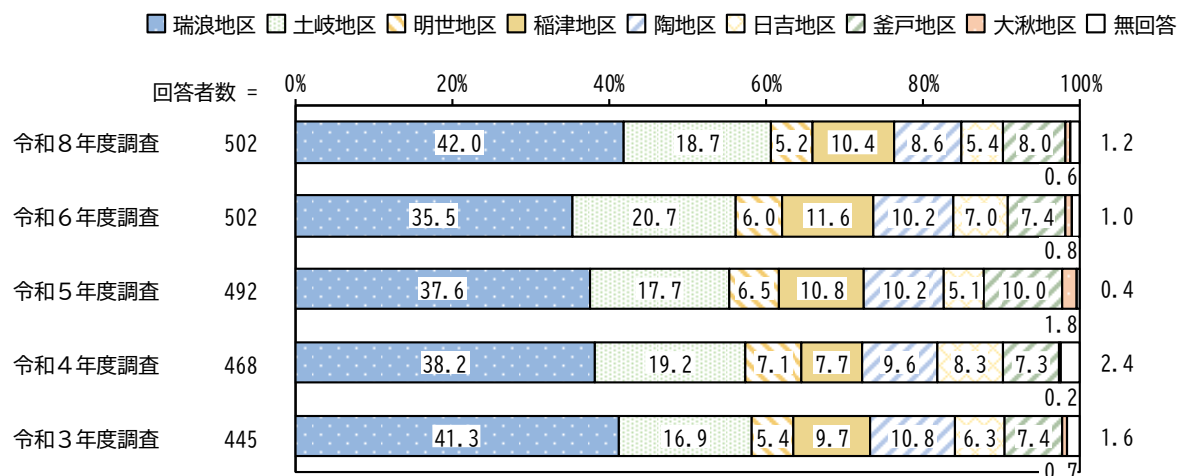
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「会社員等（公務員・会社役員・専門職も含む）」の割合が増加しています。



設問5 あなたのお住まいの地区は？＜1つに○印＞

「瑞浪地区」の割合が42.0%と最も高く、次いで「土岐地区」の割合が18.7%、「稲津地区」の割合が10.4%となっています。

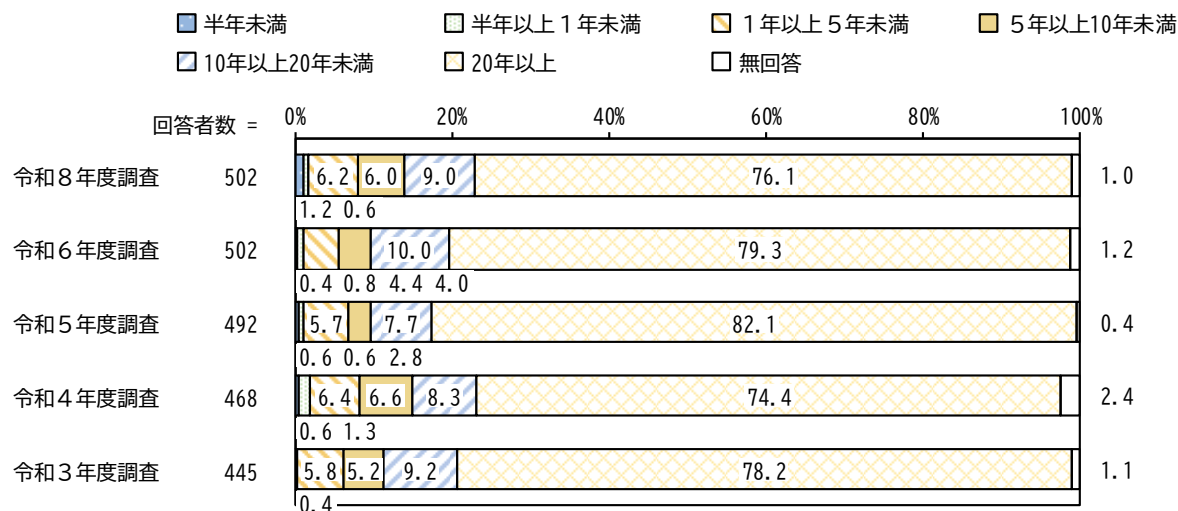
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「瑞浪地区」の割合が増加しています。



設問6 あなたは瑞浪市に住んで、通算何年になりますか？＜1つに○印＞

「20年以上」の割合が76.1%と最も高くなっています。

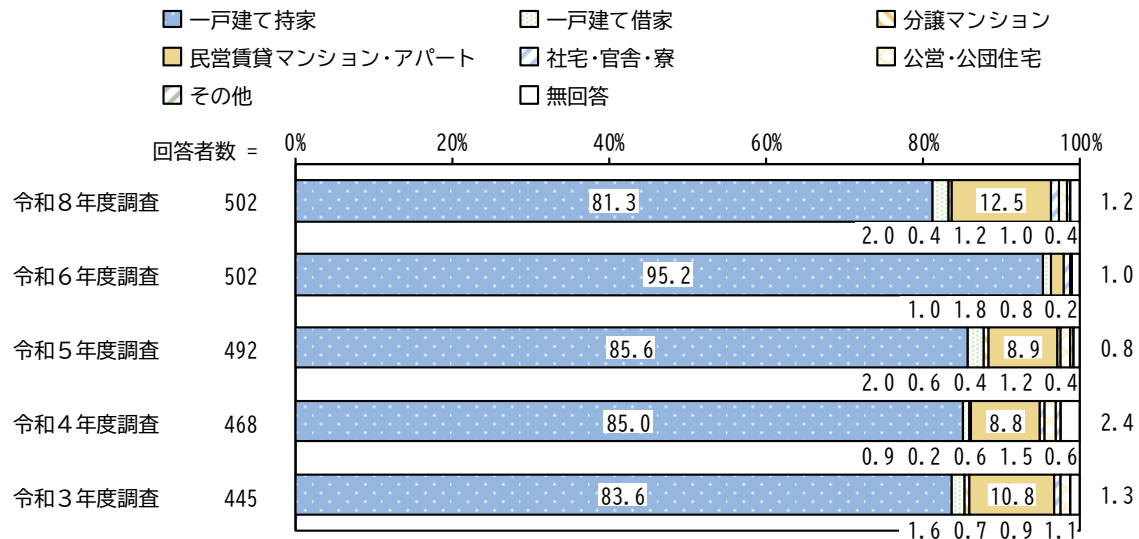
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



設問7 現在、お住まいの住宅の種類は？＜1つに○印＞

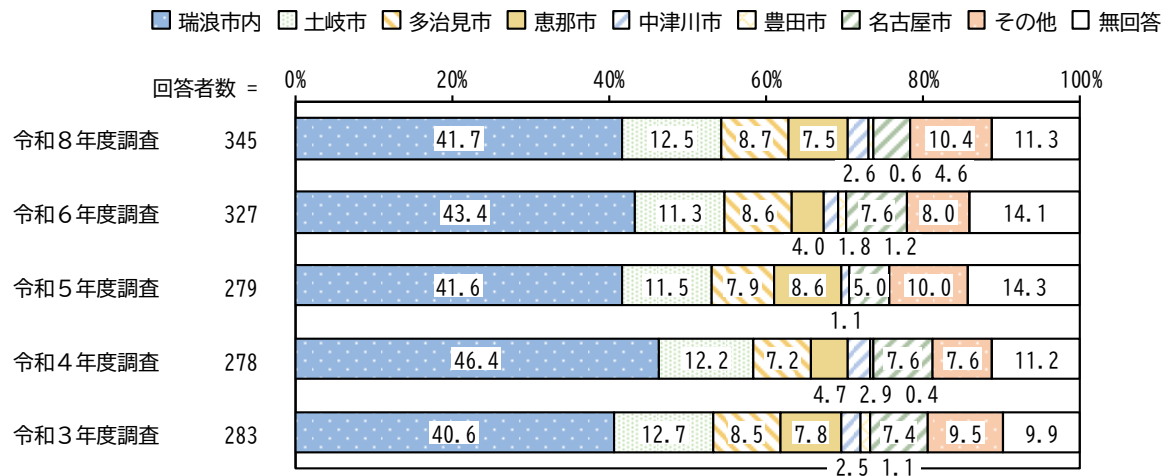
「一戸建て持家」の割合が 81.3%と最も高く、次いで「民営賃貸マンション・アパート」の割合が 12.5%となっています。

過去調査と比較すると、令和6年度調査から「民営賃貸マンション・アパート」の割合が増加しています。一方、「一戸建て持家」の割合が減少しています。



設問8 【通勤・通学者のみ】あなたの通勤・通学先はどこですか？＜1つに○印＞

「瑞浪市内」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「土岐市」の割合が 12.5%となっています。過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。

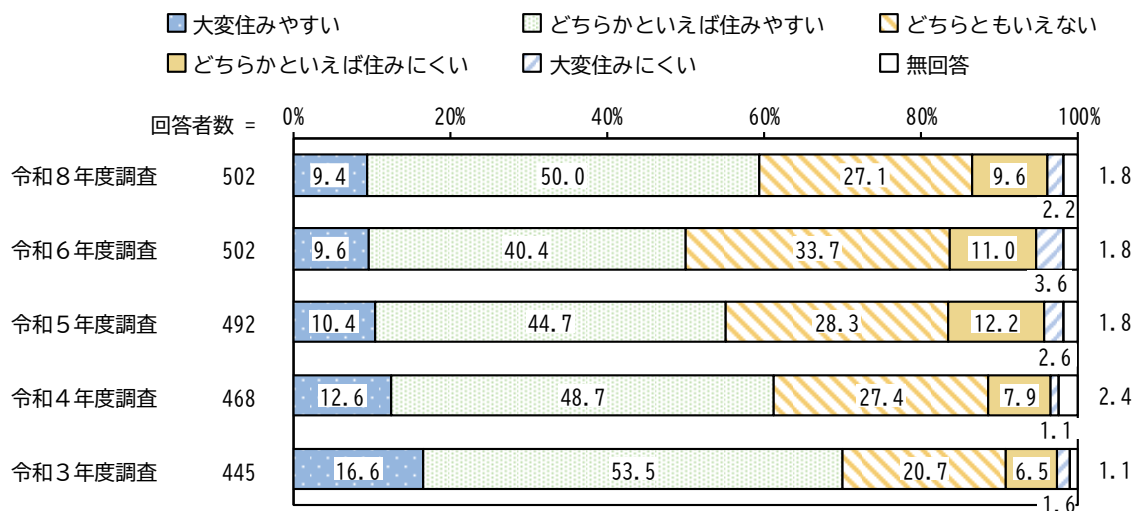


2 瑞浪市の暮らしやすさについて

設問9 瑞浪市は住みよいところだと感じますか？＜1つに○印＞

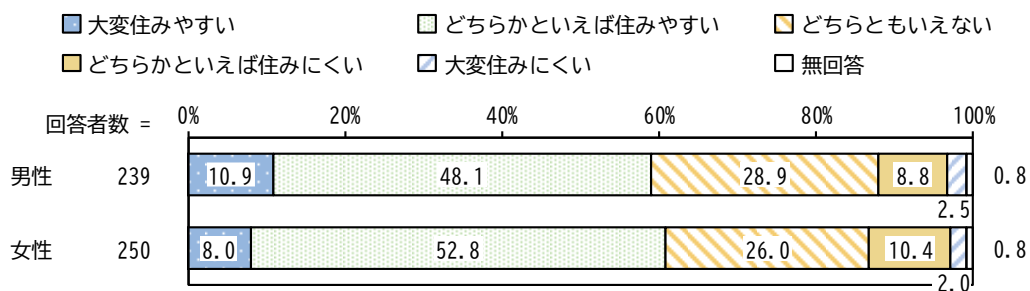
「大変住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が59.4%、「どちらかといえば住みにくい」「大変住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が11.8%となっています。

過去調査と比較すると、令和6年度調査から“住みやすい”の割合が増加しています。



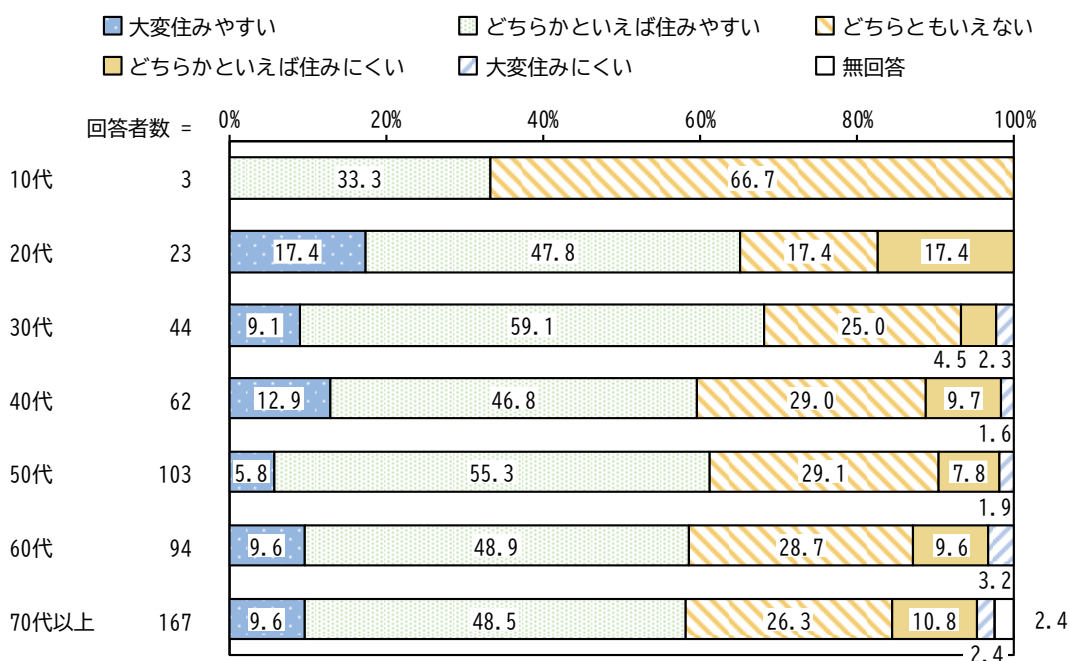
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



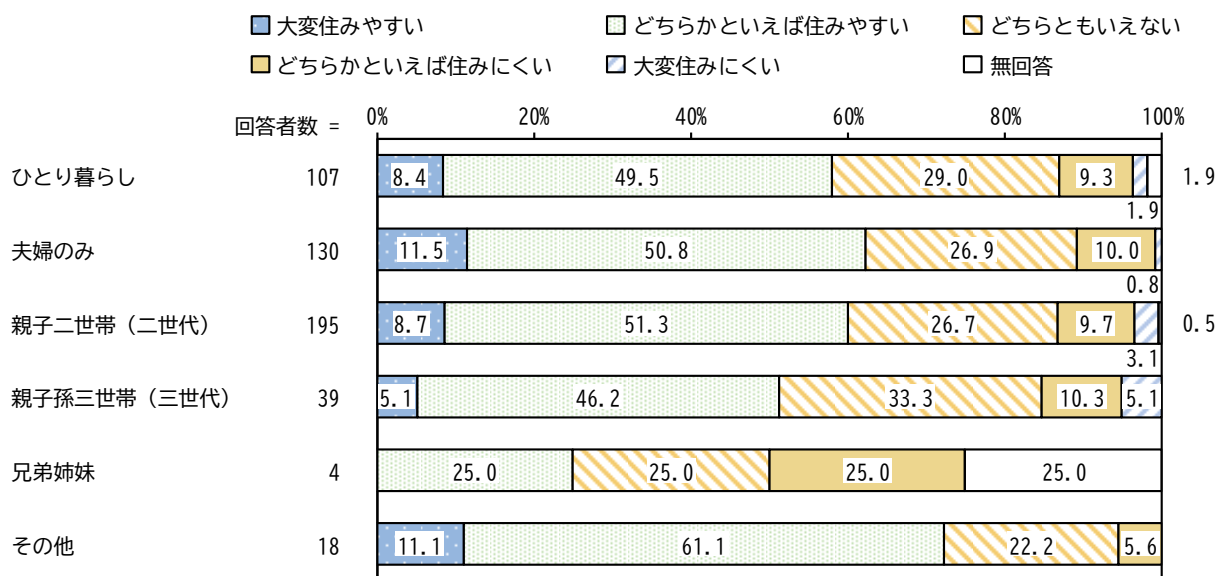
【年代別】

年代別にみると、30代で“住みやすい”、20代で“住みにくい”の割合が高くなっています。



【家族構成別】

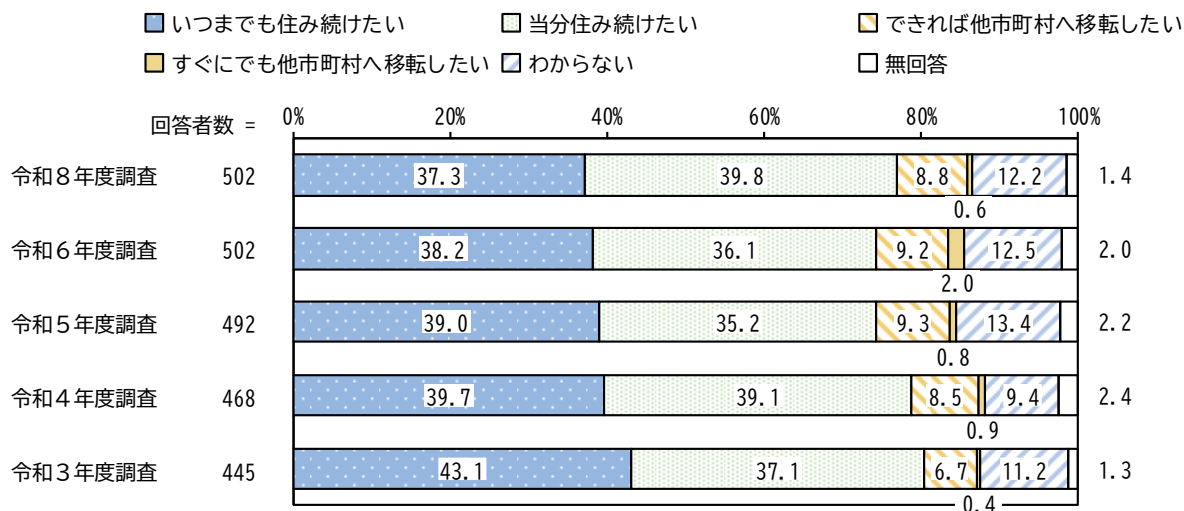
家族構成別にみると、親子孫三世帯（三世代）で“住みやすい”の割合が低くなっています。



設問 10 これからも瑞浪市に住み続けたいと思いますか？＜1 つに○印＞

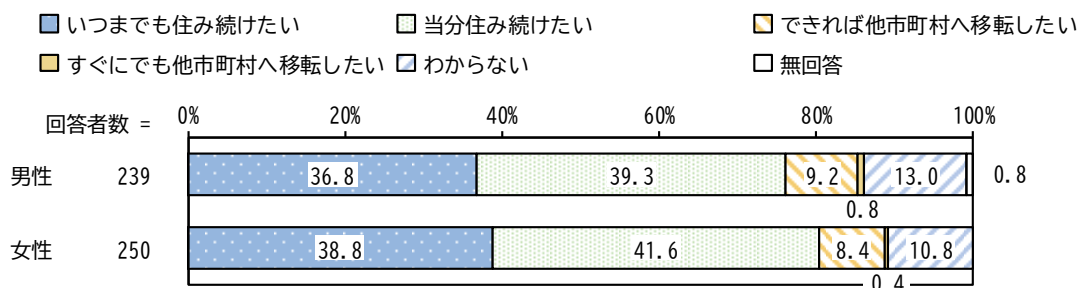
「いつまでも住み続けたい」「当分住み続けたい」を合わせた“住み続けたい”の割合が 77.1%、「できれば他市町村へ移転したい」「すぐにでも他市町村へ移転したい」を合わせた“移転したい”の割合が 9.4%となっています。

過去調査と比較すると、令和 3 年度調査から「いつまでも住み続けたい」の割合が減少しています。



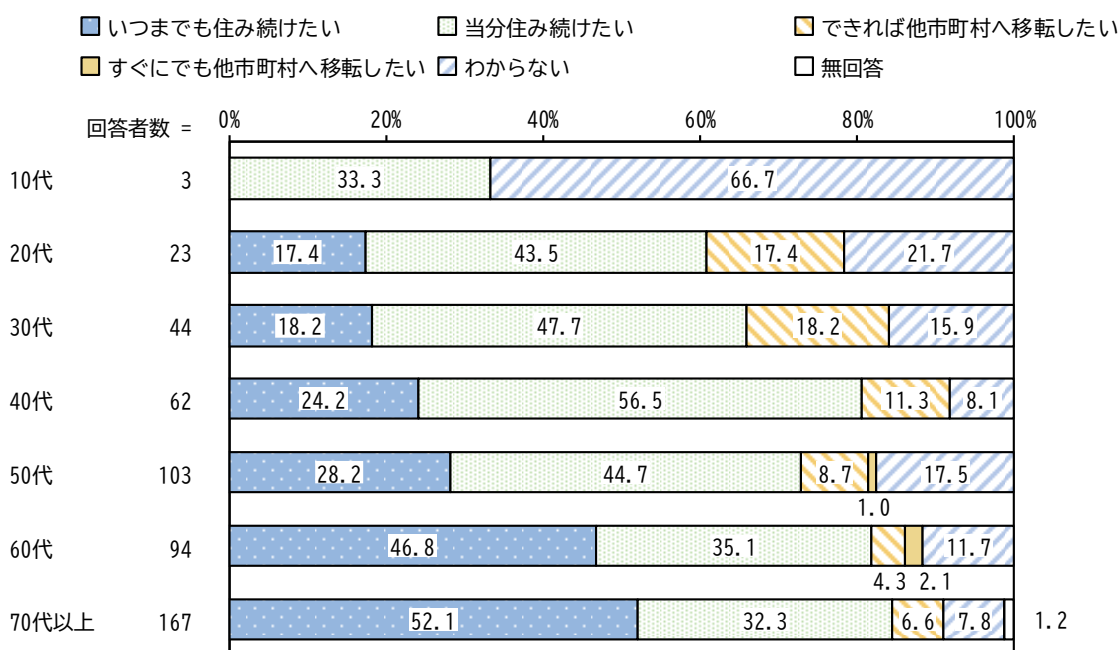
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



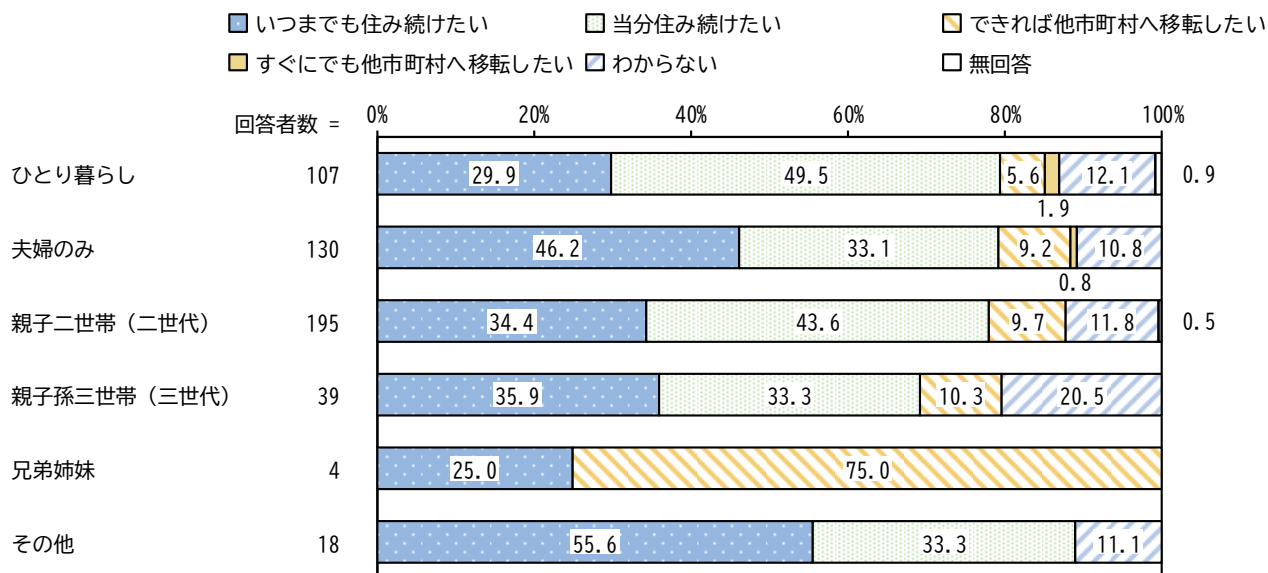
【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるにつれ、「いつまでも住み続けたい」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

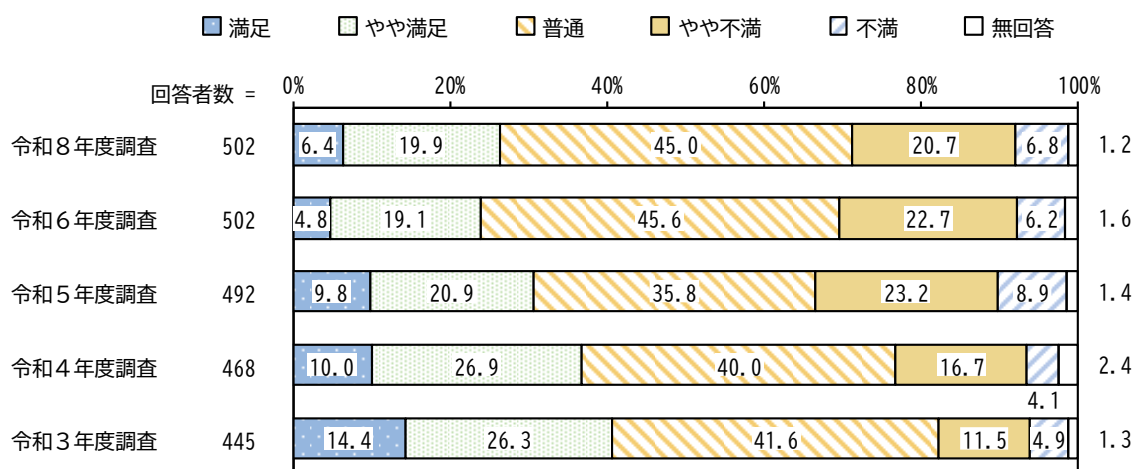
家族構成別にみると、ひとり暮らし、夫婦のみ、親子二世帯（二世帯）と比較し、親子孫三世帯（三世帯）で“住み続けたい”の割合が低くなっています。



設問 11 瑞浪市の現状について、あなたはどのように感じていますか？＜1つに○印＞

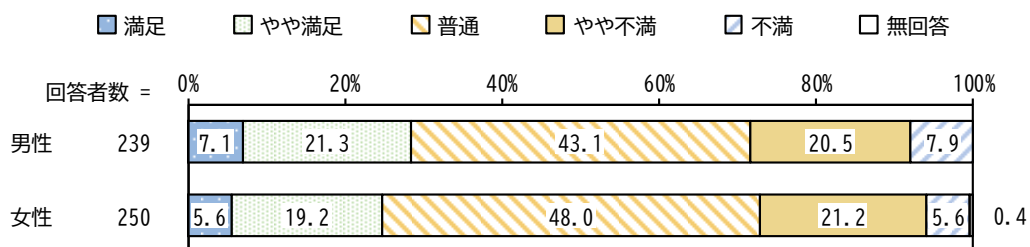
「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が26.3%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が27.5%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



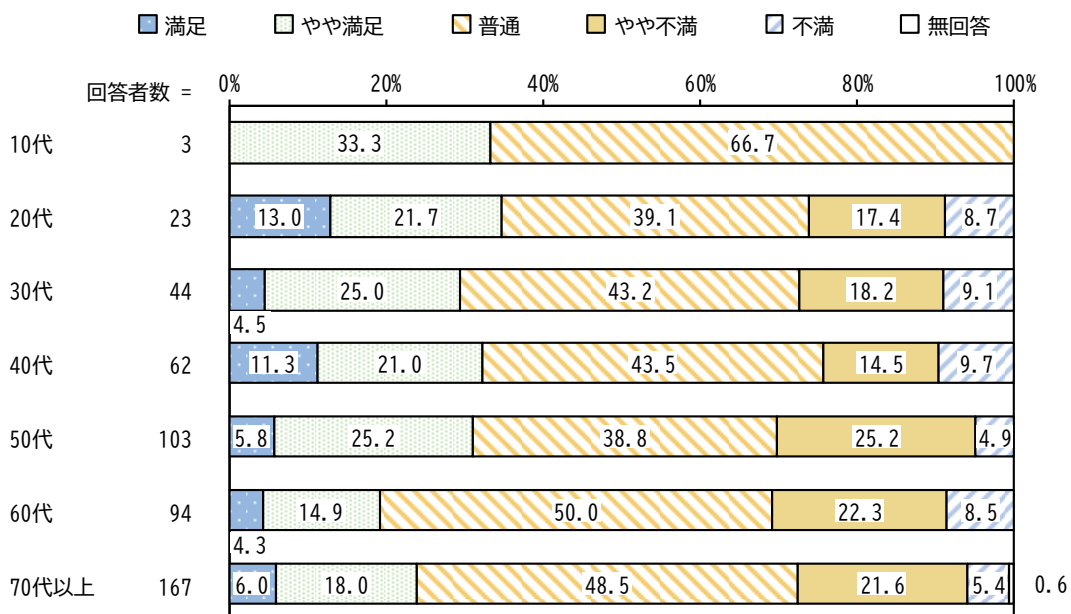
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



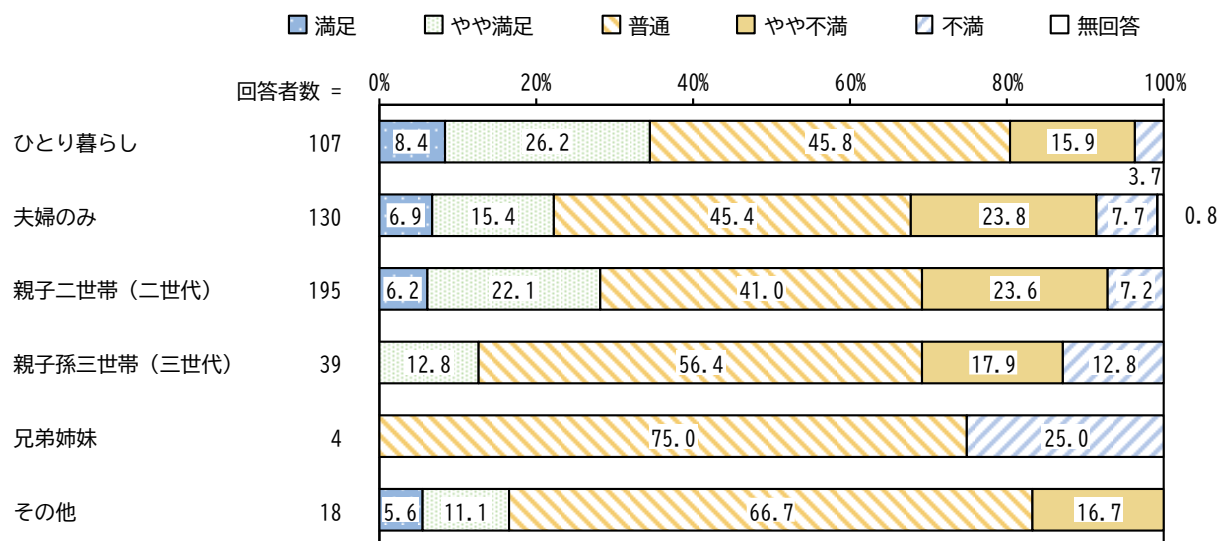
【年代別】

年代別にみると、20代、40代で“満足”の割合が高くなっています。



【家族構成別】

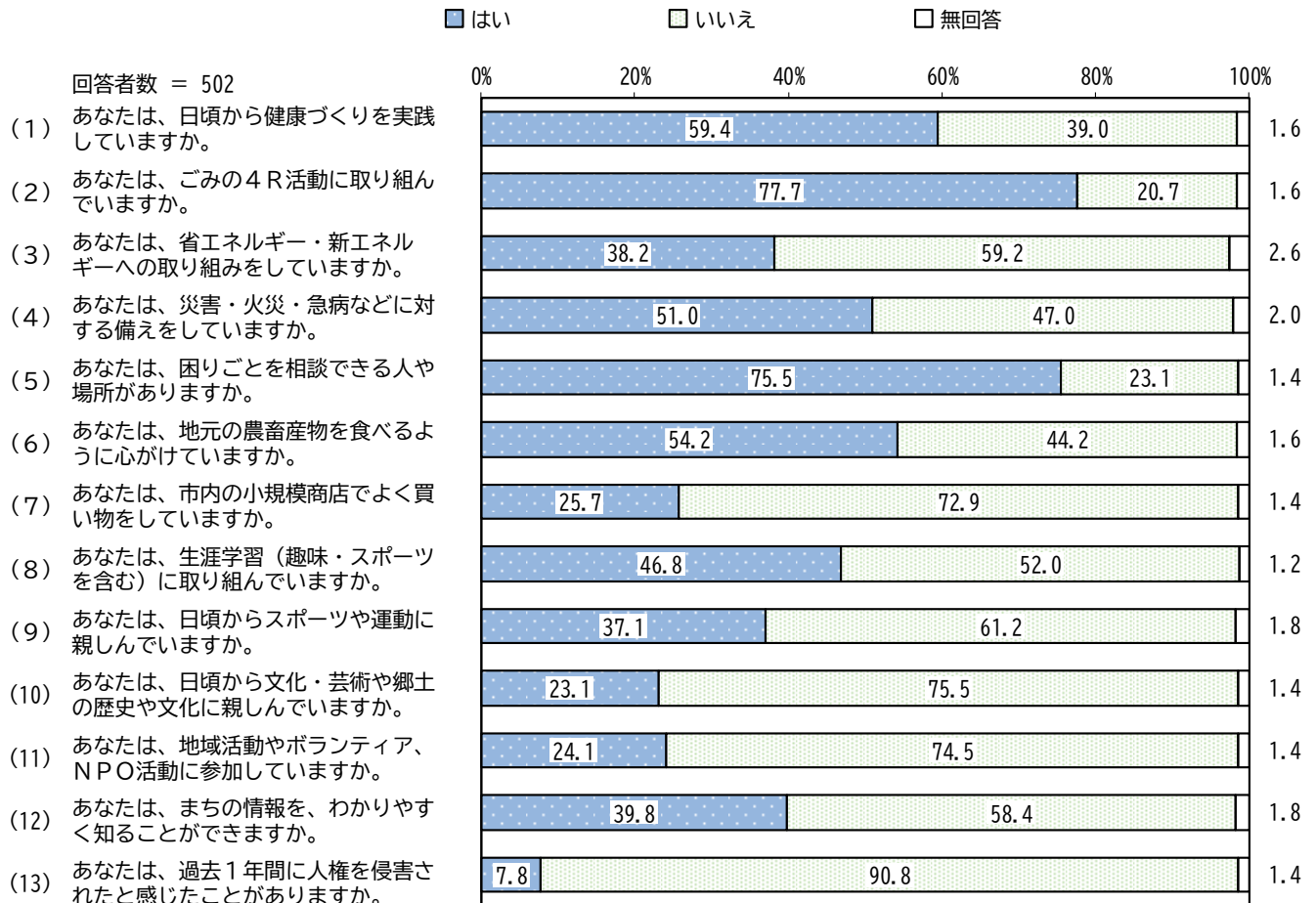
家族構成別にみると、ひとり暮らし、夫婦のみ、親子二世帯（二世代）と比較し、親子孫三世帯（三世帯）で“満足”の割合が低くなっています。



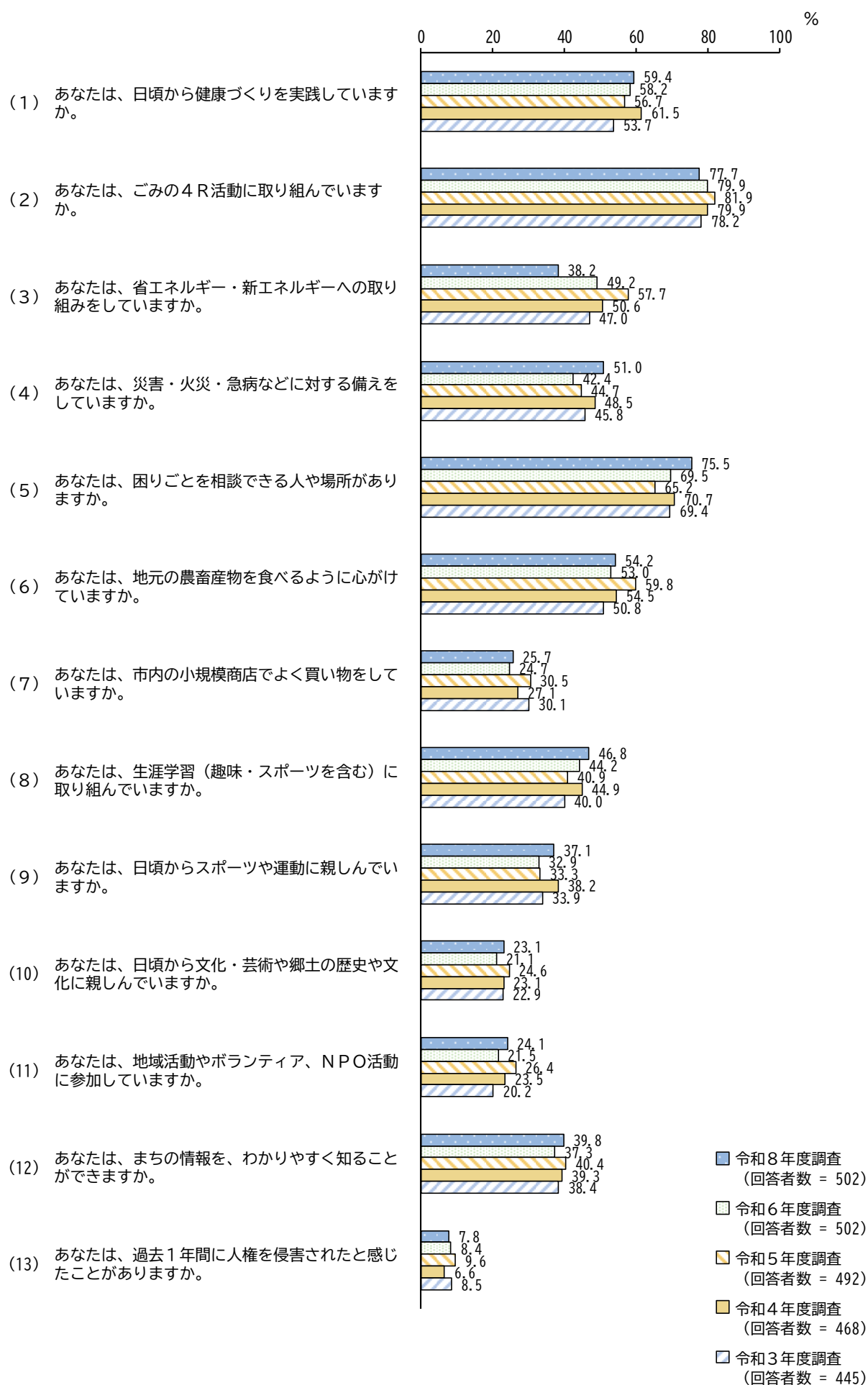
3 みなさんの暮らしの現状などについて

設問 12 日常生活に関する次の各項目について、「はい」または「いいえ」のうち、あなたの状況にあてはまる方をそれぞれ1つ選んで○印をつけてください。

『(2) あなたは、ごみの4 R活動に取り組んでいますか。』で「はい」が、『(13) あなたは、過去1年間に人権を侵害されたと感じたことがありますか。』で「いいえ」が高くなっています。



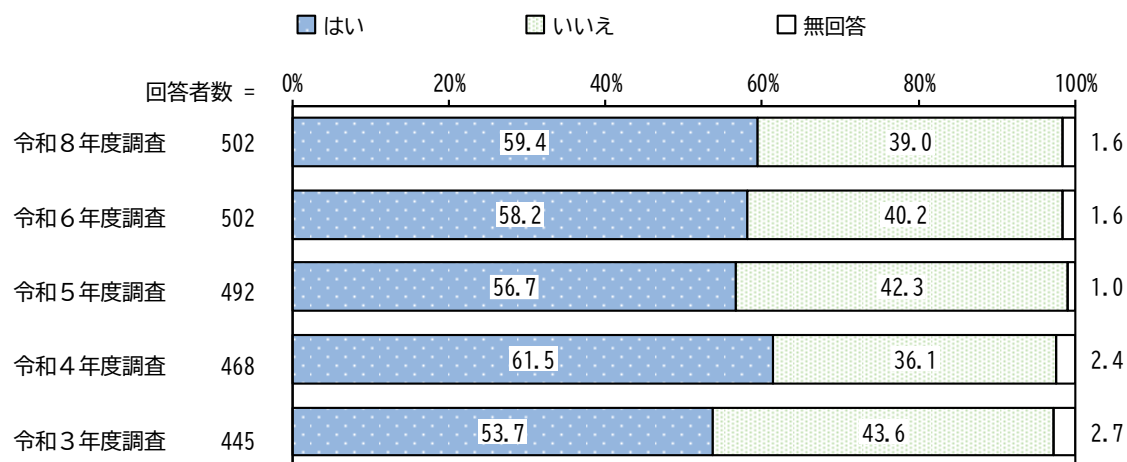
【経年比較】（「はい」と答えた人の割合）



(1) あなたは、日頃から健康づくりを実践していますか。

【経年比較】

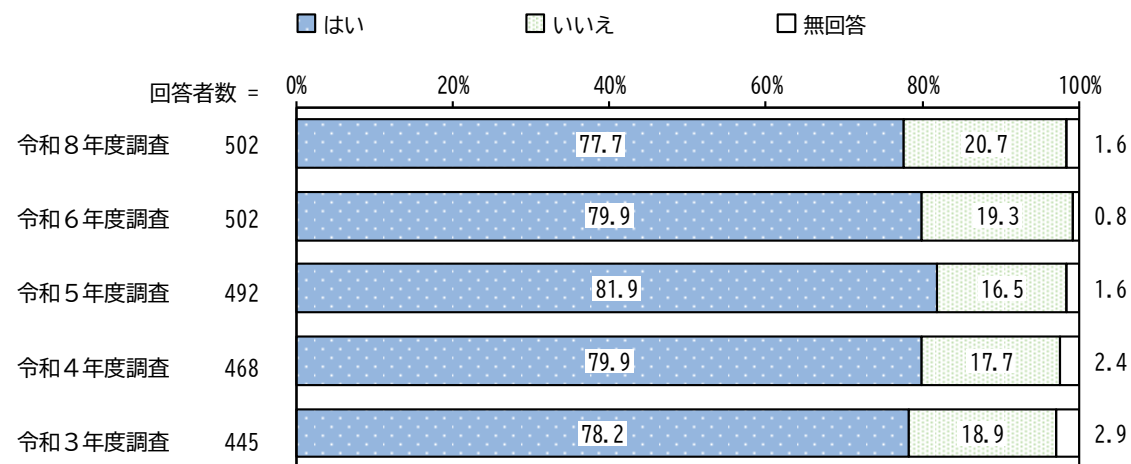
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(2) あなたは、ごみの4 R活動に取り組んでいますか。

【経年比較】

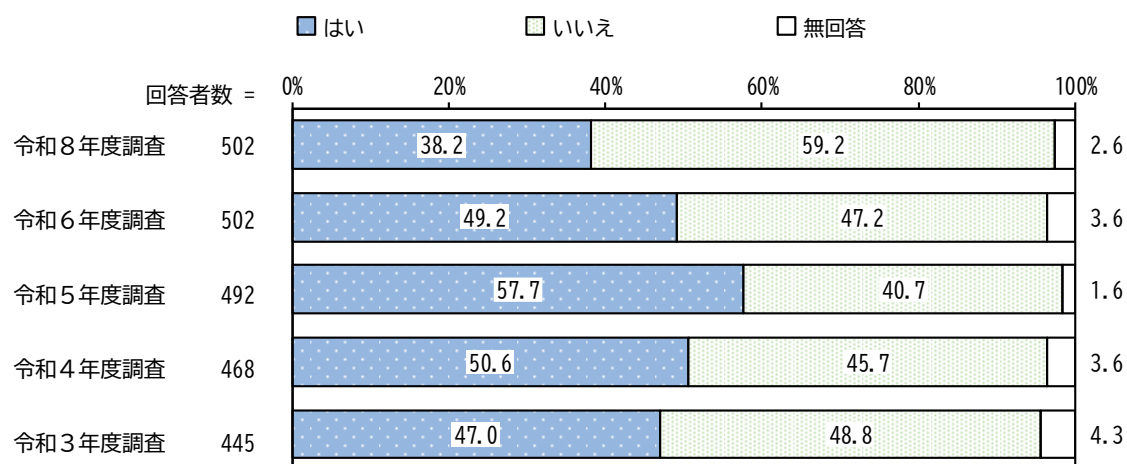
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(3) あなたは、省エネルギー・新エネルギーへの取り組みをしていますか。

【経年比較】

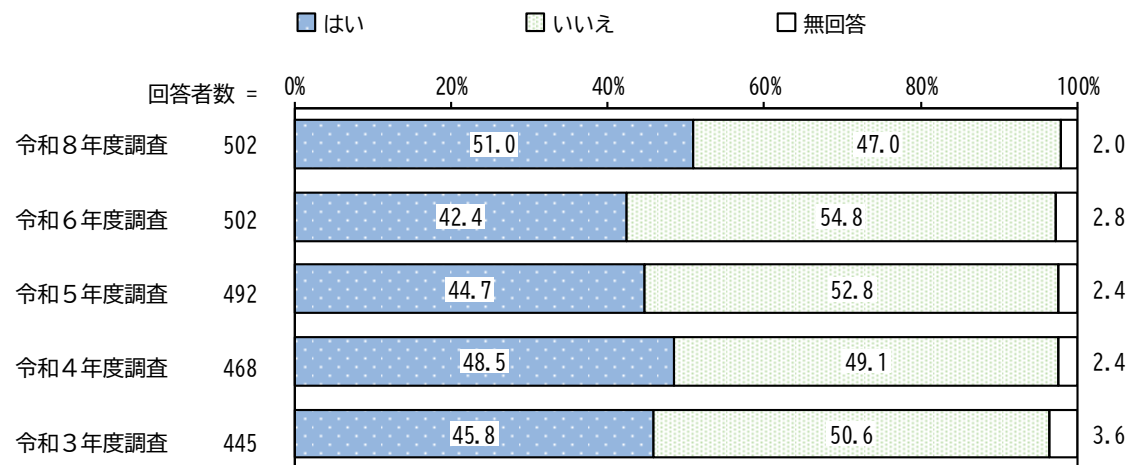
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「はい」の割合が11.0ポイント減少し、「いいえ」の割合が12.0ポイント増加しています。



(4) あなたは、災害・火災・急病などに対する備えをしていますか。

【経年比較】

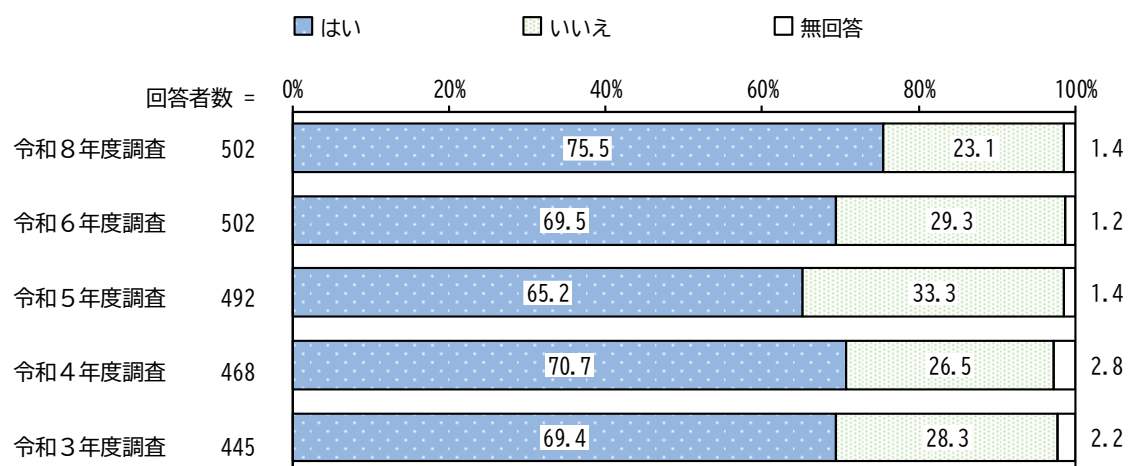
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「はい」の割合が8.6ポイント増加し、「いいえ」の割合が7.8ポイント減少しています。



(5) あなたは、困りごとを相談できる人や場所がありますか。

【経年比較】

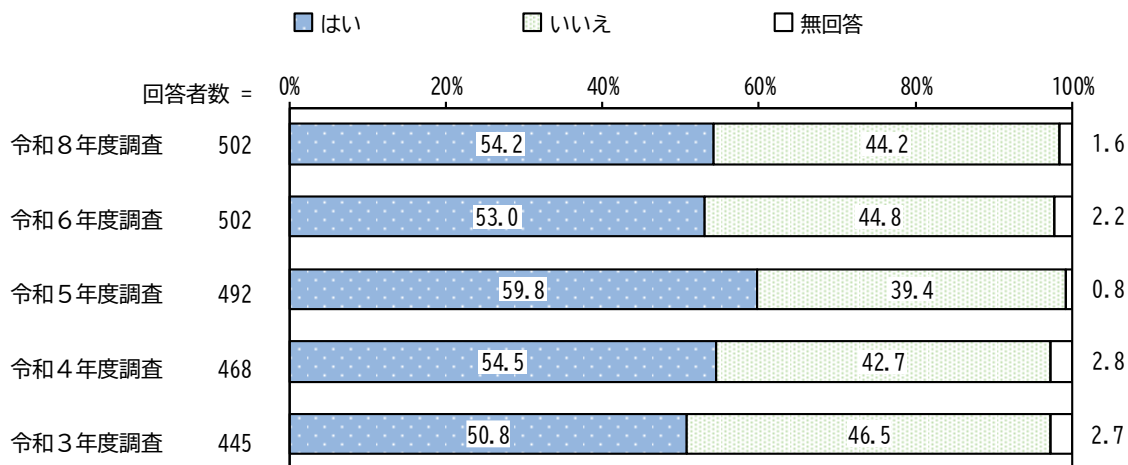
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「はい」の割合が6.0ポイント増加し、「いいえ」の割合が6.2ポイント減少しています。



(6) あなたは、地元の農畜産物を食べるように心がけていますか。

【経年比較】

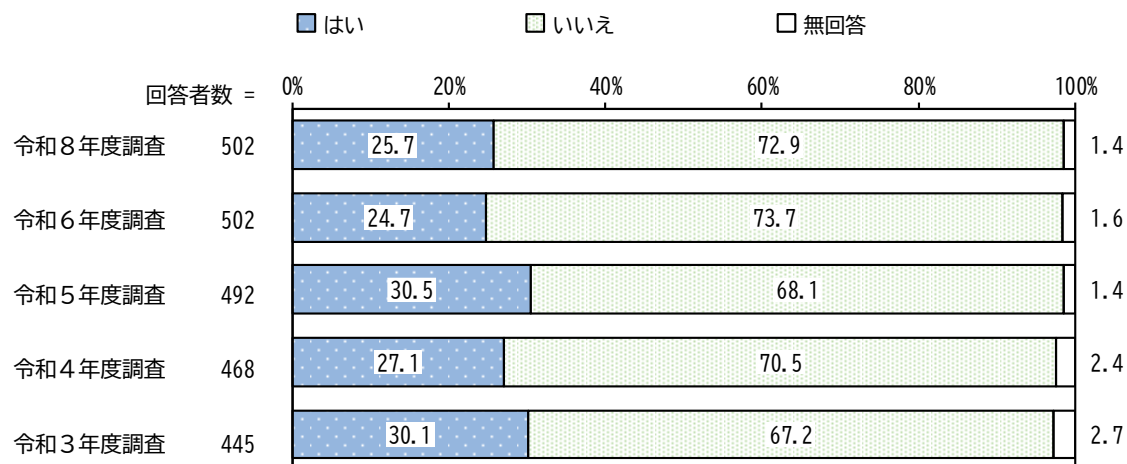
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(7) あなたは、市内の小規模商店でよく買い物をしていますか。

【経年比較】

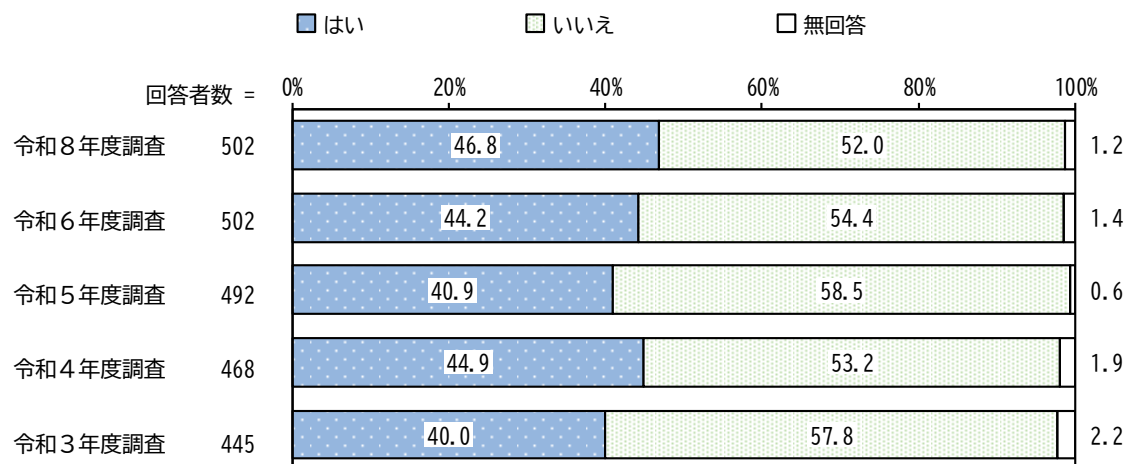
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(8) あなたは、生涯学習（趣味・スポーツを含む）に取り組んでいますか。

【経年比較】

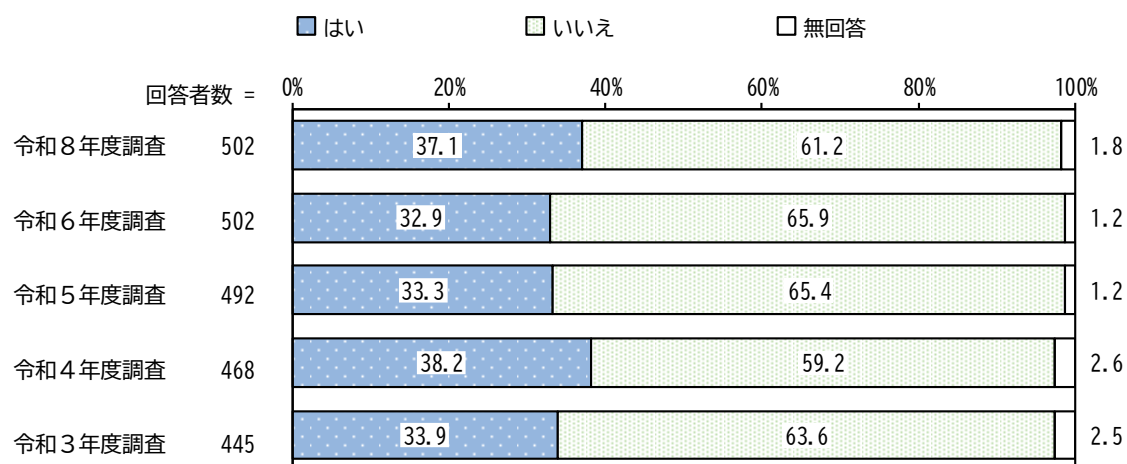
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(9) あなたは、日頃からスポーツや運動に親しんでいますか。

【経年比較】

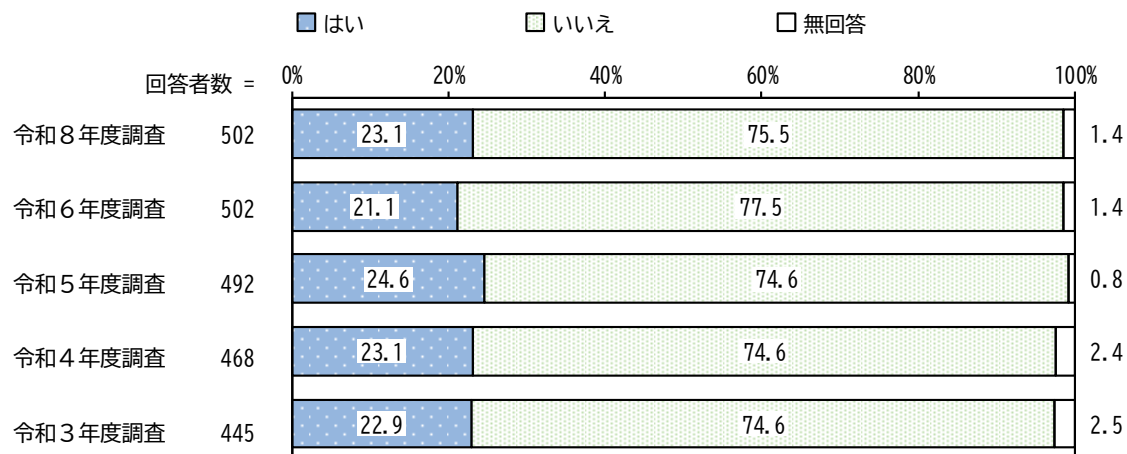
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「はい」の割合が4.2ポイント増加し、「いいえ」の割合が4.7ポイント減少しています。



(10) あなたは、日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいますか。

【経年比較】

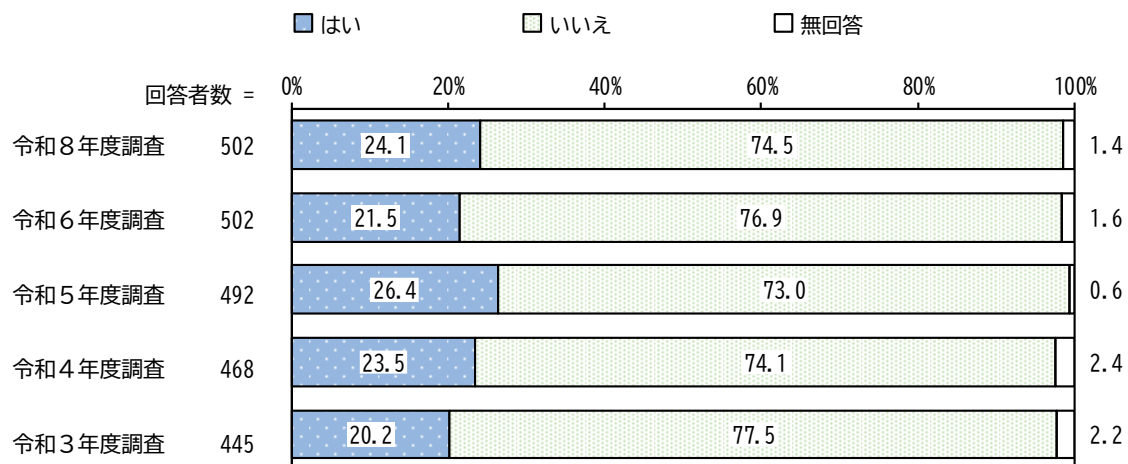
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(11) あなたは、地域活動やボランティア、NPO活動に参加していますか。

【経年比較】

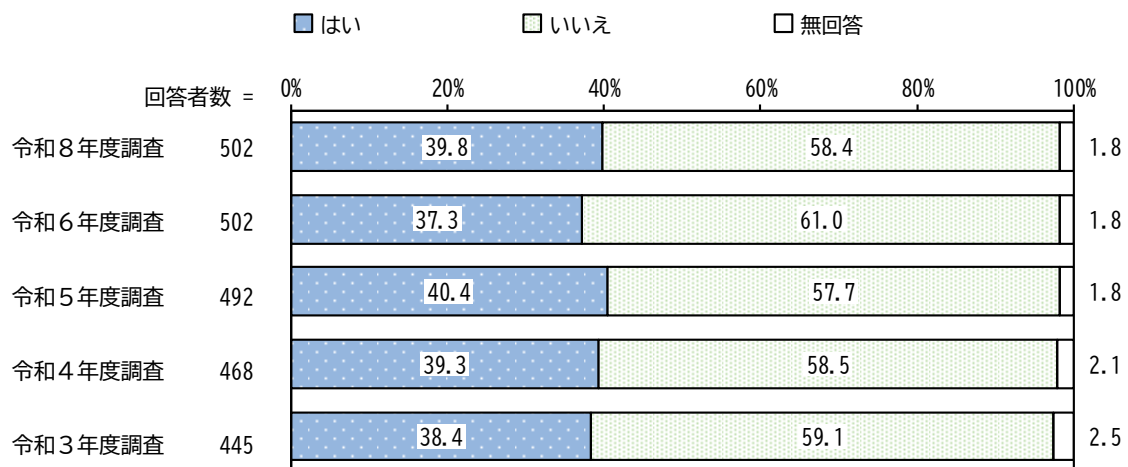
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(12) あなたは、まちの情報を、わかりやすく知ることができますか。

【経年比較】

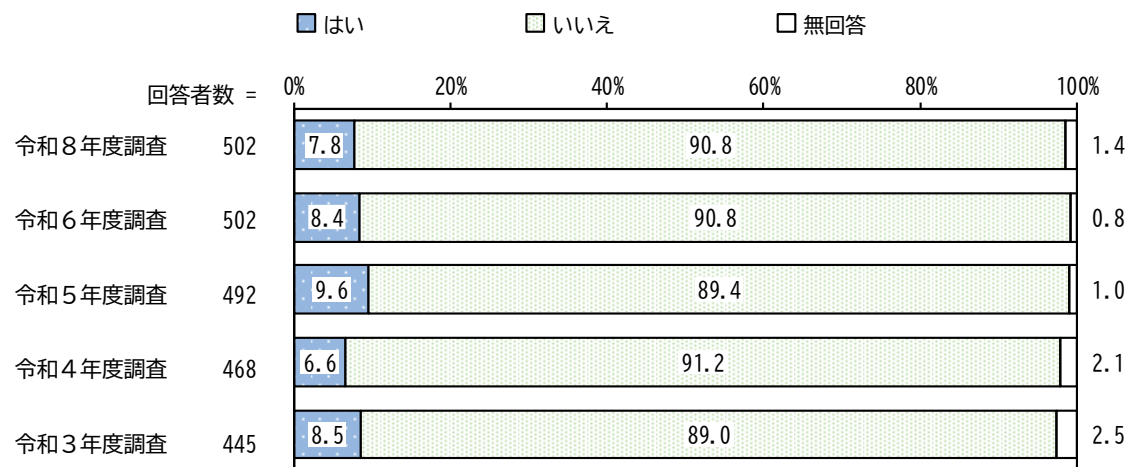
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(13) あなたは、過去1年間に人権を侵害されたと感じたことがありますか。

【経年比較】

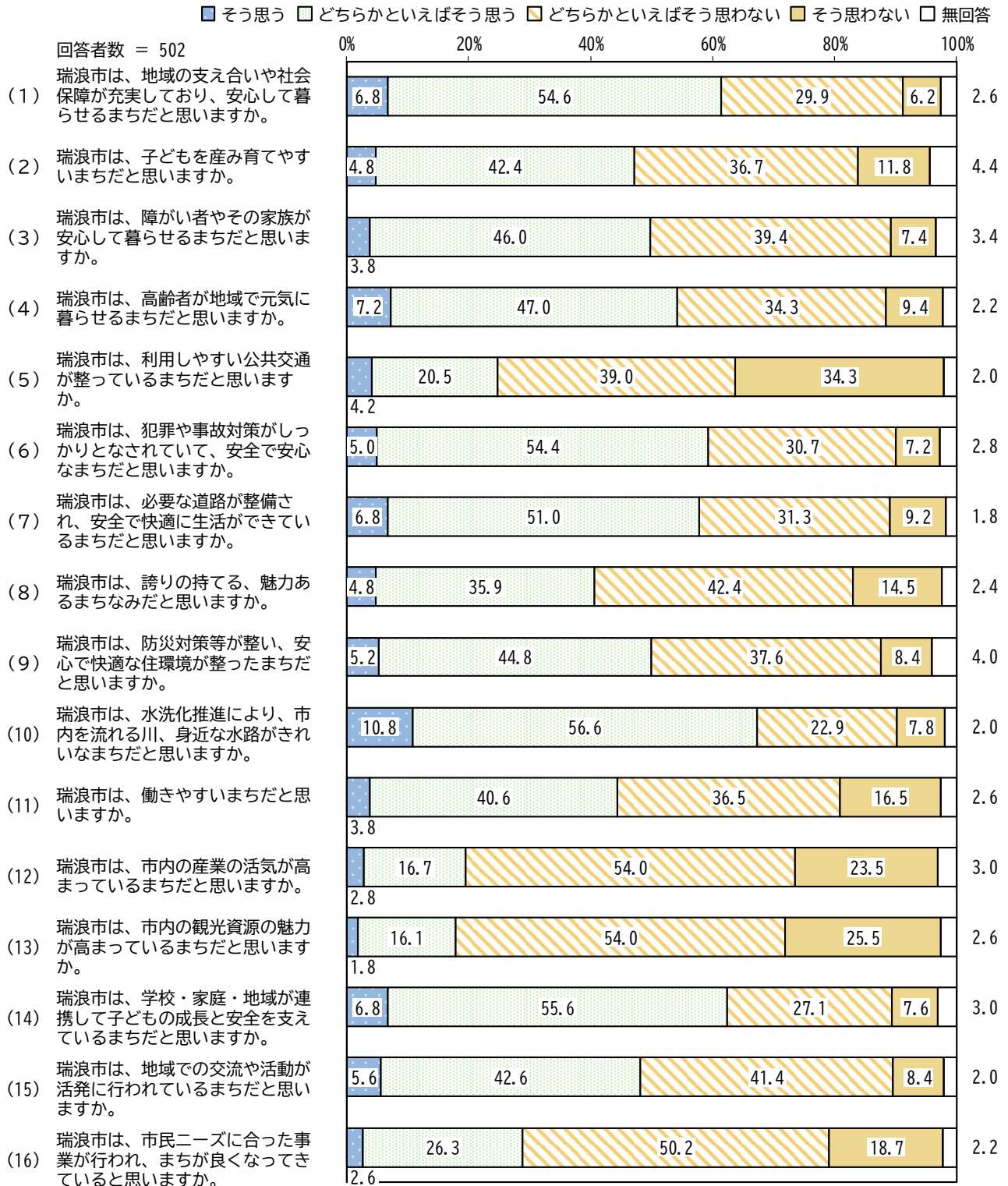
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



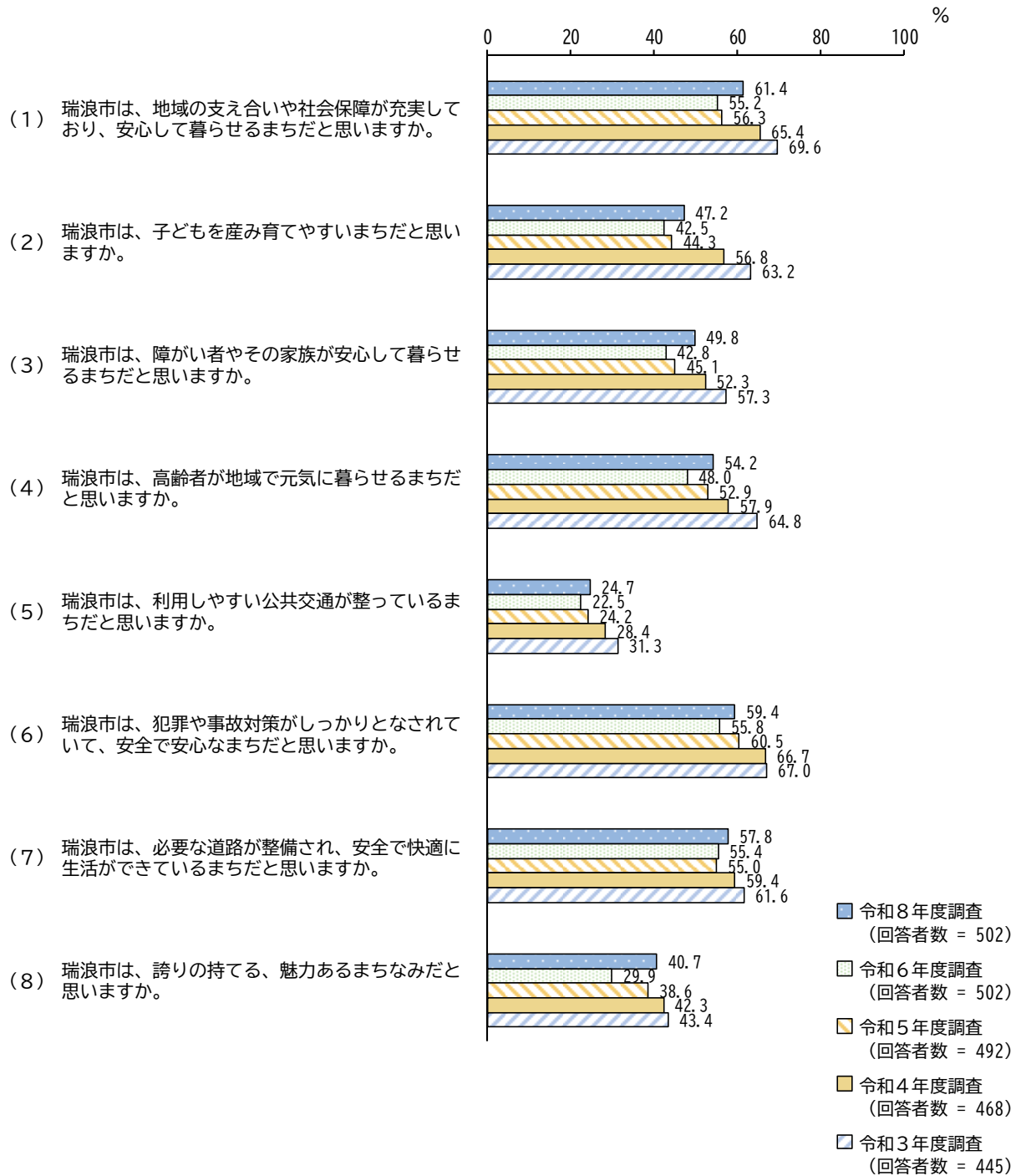
4 まちの現状について

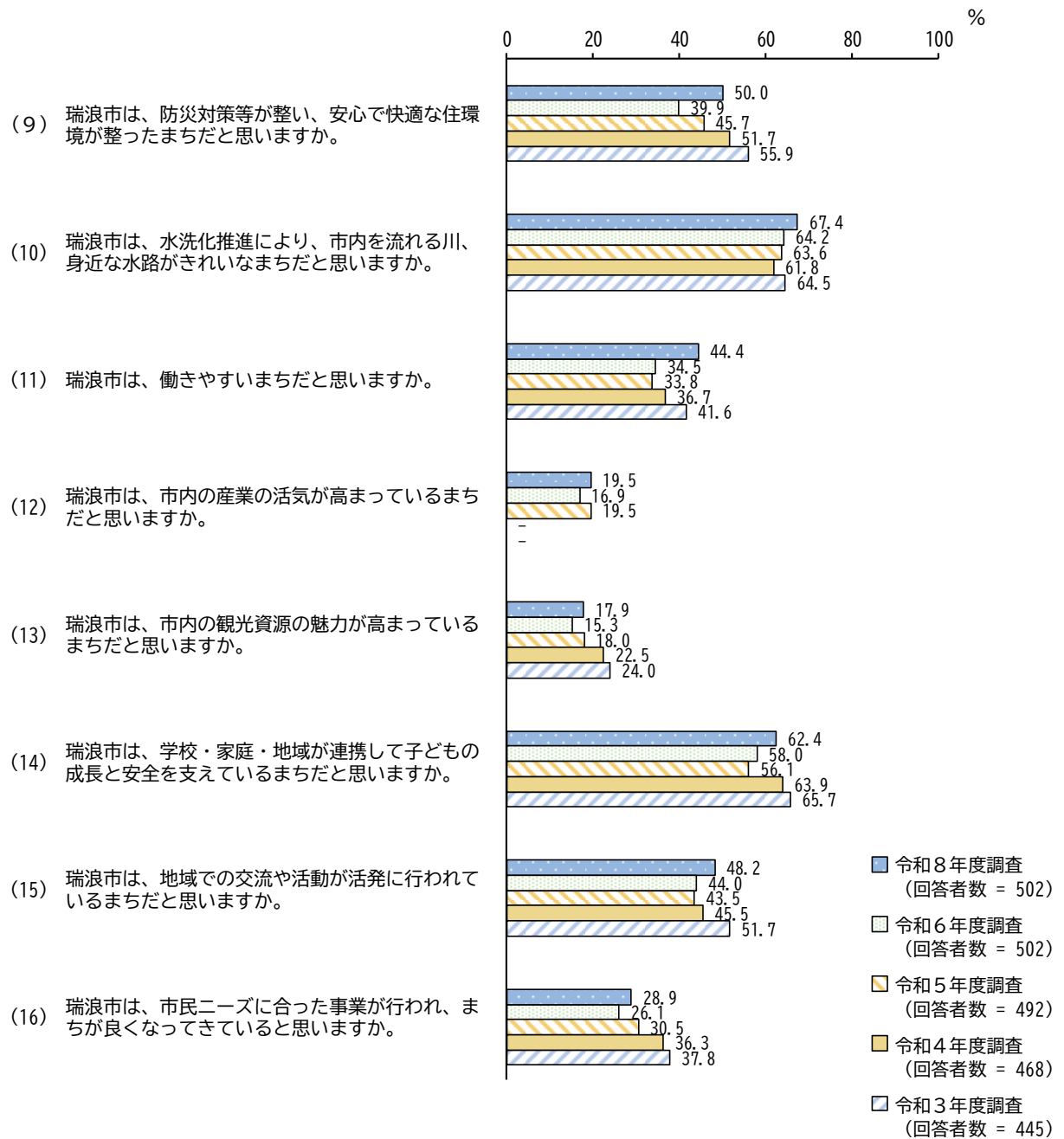
設問 13 まちの現状に関する次の各項目について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○印をつけてください。

『(10) 瑞浪市は、水洗化推進により、市内を流れる川、身近な水路がきれいなまちだと思いますか。』
 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が、『(12) 瑞浪市は、市内の産業の活気が高まっているまちだと思いますか。』『(13) 瑞浪市は、市内の観光資源の魅力が高まっているまちだと思いますか。』
 で「どちらかといえばそう思わない」が、『(5) 瑞浪市は、利用しやすい公共交通が整っているまちだと思いますか。』で「そう思わない」が高くなっています。



【経年比較】（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合）



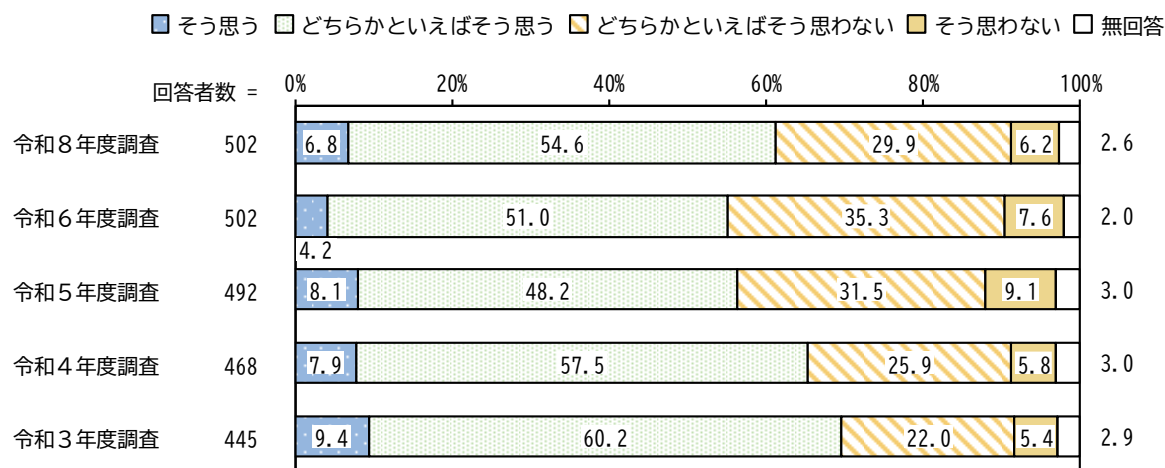


※令和5年度調査より「(12) 瑞浪市は、市内の産業の活気が高まっているまちだと思いますか」の選択肢を新設しています。

(1) 瑞浪市は、地域の支え合いや社会保障が充実しており、安心して暮らせるまちだと思いますか。

【経年比較】

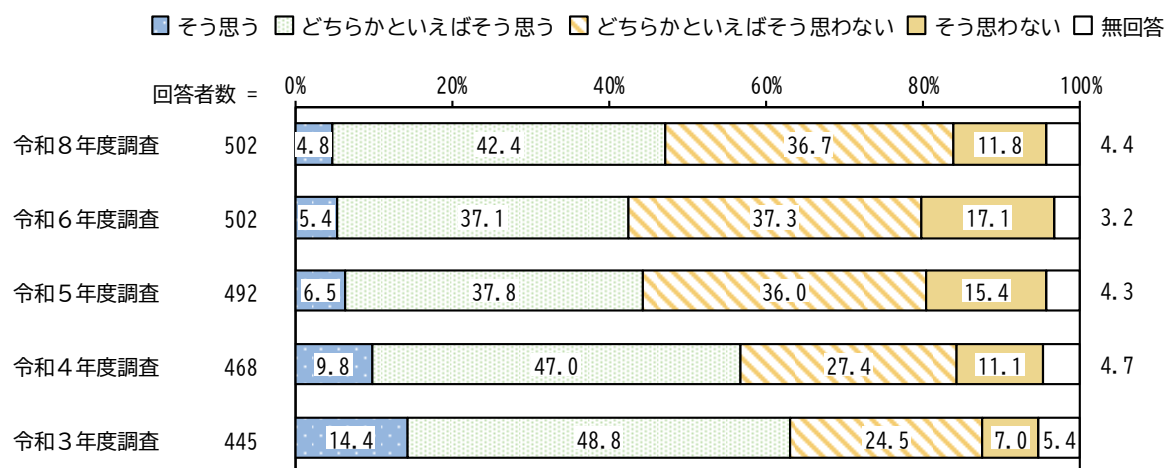
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が6.2ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が6.8ポイント減少しています。



(2) 瑞浪市は、子どもを産み育てやすいまちだと思いますか。

【経年比較】

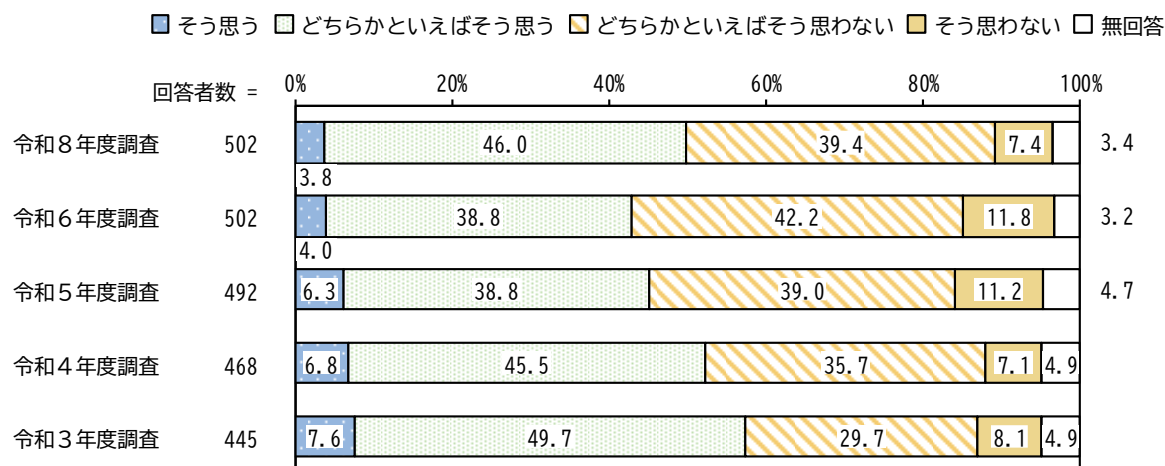
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が4.7ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が5.9ポイント減少しています。



(3) 瑞浪市は、障がい者やその家族が安心して暮らせるまちだと思いますか。

【経年比較】

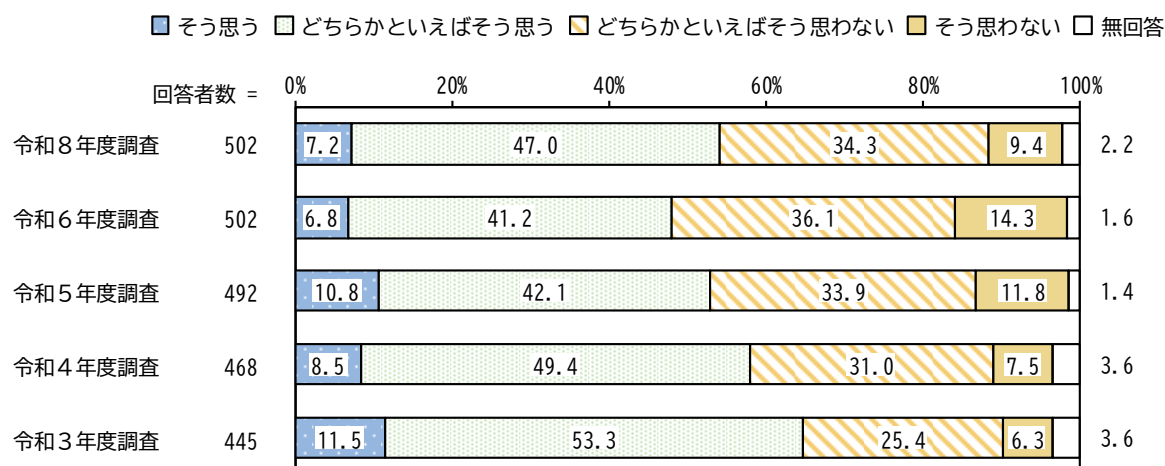
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が7.0ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が7.2ポイント減少しています。



(4) 瑞浪市は、高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと思いますか。

【経年比較】

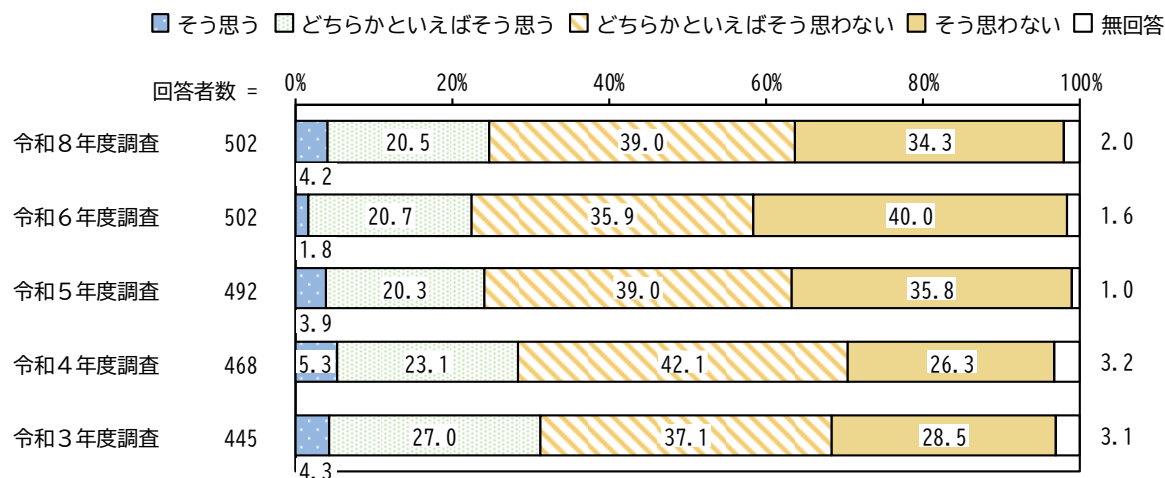
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が6.2ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が6.7ポイント減少しています。



(5) 瑞浪市は、利用しやすい公共交通が整っているまちだと思いますか。

【経年比較】

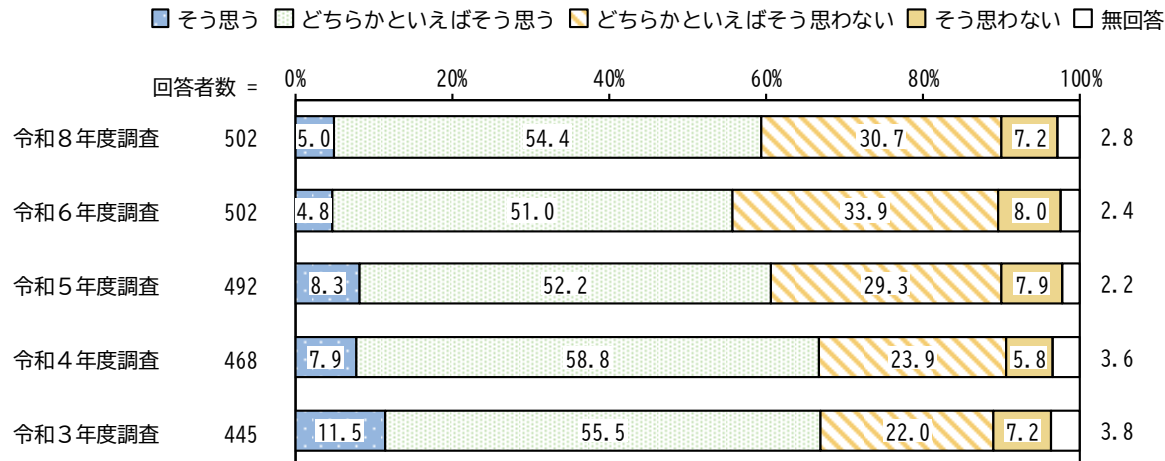
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(6) 瑞浪市は、犯罪や事故対策がしっかりとなされていて、安全で安心なまちだと思いますか。

【経年比較】

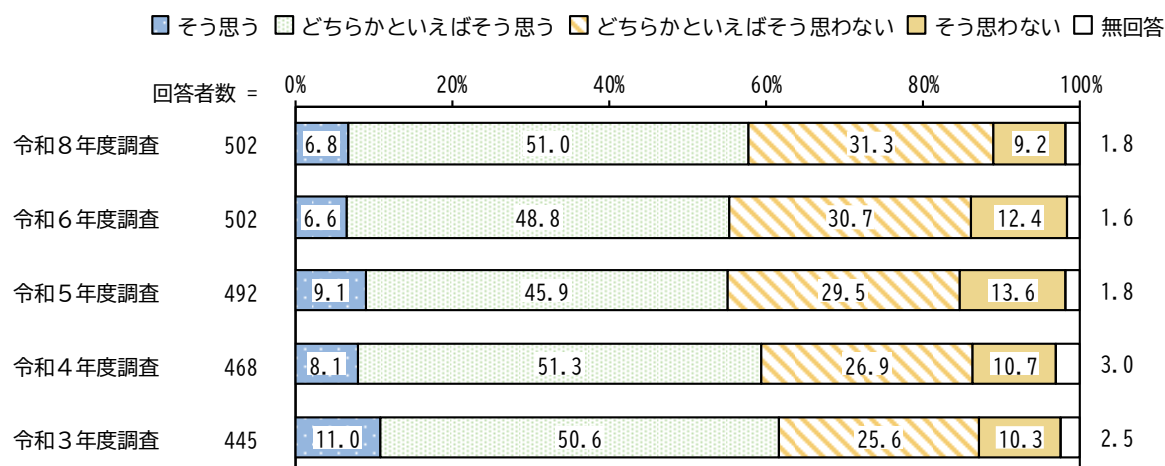
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が3.6ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が4.0ポイント減少しています。



(7) 瑞浪市は、必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができているまちだと思いますか。

【経年比較】

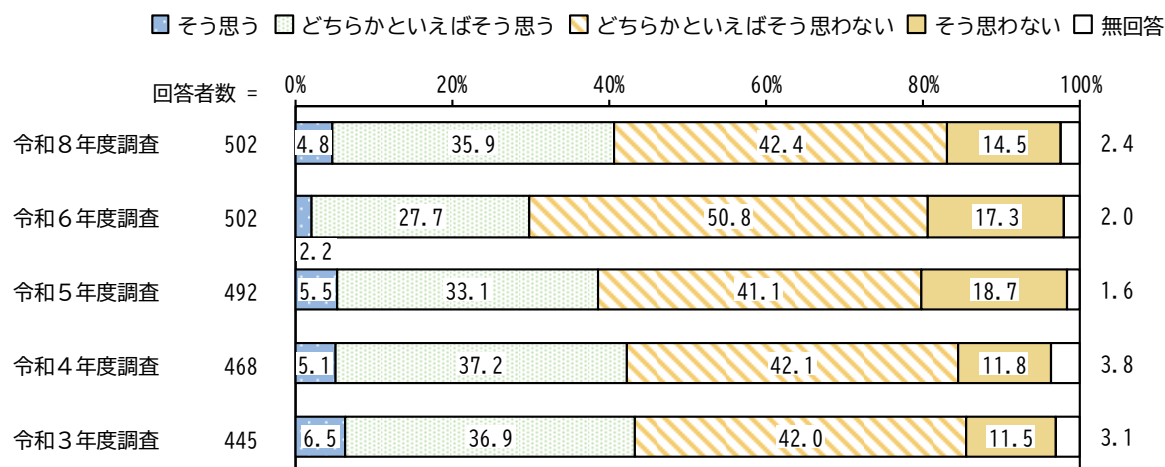
過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。



(8) 瑞浪市は、誇りの持てる、魅力あるまちなみだと思いますか。

【経年比較】

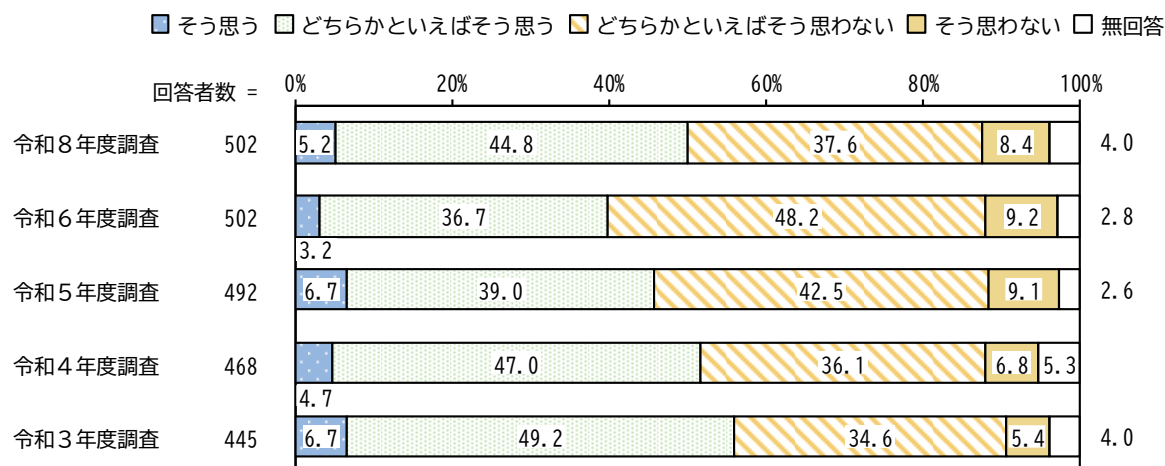
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が10.8ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が11.2ポイント減少しています。



(9) 瑞浪市は、防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思いますか。

【経年比較】

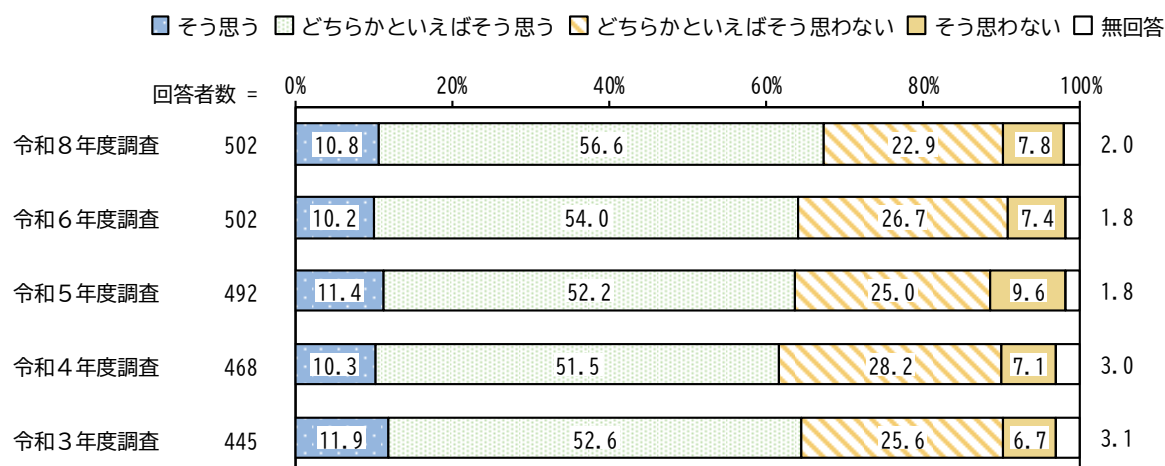
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が10.1ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が11.4ポイント減少しています。



(10) 瑞浪市は、水洗化推進により、市内を流れる川、身近な水路がきれいなまちだと思いますか。

【経年比較】

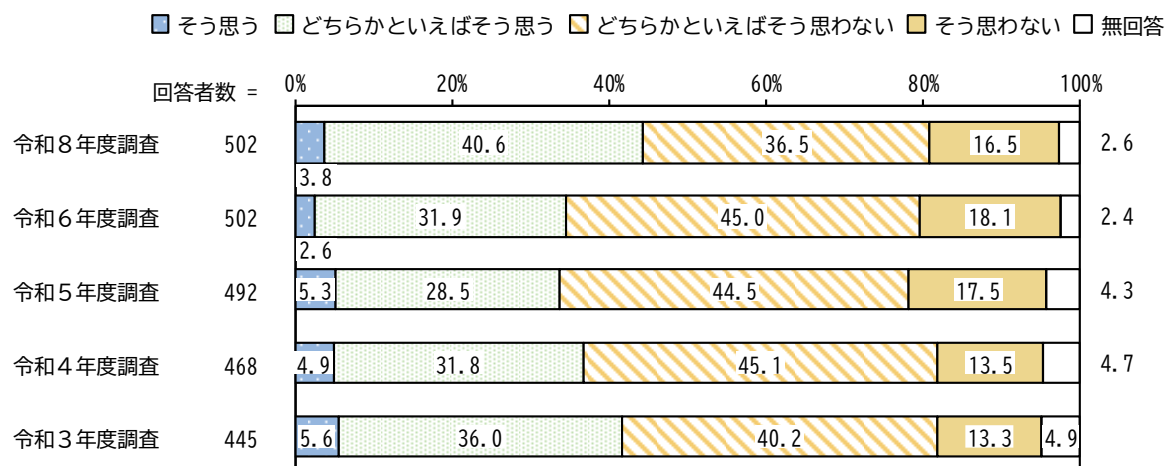
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が3.2ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が3.4ポイント減少しています。



(11) 瑞浪市は、働きやすいまちだと思いますか。

【経年比較】

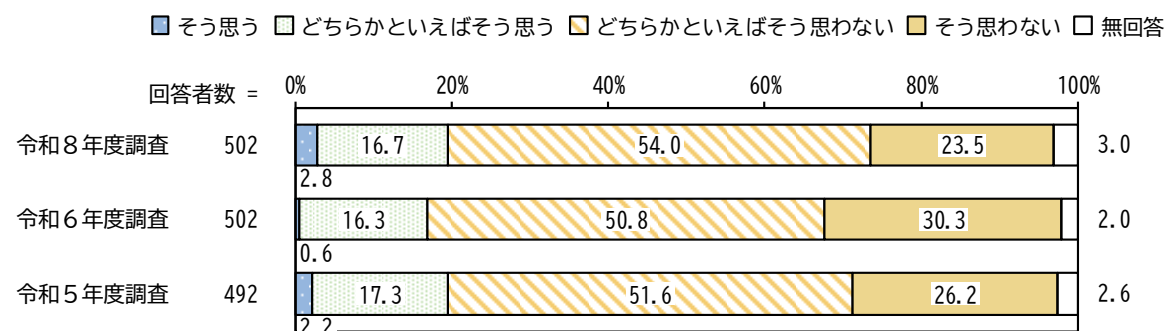
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が9.9ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が10.1ポイント減少しています。



(12) 瑞浪市は、市内の産業の活気が高まっているまちだと思いますか。

【経年比較】

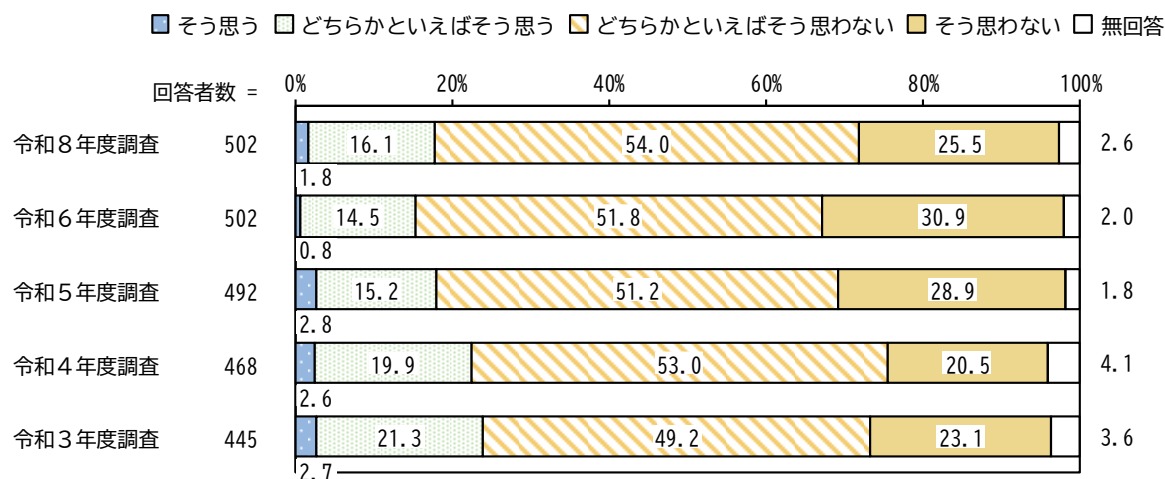
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が2.6ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が3.6ポイント減少しています。



(13) 瑞浪市は、市内の観光資源の魅力が高まっているまちだと思いますか。

【経年比較】

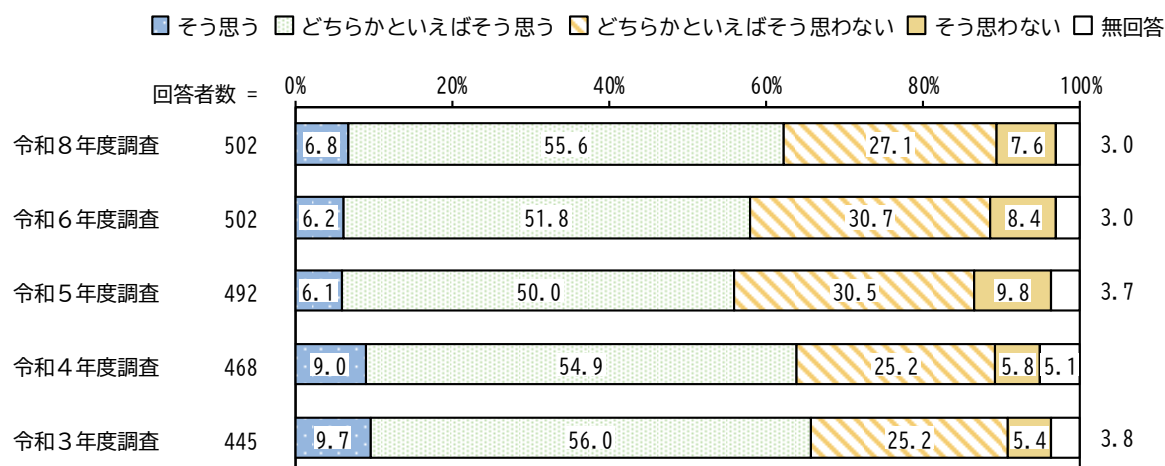
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が2.6ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が3.2ポイント減少しています。



(14) 瑞浪市は、学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまちだと思いますか。

【経年比較】

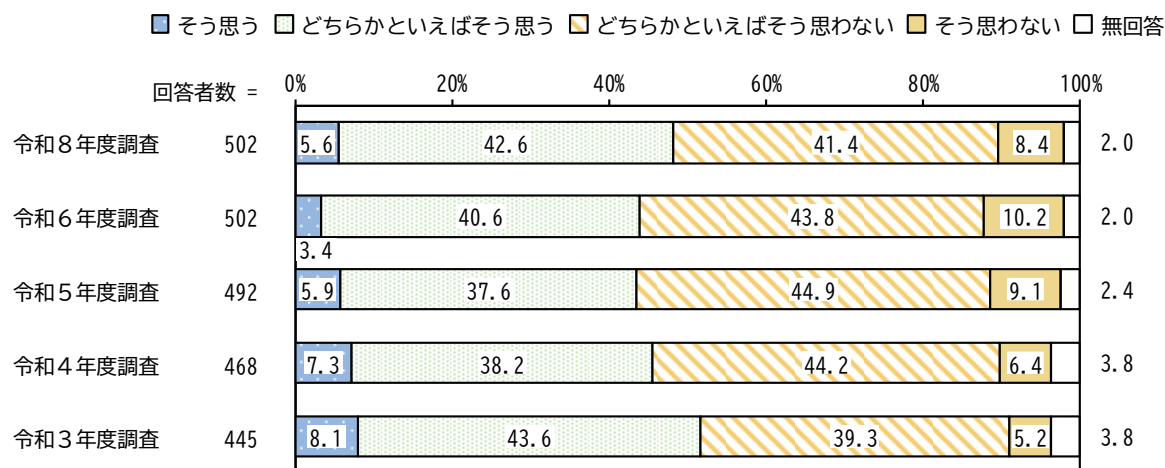
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が4.4ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が4.4ポイント減少しています。



(15) 瑞浪市は、地域での交流や活動が活発に行われているまちだと思いますか。

【経年比較】

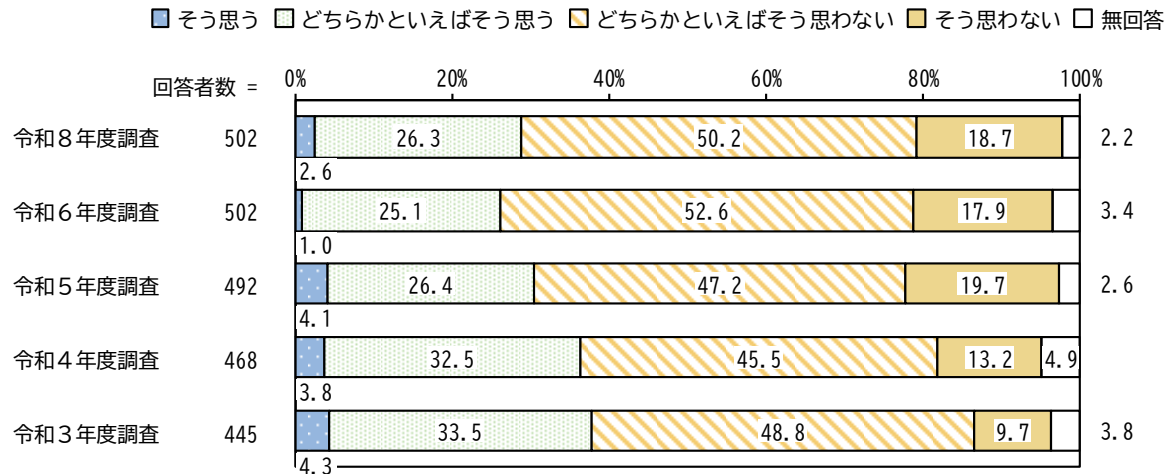
過去調査と比較すると、令和6年度調査から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が4.2ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が4.2ポイント減少しています。



(16) 瑞浪市は、市民ニーズに合った事業が行われ、まちが良くなっていると思いますか。

【経年比較】

過去調査と比較すると、大きな変化や傾向はみられません。

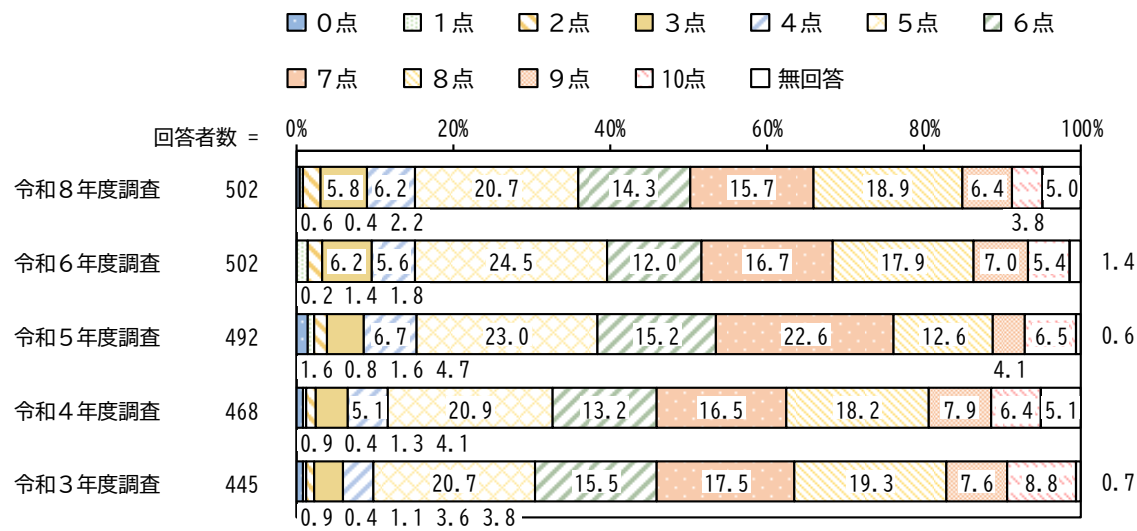


5 みなさんの幸福度について

設問 14 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。

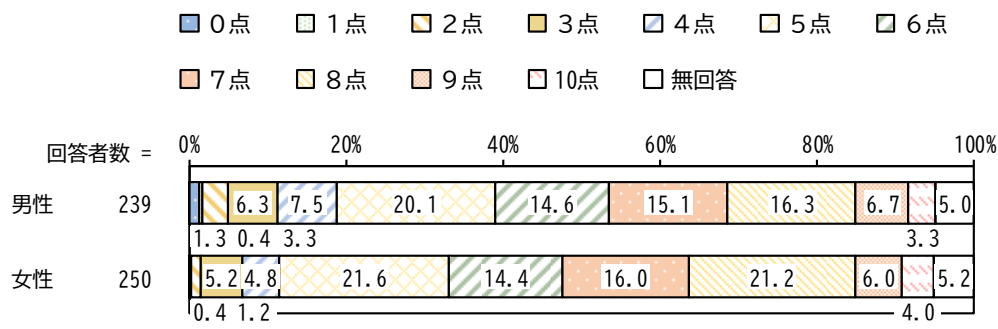
「5点」の割合が20.7%と最も高く、次いで「8点」の割合が18.9%、「7点」の割合が15.7%となっています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「10点」の割合が減少傾向にあります。



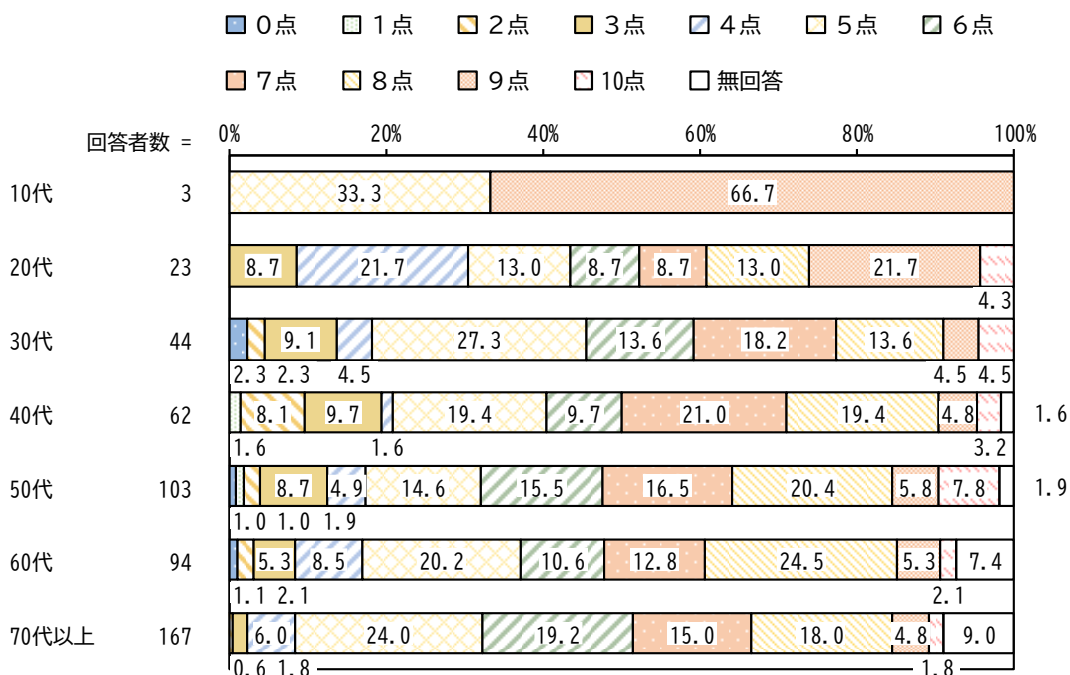
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



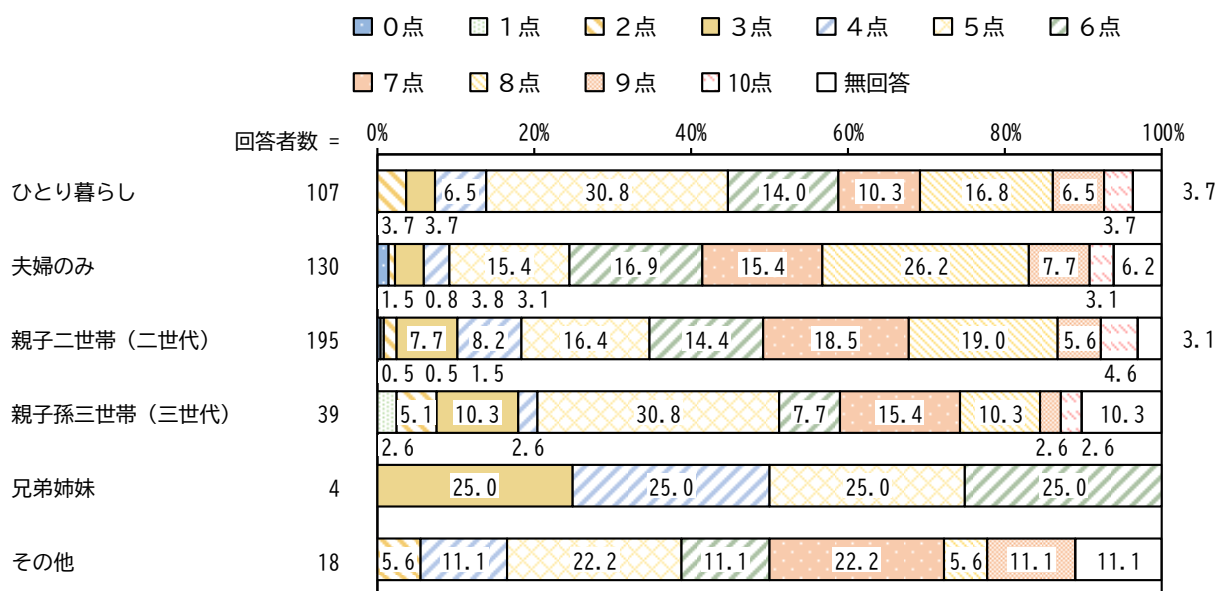
【年代別】

年代別にみると、10代から60代まで年代が上がるほど「8点」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

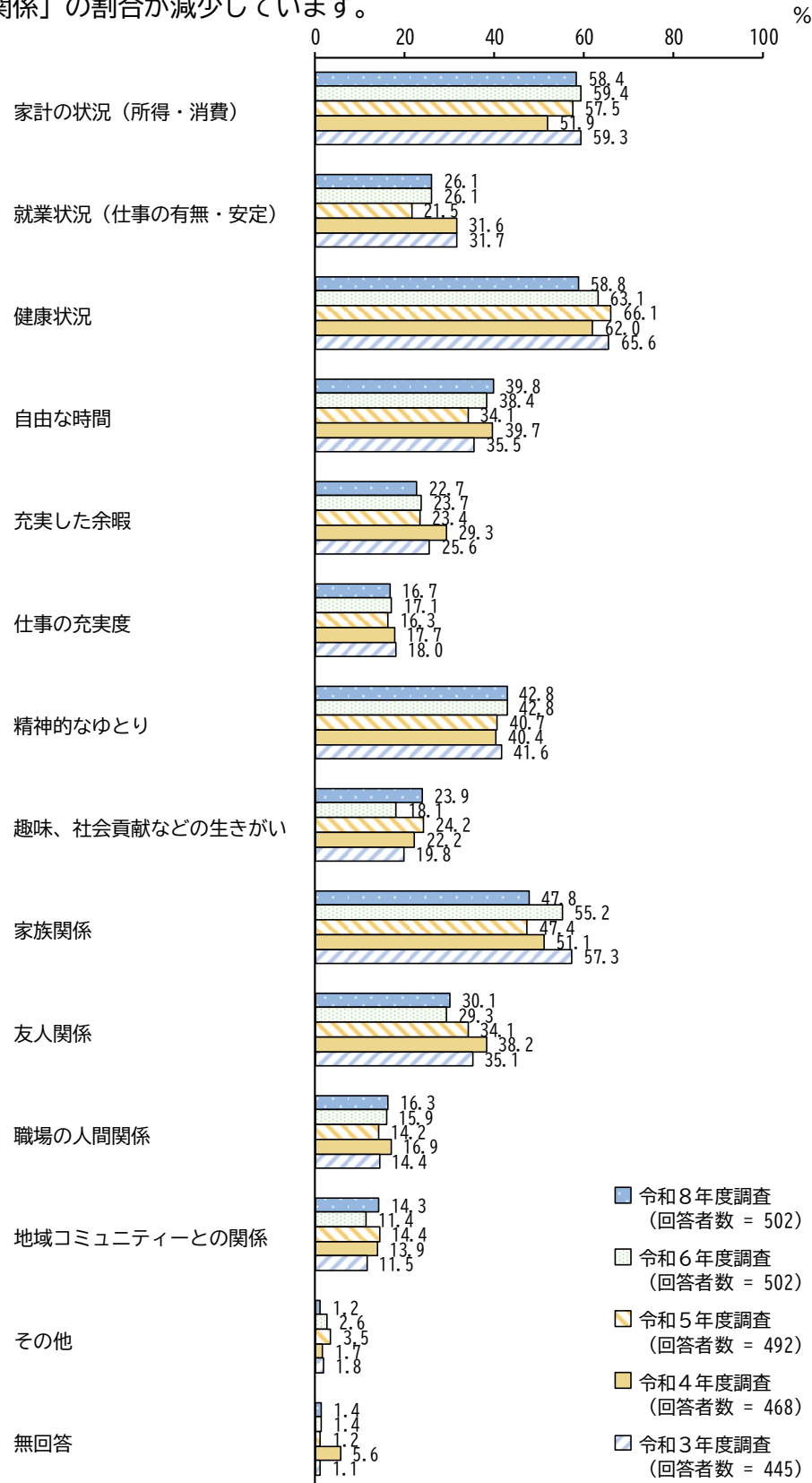
家族構成別にみると、ひとり暮らし、親子孫三世帯（三世代）で「5点」、夫婦のみで「8点」の割合が高く、親子孫三世帯（三世代）で「6点」、ひとり暮らしで「7点」の割合が低くなっています。



設問 15 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。 次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。＜○はいくつでも＞

「健康状況」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「家計の状況（所得・消費）」の割合が 58.4%、「家族関係」の割合が 47.8%となっています。

過去調査と比較すると、令和 6 年度調査から「趣味、社会貢献などの生きがい」の割合が増加しています。一方、「家族関係」の割合が減少しています。

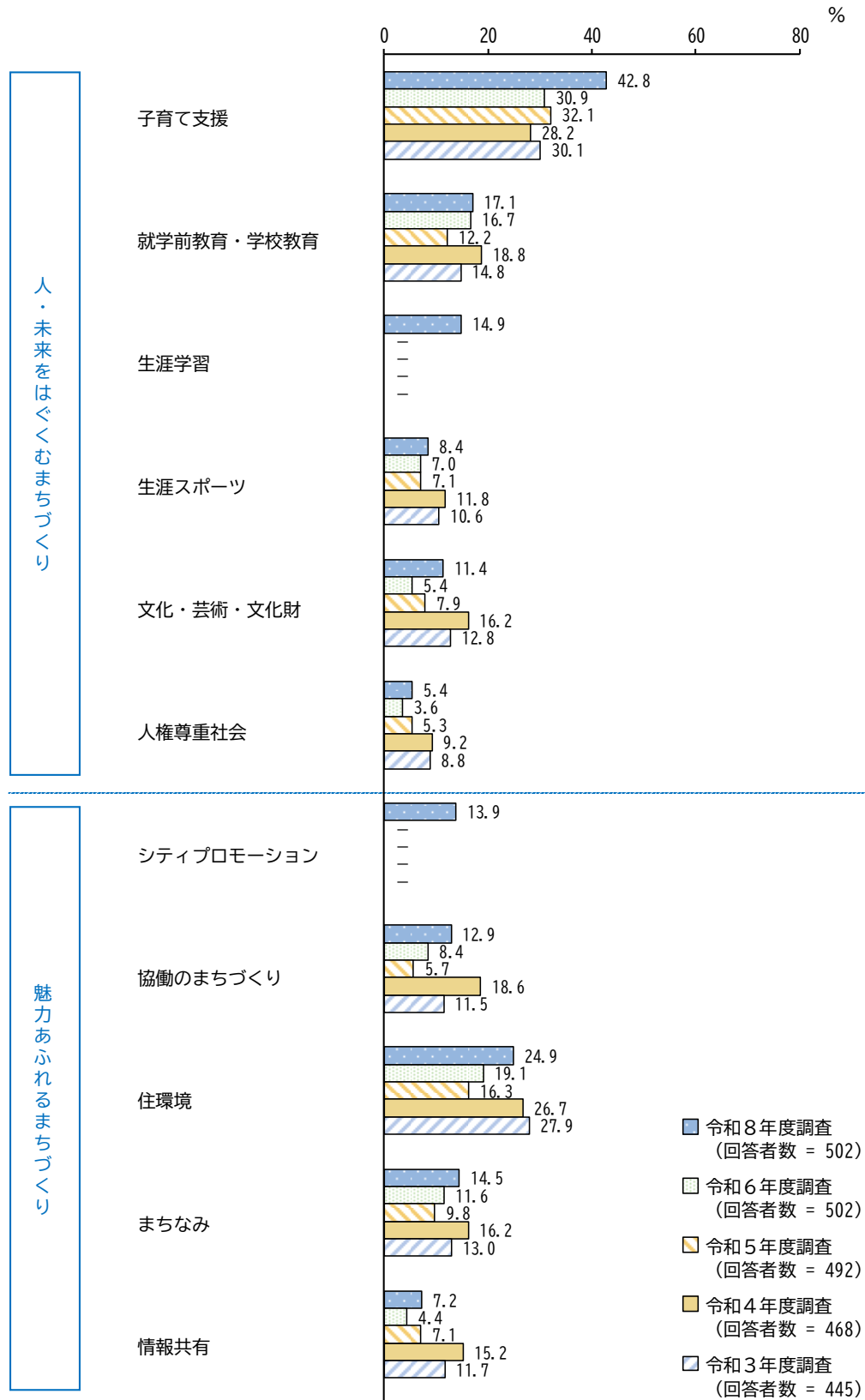


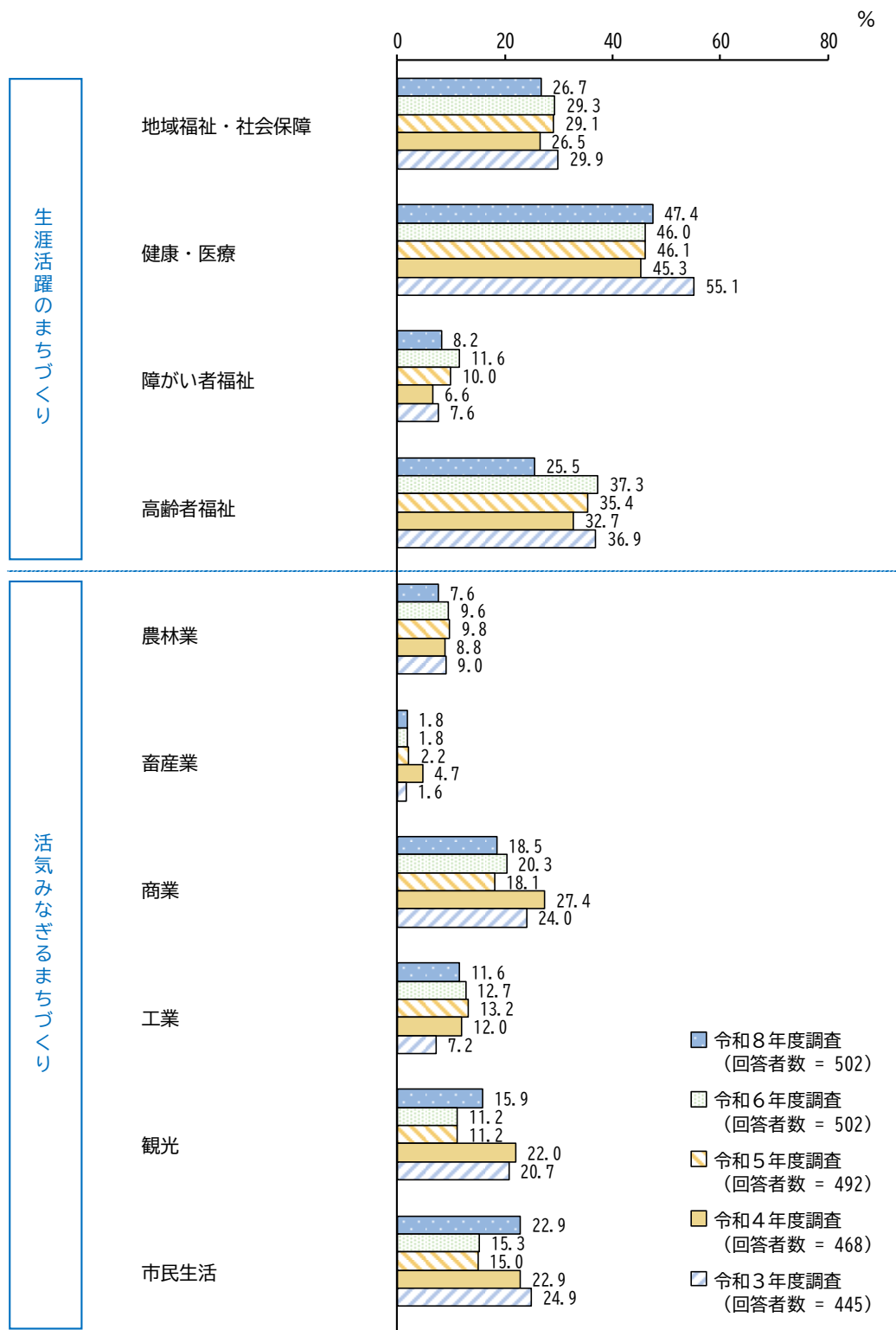
設問 16 瑞浪市民の幸福感を高めるために、瑞浪市が特に重点的に実施すべき事業は何だと思いますか。次の中から5つ選んで○をつけてください。＜5つに○印＞

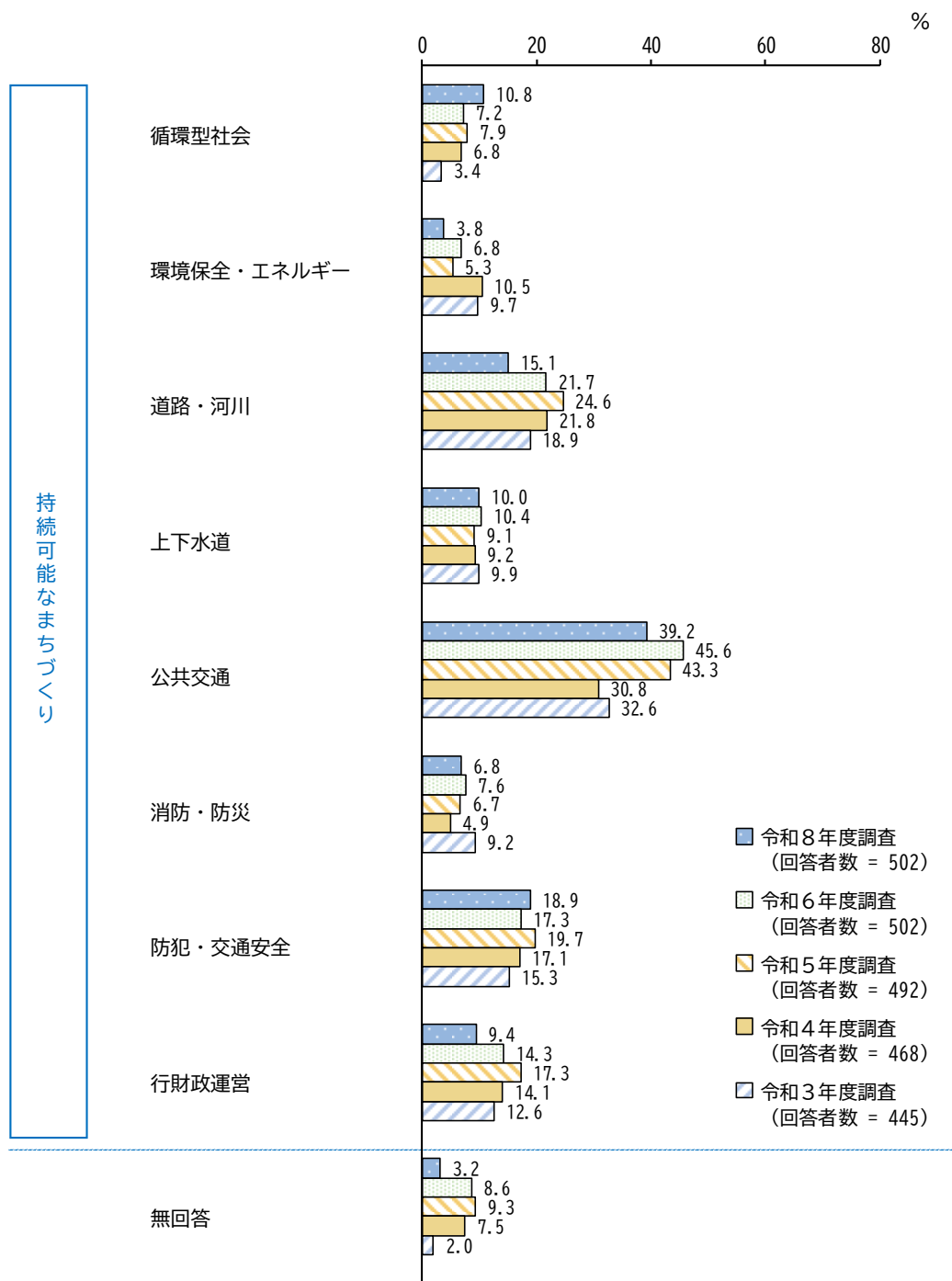
「健康・医療」の割合が47.4%と最も高く、次いで「子育て支援」の割合が42.8%、「公共交通」の割合が39.2%となっています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「循環型社会」の割合が増加傾向にあります。

また、令和6年度調査から「子育て支援」「文化・芸術・文化財」「住環境」「市民生活」の割合が増加しています。一方、「高齢者福祉」「道路・河川」「公共交通」の割合が減少しています。







※令和8年度調査より「生涯学習」、「シティプロモーション」の選択肢を新設しています。

【年代別】

年代別にみると、10代で「文化・芸術・文化財」、20代から40代および60代で「子育て支援」、50代および70代以上で「健康・医療」の割合が高くなっています

単位：％

区分	回答者数 (件)	子育て支援	就学 前教育・学校教 育	生涯学習	生涯スポーツ	文化・芸術・文化財	人権 尊重社会	シ ン テ ィ プ ロ モ ー シ ョ ン	協働のまちづくり	住環境	まちなみ	情報共有	地域福祉・社会保障	健康・医療	障がい者福祉	高齢者福祉
全 体	502	42.8	17.1	14.9	8.4	11.4	5.4	13.9	12.9	24.9	14.5	7.2	26.7	47.4	8.2	25.5
10代	3	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
20代	23	65.2	47.8	13.0	17.4	17.4	13.0	13.0	8.7	26.1	26.1	8.7	34.8	39.1	8.7	4.3
30代	44	70.5	40.9	9.1	4.5	15.9	6.8	20.5	6.8	43.2	20.5	2.3	25.0	47.7	11.4	4.5
40代	62	54.8	29.0	9.7	8.1	12.9	3.2	14.5	9.7	22.6	22.6	8.1	21.0	45.2	8.1	17.7
50代	103	35.9	12.6	12.6	6.8	11.7	3.9	17.5	11.7	34.0	11.7	8.7	27.2	54.4	3.9	31.1
60代	94	45.7	12.8	13.8	7.4	8.5	5.3	18.1	10.6	23.4	14.9	5.3	29.8	39.4	10.6	24.5
70代以上	167	31.7	7.8	21.0	10.2	9.6	6.0	8.4	18.6	16.2	9.6	8.4	25.1	49.7	9.0	33.5

区分	農林業	畜産業	商業	工業	観光	市民生活	循環型社会	環境保全・エネルギー	道路・河川	上下水道	公共交通	消防・防災	防犯・交通安全	行財政運営	無回答
全 体	7.6	1.8	18.5	11.6	15.9	22.9	10.8	3.8	15.1	10.0	39.2	6.8	18.9	9.4	3.2
10代	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
20代	0.0	0.0	30.4	0.0	26.1	21.7	0.0	0.0	8.7	4.3	52.2	4.3	8.7	0.0	0.0
30代	4.5	4.5	11.4	15.9	15.9	27.3	2.3	2.3	15.9	11.4	11.4	6.8	20.5	6.8	0
40代	12.9	3.2	29.0	12.9	19.4	24.2	8.1	3.2	8.1	9.7	33.9	4.8	22.6	8.1	1.6
50代	4.9	1.9	25.2	10.7	21.4	20.4	8.7	6.8	14.6	9.7	45.6	10.7	20.4	8.7	1
60代	5.3	0.0	12.8	9.6	17.0	29.8	12.8	5.3	14.9	8.5	38.3	4.3	20.2	11.7	5.3
70代以上	10.2	1.2	13.2	13.2	10.2	19.2	15.6	2.4	19.2	11.4	43.1	7.2	17.4	10.8	5.4

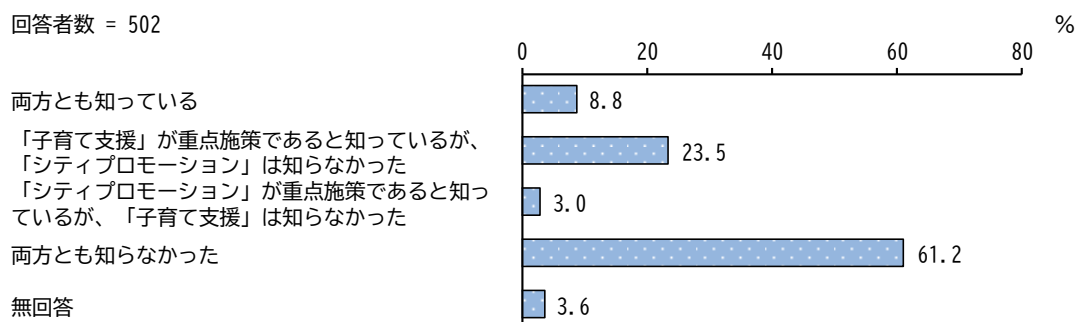
6 その他のご質問

●市の重点施策についてお聞きします。

設問 17 「子育て支援」と「シティプロモーション」が本市の重点施策であることを知っていますか。＜1つに○印＞

「両方とも知らなかった」の割合が61.2%と最も高く、次いで「子育て支援」が重点施策であるを知っているが、「シティプロモーション」は知らなかった」の割合が23.5%となっています。

回答者数 = 502

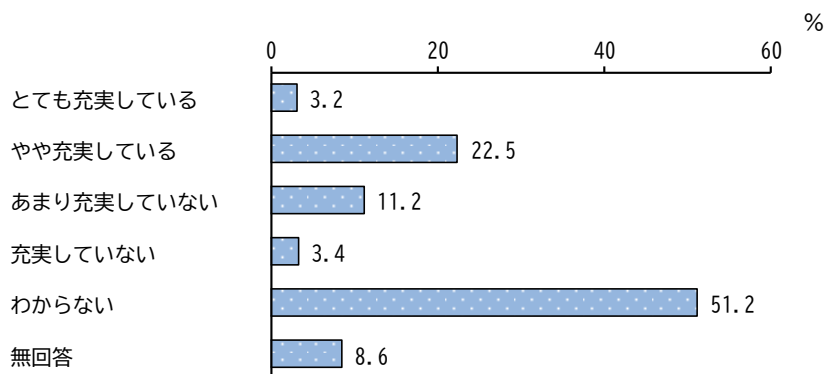


設問 18 本市の「子育て支援」と「シティプロモーション」の取組が充実していると感じますか。＜1つに○印＞

(1) 子育て支援

「とても充実している」「やや充実している」を合わせた“充実している”の割合が25.7%、「あまり充実していない」「充実していない」を合わせた“充実していない”の割合が14.6%となっています。

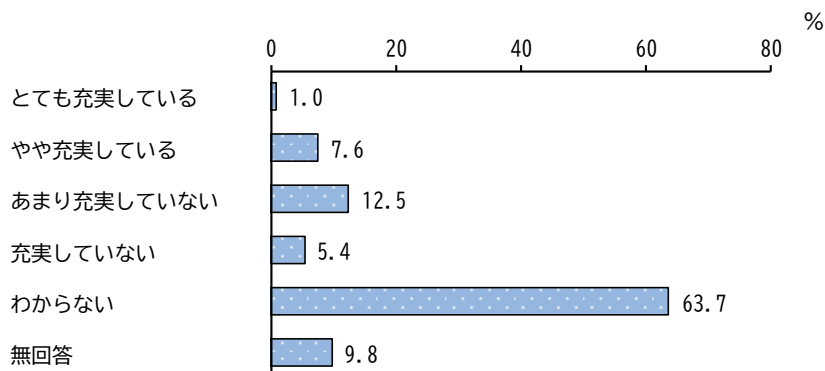
回答者数 = 502



(2) シティプロモーション

「とても充実している」「やや充実している」を合わせた“充実している”の割合が8.6%、「あまり充実していない」「充実していない」を合わせた“充実していない”の割合が17.9%となっています。

回答者数 = 502

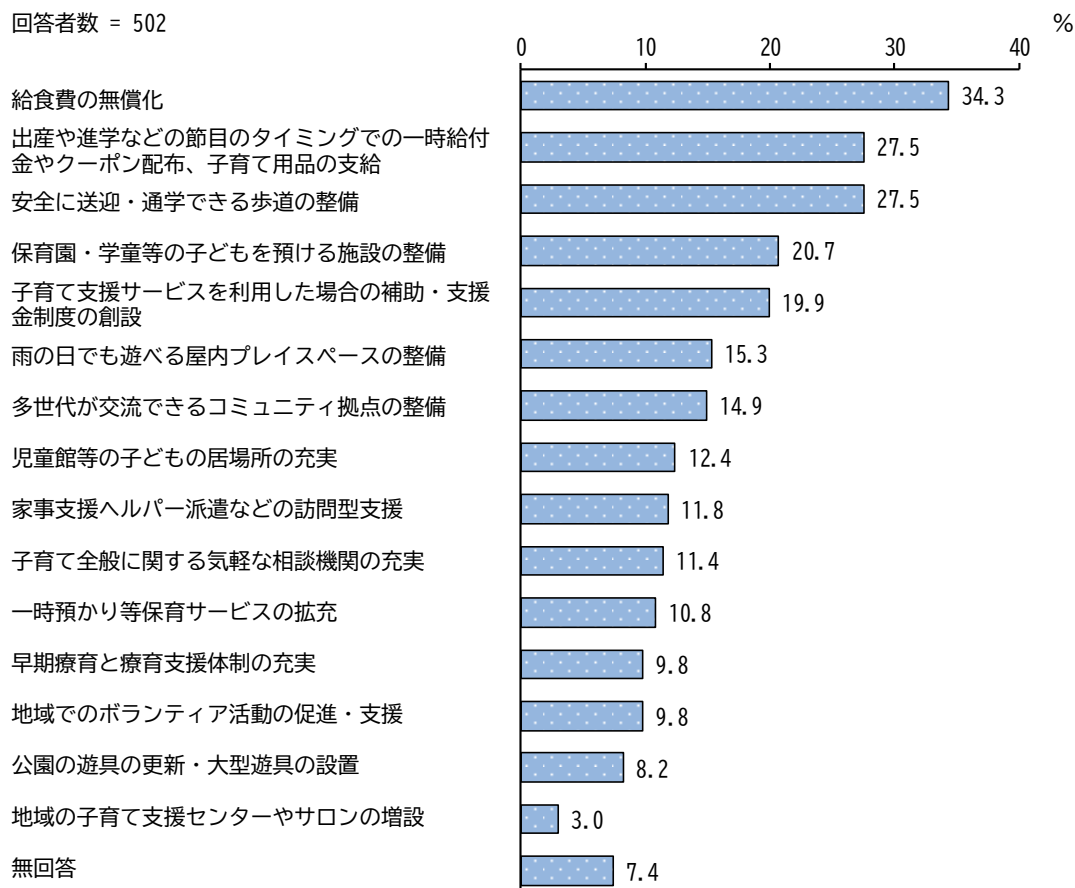


設問 19 「子育て支援」と「シティプロモーション」について、今後特に力を入れてほしい取組を、各分野につき最大3つまで選んで○をつけてください。

(1) 子育て支援＜1から15の中から最大3つまで○印＞

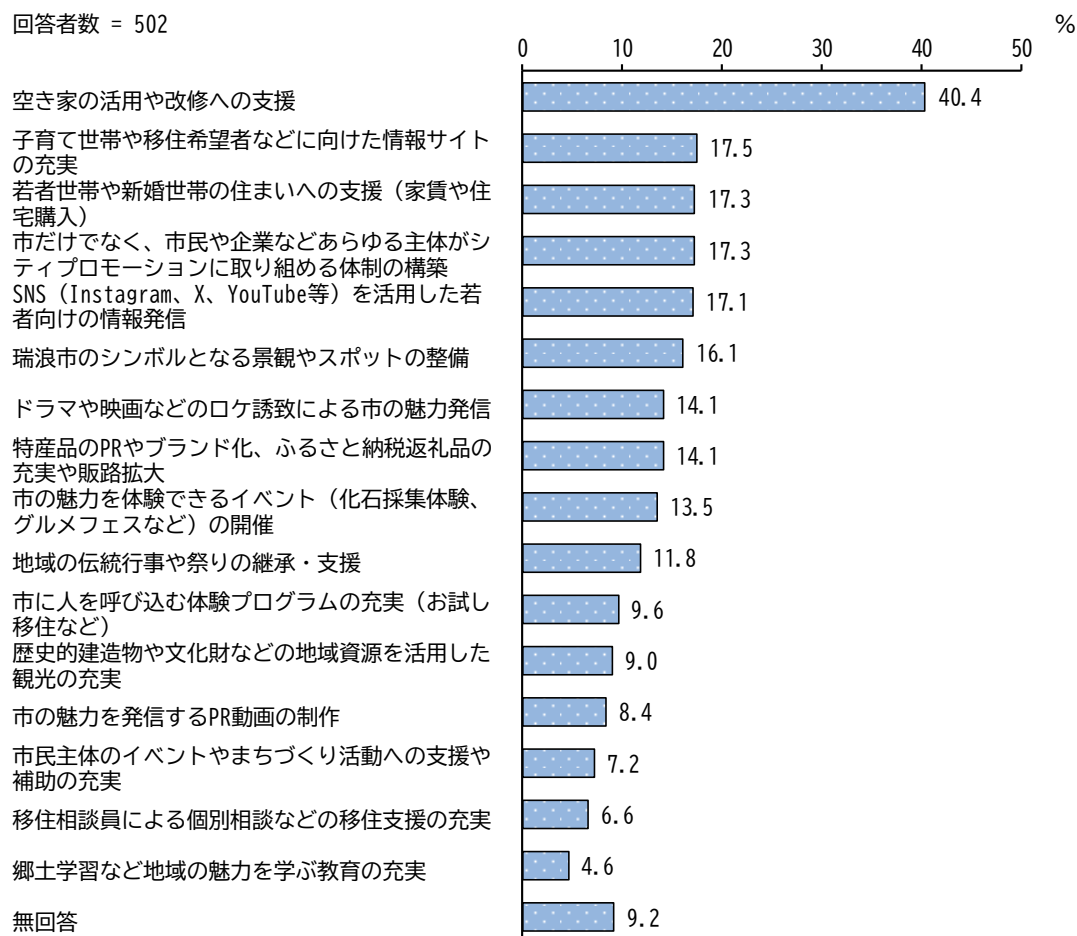
「給食費の無償化」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「出産や進学などの節目のタイミングでの一時給付金やクーポン配布、子育て用品の支給」、「安全に送迎・通学できる歩道の整備」の割合が 27.5%となっています。

回答者数 = 502



(2) シティプロモーション< 1 から 16 の中から最大3つまで〇印>

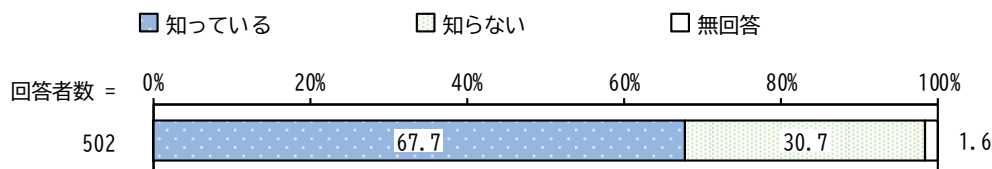
「空き家の活用や改修への支援」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「子育て世帯や移住希望者などに向けた情報サイトの充実」の割合が 17.5%、「若者世帯や新婚世帯の住まいへの支援（家賃や住宅購入）」、「市だけでなく、市民や企業などあらゆる主体がシティプロモーションに取り組める体制の構築」の割合が 17.3%となっています。



●証明書コンビニ交付サービスについてお聞きます。

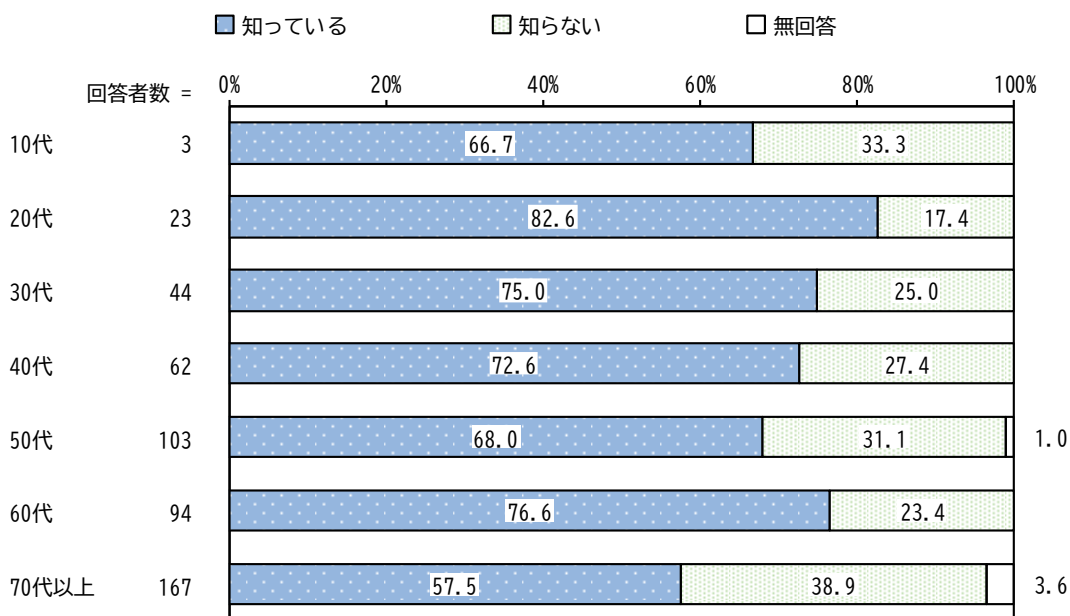
設問 20 住民票などの証明書について、全国のコンビニ等に設置してある端末から交付を受けられるサービスが、瑞浪市で開始されていることを知っていますか。< 1 つに〇印>

「知っている」の割合が 67.7%、「知らない」の割合が 30.7%となっています。



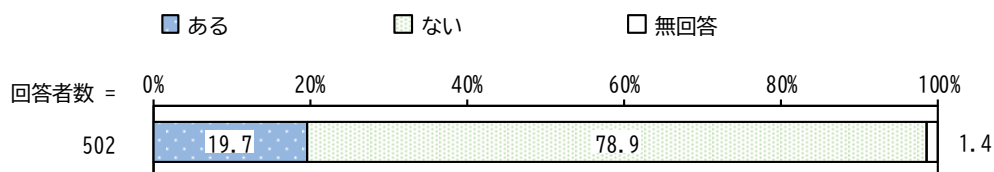
【年代別】

年代別にみると、20代から50代まで年代が上がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



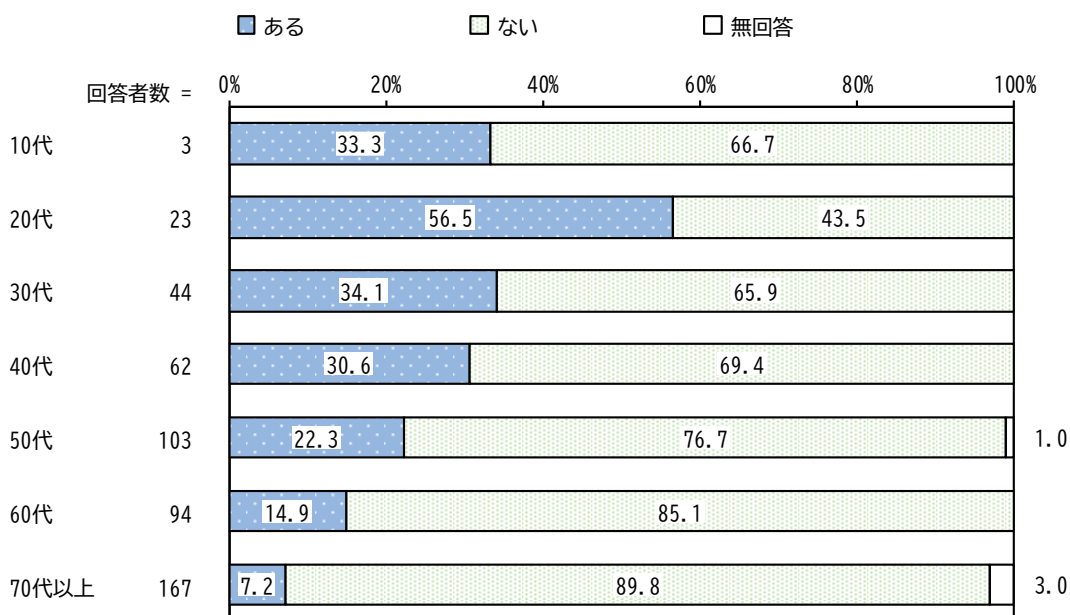
設問 21 あなたは、証明書コンビニ交付サービスを利用したことがありますか。＜1つに○印＞

「ある」の割合が19.7%、「ない」の割合が78.9%となっています。



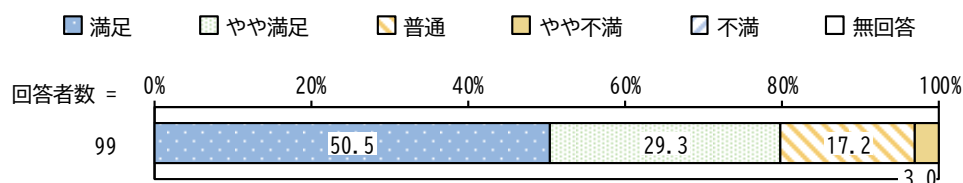
【年代別】

年代別にみると、20代から70代以上まで年代が上がるほど「ない」の割合が高くなっています。



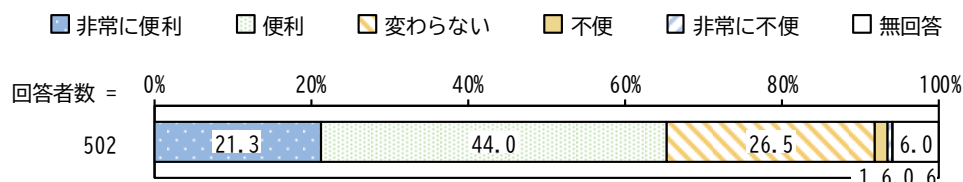
設問 22 設問 21 で「ある」と答えた方にお聞きします。証明書コンビニ交付サービスを利用した全体的な満足度を教えてください。＜1 つに○印＞

「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が 79.8%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が 3.0%となっています。



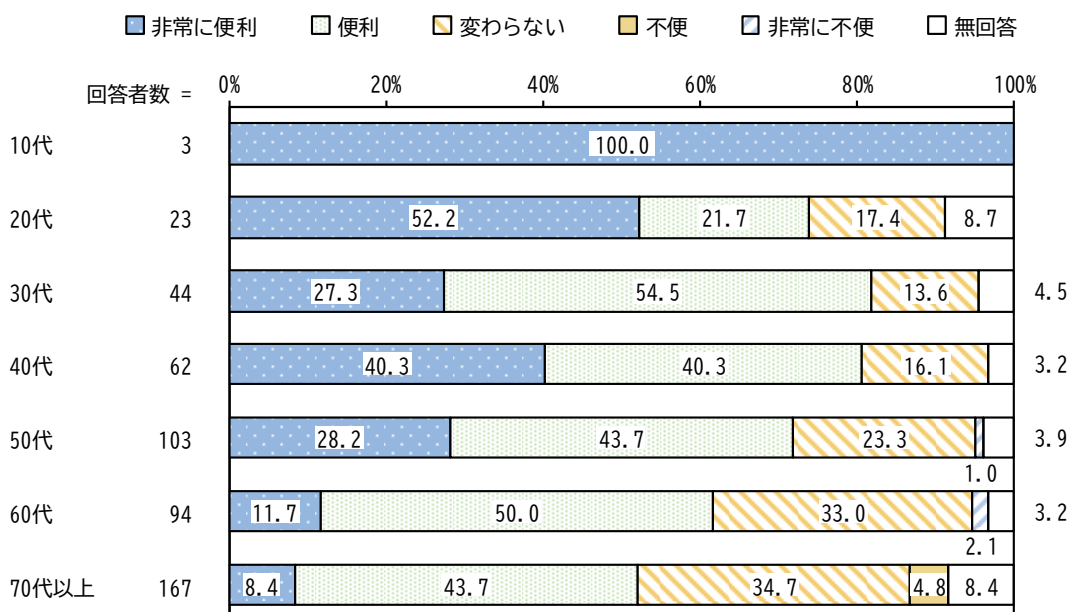
設問 23 今後利用される機会があることを含め、証明書コンビニ交付サービスの便利さについてどのように感じますか。＜1 つに○印＞

「非常に便利」「便利」を合わせた“便利”の割合が 65.3%、「不便」「非常に不便」を合わせた“不便”の割合が 2.2%となっています。



【年代別】

年代別にみると、70 代以上から 30 代まで年代が下がるほど“便利”の割合が高くなっています。また、30 代で「便利」の割合が高くなっています。



7 瑞浪市のまちづくりについて自由な意見をお聞かせください。

設問 24 市民の皆さんの暮らしを豊かにするために、意見や提案（アイデア）、瑞浪市の将来像や夢をお持ちでしたら、是非、お聞かせください。

瑞浪市の将来像や夢について聞いたところ、179 件の意見が寄せられました。

（いただいた意見は、類似する内容をまとめ、総合計画の施策体系ごとに整理しています。）

◆人・未来を育むまちづくり

『人・未来を育むまちづくり』では、「子育て支援」に関する意見が最も多く、子育て支援の充実や子育てしやすい環境づくり、三世代が安心して暮らせるまちづくりなどを求める意見がみられました。

施策	自由意見
1. 子育て支援	・子どもを育てていくのに、物価高でかなりお金がかかる。もう少し子育て支援に力を入れてもらえるとうれしい。 ・若い頃は、子育て支援の充実が大切だと思ってきた。少子化の今、それは大切なこと。先日も第二子として双子が生まれるという知人が「〇〇市は第2子以降、未満児の保育料が無料なのを知ったから、そちらにアパートを借りることにしたの」と話していた。育てやすさは大切だ。 ・子育て支援が大切である。 ・若い人たちの出会いの機会を作してほしい。楽しい集団お見合いパーティーとか。 ・小・中・高校生（おばさんも）が“ここに行けば友達と一日暇をつぶせる”と思えるような場所がほしい。ちょっと大人の児童館的なものとか。 ・若い世代が活躍でき、人口減少を抑えるためにはどうしたらよいのか……。難しいが、明日の時代を背負う子どもたちを大切にしていける必要があると思う。 ・子育てしやすいまちにしてほしい。 ・重点施策、子育て支援についても、現状の施策が不十分なのか、今後子どもが増える見込みがあるのか、その根拠となる数値が示されていない。 ・子どもの情操教育や、高齢となってからの生きがいのため（ボケ防止）にも「三世代政策」を考えてほしい。 ・孫が瑞浪に遊びに来て、連れて行くところがない。 ・「親、子、孫の三世代が安心して同居できる市を目指してほしい。」子どもが小さいときや、就学してからも、急な発熱、天候などで子どものお迎えが必要となる。そんなときに、祖父母が対応できれば、父母は安心して仕事ができる。 ・若い人たちが暮らしやすいまちづくりが大切である。 ・補助をして、託児、学童、そして介護施設の負担を減らす取組は必要かと思う。 ・シティプロモーションにお金を使うのであれば、子育て支援にもっと費やしてもいいと思います。

施策	自由意見
	・ 県外から引っ越し、瑞浪市に住んで子育てをし 12 年になろうとしています。確かに住みやすく子育てはしやすいところですが、でも小学生になると長期休みの期間、子供たちをどうするか…共働き家庭でも学童などには入っていない家庭もあります。特に長い夏休み、預ける場所もなく親が仕事中は子供たちはお留守番になります。ある程度大きくなればお留守番も大丈夫ですが、やはり低学年となるとお留守番は厳しい、でも預ける場所がないし、仕事も行かないと、と言っている親は多いです。子育てをしやすい環境を考えているのであれば長期休みなど共働き家庭でお留守番をしている子供たちが通える学習教室やお昼ご飯を低額で提供してくださる所（特に夏休み期間）などを考えてほしいです。そう簡単には出来ないと思いますが。このご時世少子化が問題になっています、きっとこのまま物価高や待機児童などが問題になっていけば子供は減る一方です。何かもう少し子育て世代が利用のできる制度を作ってほしい。 ・ 幼稚園児や学生が楽しめるような施設が少ないため誘致して欲しい。 ・ 国だけの支援ではなく市からの子育て支援の強化、地域に根ざした子供達へのボランティア活動推進を期待する。 ・ 少し大きい子用の室内施設（グリーングリーン春日井のようなもの）があると良い。 ・ 明世地区に児童館があると助かります。 ・ 子育てに特化するべきだ。他市の人が瑞浪に住みたいと思い、住んでくれるための働きかけ、保障面の充実が必須である。 ・ 子育てしやすいまちづくりが重要である。土日子どもを預けられる制度づくり、ファミリーサポートを無償化してほしい。病児保育を充実してほしい。2 人目以降給付金を充実してほしい。遊べる場を充実してほしい。
2. 就学前教育・学校教育	・ 公私を問わず、学校の教員と生徒が瑞浪市の発展のために協働で取り組んでいく体制を構築し、学校の施設・人材・ネットワークを開放して、地域の子どもや大人が学べる場をつくるなど、小さくても豊かなまちを目指していけるとよいと思う。 ・ 学校教育が大切である。 ・ 子どもが安心して学校に通えるまちにしてほしい。 ・ よい教育の場にもなると考える。 ・ 学校において、部活動の先生方の負担は考慮しなければならないが、親の金銭、時間の負担は多すぎると感じる。それによって、子どもたちのやりたいという気持ちを、親子ともども楽しく進んでいくことのできる環境を与えてあげられる「まち」であってほしいと願っている。 ・ 補助をして、託児、学童、そして介護施設の負担を減らす取組は必要かと思う。
3. 生涯学習	・ 学生が勉強できるスペースが少ない。図書館やNビルは時間制限がありすぎて、実際に使用したい時間が少なすぎる。
4. 生涯スポーツ	・ 瑞浪市はゴルフのまちづくりをしてほしい。 ・ 瑞浪市はゴルフ場がたくさんあるので、ゴルフ場のアピールや、ゴルフをやらない人にも知ってもらうためにゴルフ体験をしてもらったり、子どもたちに遊びを通してゴルフに親しんでもらうようにしたらよいと思う。

施策	自由意見
	・子どもがバドミントンのクラブに入りたいと思っても、多治見にしかなく不便に感じている。友達の中にも多数おり、活動したい自治体へ転出する子もいるので、クラブに対してもう少し力を入れた方が人は減らないのではないかと。多治見では市からクラブに支援があり、活動しやすいようだ。 ・市民の健康増進と長寿のため、市内に無料で利用できる運動・スポーツ施設を設置してほしい。 ・To have a public basketball court in mizunami help people who loves sports to maintain their hobbies and health.
5. 文化・芸術・文化財	・テレビ番組やInstagramなどで、中山道の魅力を知り、見晴らしがよくなったことを知った。一度も行ったことがない天狗塚も魅力いっぱいあり、行ってみたいと思った。 ・コンサート、劇などをもっと市内で見ることができるとよい。 ・土岐市は文化センターの音響がとても良くて舞台や LIVE などにむいてると聞いた事がある。いろんなアーティストの LIVE や吉本新喜劇などが瑞浪文化センターで見たい。瑞浪文化センターを、アーティストを呼べるような瑞浪文化センターにしたい。 ・美濃歌舞伎の発信を強化して欲しい。
6. 人権尊重社会	・人権尊重が過剰に進められ日本人や男性が過度に仕事の負荷が増え立場も弱くなり所得も減少していると感じる。中年男性の短期での退職や無職になりやすい傾向も感じる。日本人の少子化の原因にも繋がっている気がする。

◆魅力あふれるまちづくり

『魅力あふれるまちづくり』では、「住環境」に関する意見が最も多く、瑞浪駅周辺の再開発・活性化の進め方などについての意見がみられました。

施策	自由意見
1. シティプロモーション	・移住支援に力を入れているようだが、瑞浪市に愛着を持たず移住してくる方には、瑞浪市を大切にしようという意識のない人も多数いると思う。移住者より、移住者以上に瑞浪市で生まれ、地域社会の中で育ち、瑞浪に愛着を持った子が、出ていなくてもよいように、一時的に離れても帰ってきやすいように、そんな政策を進めてほしい。 ・瑞浪市をアピールできるアンテナショップなどがあると、もっと瑞浪の魅力が伝わるのではと思う。 ・観光大使に委嘱されたことは市報などで知るが、年に1回程度は活動内容を伝えてほしい。 ・東濃五市の中でも知名度が低いのではないかな。 ・近隣の多治見市、土岐市、恵那市に比べて、活動に話題性がないように感じてしまう。市民がよく知らないだけかもしれないが、現在、SNSの活用は必須だと感じる。ので、もっともっと瑞浪市のよいところや活動内容をアピールして、若い人が住むなら（子育てするなら）、名古屋から多治見や土岐よりちょっと遠いけど瑞浪の方がお得だね、という情報を発信してほしい。 ・魅力ある瑞浪市にしてほしい。 ・シティプロモーションの意味が分からなかった。 ・瑞浪市は自然豊かな環境がまだ残っており、大切にしたいと思っている。 ・自然が豊かで、人が温かい。 ・施設ばかりに力を入れず、自然を大切にしたい取組で、一人一人の市民のためになる活用方法を期待したい。 ・シティプロモーションは、特定の人にしかフォーカスしていないために、瑞浪市民の恩恵がないと思う。グルメに関していえば、特定のお店・会社が利権を独占し、市として売り出すことができていない。それを市として推している意味が理解できない。 ・バスやタクシーの運転手さん、お店のおばさんなど、温かく話しかけてくれることがあるのは、都会にない魅力である。ランニングをしていてもご老人から話しかけられることもある。また、私が住んでいる稲津地区は川や山がきれいで、これも都会にない魅力です。田舎の良さや魅力を若者の視点で上手くSNSなどで発信していけば、もっと活気のある街になるのではないかなと思う。
2. 協働のまちづくり	・高齢化対策が大切である。自治会の行事が多すぎて、暮らしづらさを感じることもあるので、改善してほしい。 ・市民に任せる、ボランティアに任せる、各部署に任せるのではなく、広く行政と縦にも横にもつながれるようになるとうい。 ・地域、お隣さんなどの声掛け運動の推進（日頃の市民の心掛け増進）が大切である。 ・自治会について、いまだに戦時中の「隣組」のような強制的な組織と思っている人

	がほとんどだ。本来任意団体であるにもかかわらず、健康上の理由や家庭の事情があっても役員を受けるべき、との考えが横行している。戦後 80 年を経た今、市として正しいことを周知すべきではないか。
	・町内会の仕事を減らす仕組みをつくってほしい。草刈りや水路の清掃も委託したい。まちづくり的な補助金で何とかならないか。
	・瑞浪市の高齢化が進む中、特に中心地以外の町に将来性があるのか疑問である。田舎を盛り上げようとする取組は非常に意義深いと考えているが、日々の生活が苦しいご時世において、区役など、せっかくの休日を費やしてまで参加することが町民の方々の負担を増やすことになってしまうのではないかと懸念している。コミュニケーションという観点から重要性が指摘されることがあるが、苦手な方もいる。また、仕方なく参加している方もいる。少子化の影響を鑑みると、大人になった子どもたちはほぼ皆、よそへ去ってしまい戻ってこない状況にある。「戻れば田舎の付き合いがあるぞ」と、親までもがそのように言っているため、住民の少ない地域に負担をかけない方法について再考してほしい。善意からのコミュニケーションが行き過ぎることが、結果的に負担となる場合がある。田舎の悪い風習が若い方々を遠ざけているという現状について、理解を深める必要があると思う。その問題が解決されなければ、瑞浪市の将来像を見いだすことは困難ではないか。
	・自治会でやっている草取りは、業者にやってもらえばよいと思う。(ごみの分別なども)
	・ボランティアをしたらポイントがもらえ、ポイントをためて市バスなどに使えらと、ボランティアにもやる気が出る。
	・イベントの開催を通じて孤立を防ぎ、住民同士の助け合い精神を育む。自分勝手に言わせてもらったが、これが現実だ。人と人の触れ合いなど全然ない。
	・自治会を脱退した市民と加入市民との生活における、お互いの理解のなさによる対立が心配であり、現在苦慮している。各自治会や個人の問題とせず、歩み寄りができる環境づくりも必要と思う。
	・大湫地区から見た問題点について、自然が豊かな面は素晴らしいと思ったが、しかし、年間行事や役割分担が多い。現在の若い人々も、昔と比べて生活が多様化し、価値観も個人個人さまざまなので、昔の感覚で多くの行事や役割を与えることは、逆に過疎化につながるのだと思う。もともと大湫に生まれた若い世代の人たちが高校を卒業すると同時に、進学や就職で他県や都市部へ移り住み、大学を卒業しても地元へ帰ってくるパターンはまれだと思う。彼らからすると、地元の良い給料を得られる職場がないとか、地元の昔からの感覚で延々と続く行事や役割分担が多いために煩わしいとか、生活がしづらい面が多くあると感じる。それによって、大湫地区はどんどん過疎化、高齢化が進んでいる。年に 3 回ある奉仕作業の草刈りや側溝掃除なども、1 人当たりの分担範囲がどんどん広くなる中で、おのずと限界が見えてきている。
	・やりたいことのある人との熱量の差があり、万人受けするものが少ないと感じる。
	・近所の方々も昔のように若さはないけれど、地味だけど頑張っている。
	・各地域コミュニティを充実してほしい。コロナ以降、人と人との繋がりが希薄になり、お年寄りも子供も外で活動する機会が失われている(色々な事をするにも保身

	に走ってしまっている)。そしてそれを運営する側も成り手が無い。これからの時代は、地域ごとの支え合いがその街をよくするカギだと思う。私の地域では、瑞浪市の先駆けでコミュニティの充実を進めていますが、まだまだ浸透には至っていない。とりあえず 5 年 10 年を目処にコツコツと活動が続けていこうと動いている。それには、自治体のバックアップが必要不可欠である。 ・魅力ある街作りに向け、以前に比べて大変前進しておりイベントや行事等も増えてとても感心している。ただ、個人的に感じる事です。人による温度差があるようみえる。全員が積極的になる事は無理ですが、アプローチの方法やプレゼンテーションの数を増やすなどして一人でも多くの方々に作り手の意向が伝わる方法を模索していただけるといいんじゃないかと思う。
3. 住環境	・息子が離婚して 1 人でのいるのが少々不安だが、近所にも 1 人暮らしの方がいるので少し“ホッ”としているが…。スーパーも近いし、子どもも見守ってくれているので、今は穏やかに暮らしている。 ・設問 13 などは、「どちらかといえばそう思う」が多くなっていると思うが、私は瑞浪市が生まれ育った場所ということもあり、住みやすく好きだ。瑞浪のよさをもっと伝えていきたいし、安心して住みやすいと思ってもらえたらよいと思っている。 ・瑞浪市に住んで 30 年、住みよいと思っている。 ・瑞浪市に生まれ育ち、職場も結婚も瑞浪。一步も市外に出たことがない私は、瑞浪が大好きだ。 ・陶地区は限界集落化が進行中で、若者の転出や空き家の増加が顕著だ。こうした状況の中で、私は車依存の生活で免許の自主返納を検討せねばならない年齢になっており、生活環境基盤の悪化で、交通難民、医療難民、インフラの維持管理などの諸問題がどうなるのか不安に感じている。 ・上下水道などのインフラを節約できるように、地域ごとに拠点を作って、いわゆるコンパクトシティが点在する瑞浪市を目指すことも必要だと思う。 ・近代的なものなどなくても満足だ。 ・引き取り手のない土地は、段階的に自然へ戻す議論が必要だと思う。 ・陶地区は高齢化が進み、地場産業の変化や学校統合も重なり、生活環境が急速に厳しくなっている。「将来が見えない」という不安は、地域の現状を考えると自然なことではないかと思う。こうした負の現実問題もオープンにして、ネガティブな問題もポジティブに検討する必要があると思う。 ・リニアが中津川に停車するような時代になったときに、瑞浪のまちが単なる通過点とならないようにするためには、特徴的なまちづくりが必要だと思われる。 ・空き家対策で管理されていない家を減らし、移住促進、耕作放棄地を減らしてほしい。 ・人口を増やす対策も大切。そこで住み続けたいと思える対策も大切ではないかと思う。 ・瑞浪市民の定着で、輪が広がるよう望む。 ・市営住宅を増やしてほしい。 ・空き家の有効活用が大切である。

・ 空き家と土地の「店じまい」による管理不全空き家への指定強化、固定資産税優遇の解除が大切である。
・ 住み心地がよいから住みたくなる市で、若い方が残ってくれて、また、市外、県外から居住してくれるのが理想だと思う。
・ 自分が死んだ後の、家を含めた固定資産の処分が心配の種だ。残された家族に負担がないように処分できる方法を具体的に示してもらいたい。
・ 東濃地区が地元なので、ここに住み続けたい気持ちはあるが、どうなるかは分からない。
・ 若者の移住者が増え、若者の転出が止まらない限りは、瑞浪は高齢者ばかりになると思う。
・ 住環境（空き家を活用して、安く住めるなど）の整備が大切である。
・ 高校生に意見を聞けば、駅の再開発などの意見が出るのではないかな。
・ 図書館を新しくするときに、可児の図書館（無印と図書館が一緒になっていてとてもよい）を参考にしてほしい。
・ 今の図書館は階段が多いので、最近では車で送ってもらっても寄り付けず困っている。
・ 図書館が駅裏になるという話を聞いたが、線路を渡って行くというのはハードルが高い。駅前に、学生も老人もゆっくりできる、1階がカフェや飲食スペース、2階が図書館、3階がフリースペース、学習スペース、美術館などの施設があったら良いと思う。
・ 市内出身者（若者）が里帰りできる環境づくりが大切である。
・ 瑞浪市への移住支援が大切である。
・ 瑞浪駅北口に複合公共施設ができるようだが、瑞浪駅から通勤、通学する人も多くいる。瑞浪は広いので、駅まで車を使う人も多くいる。その人たちが不便にならないように気を配ってほしい。今は、車で駅まで来て、ホームに行くまでそれほど時間がかからず行けるが、駅北を整備して通勤、通学する人が不便になるようなことはしないでほしい。北口からもホームに出入りできるようにすることなども考えてほしい。
・ 駅北は、電車を利用する人が安心して車を置けるようにしてほしい。車を駅に置けなかったらどうしようと心配しなくてよいようにお願いしたい。
・ 今後、瑞浪駅周辺が大きく変わると思うが、これを機に、人が多く集まる駅だからこそできることや、利便性の高い施設になることを期待している。小規模店が多く入っても活気が出ると思うし、そこにみんなが集えるカフェや自然な公園があってもよいと思う。
・ 瑞浪駅前・駅裏の再開発が市の方針として実施される計画や、現実に用地買収を含め進行しているが、箱物をつくればよいという考え方はどうかと考える。スポットライト的な施策ではなく、もっと市民生活、地域に根差したボトムアップのできる施策、コアな施策をもっと期待したい。
・ 瑞浪駅周辺の開発が気になる。
・ ワクワクするような駅周りになるとよいと期待している。
・ 駅北の新構想の完成が楽しみだ。

	・ 駅北、駅南開発は不要だと思う。 ・ 今の瑞浪の駅前は閑散としている。それをどうするという意見はないが、以前のように活気のある状態になればと思うばかりだ。 ・ 電車を降りると、いつも駅前の寂しさを感じる。開発に期待しているが、なかなか進まず、人の集う場所がなくなるように感じる。 ・ 駅前の活性化が大切である。 ・ 駅前の開発により人が動き、まちが動くと思う。 ・ 瑞浪駅周辺の再開発の見通しをぜひ示してほしい。 ・ 駅前の開発を手始めに行ってはどうか。 ・ 瑞浪市の玄関口として、JR 瑞浪駅前、駅裏の再構築や商店街の活性化も将来的に必要である。 ・ 東西南北に広い瑞浪市民が利用する複合公共施設を、駅北でなくても、瑞浪市のど真ん中に広い駐車場を兼ね備えてつくってほしい。 ・ 駅北再開発は必要か。 ・ 外から人が流入してくるような施設があると、瑞浪市のことをアピールできると思うし、市民の憩いの場となり、満足度が上がると思う。瑞浪市は東濃五市の中心に位置しているので、地の利を生かすとよいと考える。今後も魅力ある瑞浪市のためをお願いしたい。 ・ 車がなくても住みやすく、生活できる環境（タクシーチケット、フリーパス、商業施設の集中、移動マーケット、病院の近く）が大切である。 ・ 移住者誘致においては、名古屋圏で働く人のベッドタウンとしては、ギリギリ通勤圏内かと思うが、メリット（電車、高速道路、土地が安い）をアピールできていないために移住者が増えてこないと思われる。 ・ 私の住む釜戸町には JR 釜戸駅があり、名古屋方面への通勤も十分可能な立地である。しかし現在の移住施策は空き家活用が中心となっており、実際には高齢者世帯の移住が多く、若い世代や子育て世代の定住促進には十分つながっていないように感じる。釜戸町には駅がありながら、駅周辺には多くの田んぼや未活用が残っている。一方で、バイパス整備や道の駅などの計画は進められているが、若い世代を呼び込むための住宅地整備という視点が不足しているのではないかと考える。瑞浪駅前の再開発は大規模で多額の費用が必要になると思う。しかし、釜戸駅周辺であれば比較的少ない投資で効果的な人口増加策が可能ではないかと考える。例えば、バイパスから釜戸駅へアクセスしやすい道路整備駅周辺の農地を計画的に住宅地として活用子育て世代向けの戸建て住宅地の整備「名古屋通勤圏のまち」としての積極的な PR などである。大規模マンションよりも、庭付き住宅を希望する若いファミリー層の需要は十分あると思う。名古屋市内では住宅価格も高騰しており、自然豊かな環境で子育てをしたいと考える世帯にとって、釜戸町は大きな可能性を持っている。課題としては中学校の統合により通学環境が以前より不便になったことがある。しかし現在はまだ小学校もあり、地域コミュニティも維持されている。だからこそ今のうちに若い世代の定住促進に取り組まなければ、将来的には地域の維持そのものが難しくなってしまうことを危惧している。高齢者への支援はもちろん大切である。しかし、高齢者ばかりに目を向けたまちづくりでは、いずれ地域の活力は
--	---

	失われてしまう。人口減少や空き家の増加、地域行事の担い手不足などの問題は、現役世代や子育て世代を増やさなければ解決できない。現在の市長は釜戸出身の方と伺っている。もちろん個人の居住地をどうこう言うつもりはないが、実際には市街地へ人口が流れている現状がある。なぜ釜戸に住む人が増えないのか、なぜ若い世代が定住しないのかを改めて分析し、対策を講じる必要があると思う。若い世代が住み、子どもが育ち、その子どもたちが将来また地域に残る。その循環をつくるのが、本当の意味での人口対策であり、将来の瑞浪市の発展につながるのではない。釜戸町には「駅がある」「自然が豊か」「名古屋へ通勤できる」という大きな強みがある。その魅力を活かし、将来を担う若い世代が住みたくなるまちづくりを進めていただくことを強く希望する。
	・ 空き家が 10 年以上も放置されているものが多い。壁に亀裂が入って家が傾き、いつ崩れるかと思うようなものもある。窓ガラスが割れたり壁に穴が開いたり、雑草が生い茂ったりして野生動物などの住処になっていそうで怖いし不衛生。多数の放置家屋を整理して多くの土地を作った方が、環境の良さや地価の安さを目当てに他からの定住者を増やすことができるはず。少ない人口に見合わない駅周辺の開発をして、定住しない人にただ立ち寄ってもらうだけよりは建設的な取り組みになると思う。 ・ 車がなくても住みやすく、生活できる環境（タクシーチケット、フリーパス、商業施設の集中、移動マーケット、病院の近く）が大切である。 ・ 駅前が不便（路駐がある）である。 ・ 駅を降りた時にさみしい街だなと思うので、駅前を整備して活気はある感じにできるとよい。 ・ 駅前駅裏開発の早期整備が必要である。
4. まちなみ	・ 子どもたちの遊べる施設がない。 ・ 我が家には未就園児が 2 人いるが、日曜日や雨の日に遊べる場所がなく、市外の遊び場に行って遊んでいる。そのため、そういった子どもが遊べる施設が充実するとうれしい。 ・ 瑞浪市はとにかく暗い。車に乗るばかりの人は気付かないだろうが、歩行者にとってはとにかく暗い。冬など、17 時には日が沈んでしまうが、学校周辺でも暗い。安全で活気あるまちになるよう、明かりの整備をしてほしい。 ・ 車から見た町並みを美しくしてほしい。 ・ 化石公園の看板やデスモス君のペンキが剥げていて、見苦しい。 ・ プールや夏場の水遊びのできる公園があると良い。 ・ 市内のいろいろな所にベンチがあり、散歩の休憩などに利用できてよいと思うが、雨や日差しをしのげる屋根があるとよいと思う。 ・ 大都会でもないのに、駅の再開発はナンセンスだ。 ・ 公園の整備が大切である。 ・ 公園の美化が大切である。人が来ないと草が生え、汚くなり、また人が来なくなり、荒れ果てる。そうならないように、使っていない公園も市が介入してきれいにすると、子どもや人が入り、よくなると思う。地域のボランティア頼みではできないと思う。

	・釜戸地区にも公園ができるとありがたい。 ・土岐地区は公園が少ないように思う。自分が子育てしているときとあまり変わりがない気がする。 ・稲津町内に公園がなくて困っていると皆さん言っているので、検討してほしいできない理由があれば教えてほしい。 ・通勤をしている都合上、駅周辺の設備の老朽化や空き店舗状況がかなり気になる。夏の花火大会やバサラカーニバル等のイベントである程度は他の市や県から人が集まってくると思うが、現状の駅周辺設備を見てまた来たいとは到底思わないと思う。思い切った施設開発は今後瑞浪市が存続していく中で必須だと考えられる。
5. 情報共有	・SNS、AI の活用は大切だが、使えない人（高齢者など）もいると思う。 ・こういうアンケートを生かしてほしい。 ・60 代を過ぎると情報が入ってこない。 ・SNS での発信は有効だと思う。 ・まずは 83 歳でアンケートに答える機会をいただき、感謝している。目まぐるしく変わったアナログからデジタルの世界、カタカナ用語、短縮語の理解が大変に感じている。 ・老人世帯は、「広報みずなみ」から瑞浪市の情報を得ている。これからもよろしくお願いしたい。 ・市のことも知らないことが多い（食、施設、設備など）。 ・アパートにも広報の配布を希望する。まちの情報が知りたい。 ・広く市民の声を聞くため、恵那市は、広報えなと一緒に各家庭へ「広報直通便」を届けている。参考にしてほしい。 ・高齢になると、カタカナ言葉や横文字が理解できなくなり、今回のアンケートも悩んだ。 ・広報では、市役所の人には当然のことでも一般市民には分からないことが多い、という点を心に留め、専門用語を使わず、端的に分かりやすい表現にしてほしい。一般市民が理解できる情報の伝え方にしてほしい。 ・設問のカタカナが理解できなかった。

◆生涯活躍のまちづくり

『生涯活躍のまちづくり』では、高齢者福祉施策に関する意見が最も多く、高齢者が安心して暮らせる支援の充実や、介護施設・交流の場の確保を求める意見がみられました。

施策	自由意見
1. 地域福祉・社会保障	・例えば、徹底して福祉のまちを築いていくのはどうだろう。どのまちもできればやりたくない（お金を出したくない）ことではないだろうか。福祉のまちづくりをし、このまち（瑞浪）で死にたいと思ってもらえるまでに成長させれば、人口も増え、若い人の働く場も増えていくのではないだろうか。障がい者（ひきこもりを含む）や高齢者の住みやすいまちは、小さな子にとっても住みやすいと思う。 ・福祉に的を当てて考えたものであるが、これまでの経済優先の政策ではなく、別の角度から見て考えることが必要なのではないだろうか。人は等しく、楽しく幸せな人生を過ごしたいと思っている、と考える。
2. 健康・医療	・医療の充実が大切である。市内に総合病院がない。 ・市内に耳鼻科があると良い。 ・大きな総合病院も瑞浪市にはなくなり、不便を感じている。 ・医療センターの患者本位の医療の向上のため、職員の再教育を促したい。 ・厚生病院が移転して大変である。 ・病院が遠くなり、不便で困っている。 ・子育て中なので、小児科、産婦人科を増やしてほしい。大きな病院が遠くなったので、急病のときなどに困る。 ・瑞浪市には小児科や皮膚科が少なく、耳鼻科にかかるときは他市に通っている。もう少し増やしてもらいたい。 ・病院が土岐と合併する（した）ことで、地域の医療が少なからず減衰した。 ・特に必要かなと思うのは健康系で、市主催の検診のボリュームもう少し検診の種類を増やすとか、助成を増やして、早期治療ができる体制を整えてほしい。休日夜間診療について体調悪くなるのって意外と土日だったり夜間だったりすることが多いのに、休日に専用電話に連絡しても東濃厚生とかにいけと言われる。ただ大病院はそもそも人も多くすぐ見てもらえない。例えば春日井市は休日夜間診療所を夜間や日曜日に設けていたり、土岐市は市内のクリニックが持ち回りで日曜日診療をしてたりするので、町のプロモーションとかしてる前に、そうやっていつでも医療機関を受診できる環境が必要だと思う。
3. 障がい者福祉	・家族に障がい者がおり、障害福祉の手続で年に何回も市の窓口へ行くが、職員の勉強不足を感じる。専門職の育成のため、人的資質の向上を図っていただきたい。 ・母子家庭であり、下の子供が ADHD、ASD である。療育手帳を所持していて、福祉支援も受けているが、中々仕事にいけないときもあり、生活が苦しい。障害を抱えている子供がいる家庭への支援がもう少しあると助かるかと思う。
4. 高齢者福祉	・補助をして、託児、学童、そして介護施設の負担を減らす取組は必要かと思う。 ・地域で連携して見守るまちになればよいと思う。 ・子育て支援ばかりが叫ばれているが、70 歳を過ぎても働かないと生活していけない現状をどう思うか。高齢者が安心して暮らせるような、年を重ねても安心と思えるまちであってほしい。

施策	自由意見
	・男性高齢者と同居しているが、介護やその他のサービスを見掛けても、内容がどうも女性主体で、男性陣が気軽に外で交流できる場が少なく、参加しづらい感じがあるように見受ける。女性の数が多いので仕方のない側面もあるが、「歌を歌おう」や「小物を作ろう」、「絵を描こう」などの取組は、男性には魅力がないのではないかな。対応策があればと思う。 ・子育て支援も大切だと思うが、高齢者に対しても何らかの支援があるとよいと思う。 ・近い将来入居できる介護施設があるかどうか心配である。 ・高齢者に優しいまちであってほしい。 ・高齢者の生きてきた道を大切にしたい取組をしてほしい。 ・高齢者が多く、各地域に集える場所があるとよい。私が昔住んでいた地域には福祉会館があり、大勢の高齢者が足を運び、夕方までいられる場所があった。家族の負担が減り、高齢者の居場所ができる。 ・100歳のお祝いの件だが、以前は市長さんほかが自宅にお祝いを持ってきて、家族写真も撮っていき、後日写真をいただいたと聞いていたが、最近は代理の方が来て、すぐ帰るという、事務的な感じがして少し寂しい感じだったらしい。市長さんも忙しいと思うが、100歳になった本人たちは、市長さんが来てくれることをとても楽しみにしている人が多いと聞く。市長さんがわざわざ自分のために来てくださるということに意味があると思う。今まで生きてきてよかった、これからの生きがいにもつながる、この瑞浪に住んでいてよかったと思うのではないかな。やはり瑞浪市は市民のことを考えてくれているのだと、本人、家族、近所の人、みんながそう思うのではないかな。そのため、100歳のお祝いは、市長さんにお祝いに駆け付けていただくことを希望する。 ・高齢者対策（特養、民間ではなく行政で）施設を検討してほしい。 ・高齢者も増加していく未来は絶対なので、そこをフォローする制度や仕組みを地域の方と考えたい。 ・生きがいがほしい。 ・子どもの情操教育や、高齢となつてからの生きがいのため（ボケ防止）にも「三世代政策」を考えてほしい。 ・高齢者と若い世代が共存できる街になると良い。 ・高齢者が気軽に相談する環境(コミュニティーに部署)の設置を希望する。

◆活気みなぎるまちづくり

『活気みなぎるまちづくり』では、商業施策に関する意見が最も多く、商業施設や店舗の充実、身近な買い物環境や若者が集える場所の確保を求める意見がみられました。

施策	自由意見
1. 農林業	・草刈りサービスがあると良い。(ハンマーナイフモアやラジコン草刈り機のレンタル、使っていない土地の利用など) ・農業振興の土地であっても、やり手がいなくなったら、市か企業に買い取ってほしい。そうした方が、耕作放棄とならず、合理的な経営ができると思う。 ・竹林が非常に多いと思う。この竹を使い、何か作れないだろうか。 ・自家用農産物(米、野菜など)を若い人が楽しく、休日を利用して作れるような環境、体制づくりが大切である。 ・保安林の有効活用が大切である。
2. 商業	・コンビニなど、物を買うことができる店がなく、不便に感じている。 ・今の世の中、物価高で何をするにしても安くない。他市のように、巨大な商業施設(イオンやアウトレット)などを呼び込めるようになると、他の地域からも客が来て買い物をし、瑞浪市も豊かになっていくとよいと思う。 ・買い物できる場所が毎回同じであること、外食する店が毎回同じであることにストレスを感じる。だから瑞浪から外へ出て買い物や食事に行ってしまう。お金を瑞浪に落とす工夫が必要かと思う。どんどん店が減っていってしまうのは悲しい。 ・駅前にコンビニもなく、商店街に魅力がない。 ・買い物難民が周りに多すぎるため、移動スーパーのようなものがほしい。 ・町まで出かけなくても買い物ができるようになることを希望する。JAの購買部では、以前はいろいろな物が買えたような気がする。また、以前のように生活用品が買えるようになればありがたい。JAでなくても、朝市でもよいので、地元で買い物ができるようにしてほしい。 ・店を増やしてほしい。 ・店や企業が他市と比べると残念に感じる。 ・商店も寂しく、買い物しやすい店もなく、残念だ。 ・町へ出ると、昔の元気な商店街はなく、とても寂しくなる。 ・子どもたちとの日頃の会話から、「土岐や恵那の商業施設は利用しても、瑞浪は何もないよね……」という言葉をよく耳にする。何か瑞浪にも、若者たちが魅力を感じる「集える場所」が増えるとよいと思う。(ゆっくり話ができて、手頃に買い物やお茶、食事を楽しめるような場所。よい場所や魅力あるところも多くあるが、それが一か所で楽しめるような居場所。) ・市内商店街も廃れた感じがする。 ・もっと若い世代が瑞浪でも遊んだり、仕事終わりに気軽に集まったりする場所が増えると楽しいだろうと思う。 ・瑞浪市には遊べるところや若者受けする服屋、店がないので、可能であれば増やしてほしい。店や役所など、全体的に活気がない印象だ。 ・工場誘致も大事だが、魅力ある商業施設があると、活気ある市になるのではないかと。

	・ SUSHI RESTAURANT OR MORE RESTAURANT ・ 商店街も減衰し、市外の人が来ても食事するところもない。 ・ 大型商業施設の誘致が必要だと思う。 ・ 商業施設が欲しい。 ・ 飲食店などが増えず、魅力的ではない。 ・ 娯楽施設が少なすぎる。体を動かす施設がまた増えるみたいだが、それよりも、ラウンドワン等の商業施設があると若い世代はわざわざ他の場所に出向かなくても良くなり、地域内での活気も出るのではないかと。若い世代が楽しんで暮らせるように考えて欲しい。 ・ 飲食店を増加してほしい。 ・ 飲み屋さんが少ない。飲み屋さんが少ないという事は売り上げができないという事である。駅前だけでもせめて多治見くらいにならないかと常に思っている。金土曜日でも駅前に人がいない。活気のある町になるよう頑張ってください。 ・ 商業施設がもう少し盛んになると良い。
3. 工業	・ 働く場所が少ない。 ・ 瑞浪にももっと企業ができて、若者が住みやすい町になるとよいと思う。 ・ 他市町村と比べても、瑞浪は貧しいと思う。企業誘致がなかなか進んでいない。自然豊かな町なのに、税収が乏しい。 ・ 若者にも魅力的な就業の場が少ない。高齢化が進み、どんどん町が寂れている。企業誘致をしていかないと、空き地ばかりが増えていく。ここ 30 年、目新しいことがなくなってきていると思う。 ・ 瑞浪市は、大企業関連の企業誘致がないため、働く場所が少なく、人口減少につながっていると思う。 ・ 周辺の市町では商工業の進出が着実に進んでいるが、瑞浪市には静けさを感じている。 ・ 工場などの企業誘致が必要だと思う（瑞浪市の税収増）。 ・ 瑞浪には、まだ活用できる土地が多くあると思う。大きな会社などを誘致できるとよい。 ・ 優良企業の誘致による税収増が必要だと思う。 ・ 税収が増えるような企業誘致で、働く場所が確保できるとよいと思う。 ・ 企業にも入ってもらいたい。 ・ 「ちゃん屋みずなみ」への支援が必要だ。陶器だけの販売では集客力が弱く、「きなあつ瑞浪」と合わせるとよかったと思う。土岐市の「志野・織部」、山岡の「おばあちゃん市」を見るたびに、何とかならないかと思っている。 ・ 雇用創出するために企業を誘致した方がいいと思う。 ・ 大手企業をたくさん誘致して、雇用の確保、子育てのしやすい環境、若い人が増えるような政策を考えてほしい。
4. 観光	・ きなあつ瑞浪の畜産物・農産物の充実や、土岐川探鳥会、小里ダム遊歩道など、自然に触れ合う機会を多くつくってほしい。身近にいる生き物の魅力を知らせてほしい。

	・七夕祭りの魅力がなくなった。キッチンカーでは小さな子どもたちは楽しめないと思う。
	・他市での「つちのこ」のようなイベントを開催してほしい。
	・道の駅などを利用して、自動車イベント（発表会、クラブミーティングなど）の会場を常設し、管理運営を行えば、毎週末、全国から参加希望団体や見学者の来場が期待できると思う。
	・市外へ出た人も、イベント、祭りには帰ってくるような伝統行事があるとよい。
	・陶器のイベントを土岐や多治見と同等の規模で行っていてもよいと思う。陶器以外で定期的に他県の人を呼べるような観光スポット、イベントがあると、さらに良いと思う。
	・「きなあつ瑞浪」があることをもっと手前の、みわ屋さんの駐車場辺りから大きく予告してもらった方が分かりやすい。車線変更の準備も必要だと思う。
	・瑞浪は「きなあつ瑞浪」から「ちゃわん屋みずなみ」までは少し離れているが、「きなあつ瑞浪」へ来た他県の客などに、帰りにもっと「ちゃわん屋みずなみ」へ寄ってもらえるようにアピールしてみたらどうだろうか。最近は「ちゃわん屋みずなみ」の手前にも旗が増えたが、「きなあつ瑞浪からのお帰りには、お気に入りの器も収穫して帰ろう」とか、「旅の思い出には、きっと見つかるあなただけのお気に入りの器」とか、もっと具体的に気を引き付けてみたらどうか。
	・土岐市にはスマートインターも含めると3か所のインターチェンジがあり、商業施設としてプレミアムアウトレットやイオンモールが存在する。恵那市にはアクロスプラザなどの商業施設があり、WRC-FIA 世界ラリー選手権ラリージャパンも開催され、モータースポーツイベントも世界から注目されている。それに比べると、瑞浪市は多くの人々を呼び込める特徴的なイベントや施設、交通・道路面での呼び込み動線がとても貧弱だと思う。瑞浪市ならではの特徴的なレジャー施設を展開するとすれば、土岐川河畔に車中泊や一人でも気楽にキャンプができるようなRVキャンプ場的な施設をつくり、1泊2,000円程度で利用できるサービスを展開、キャンプ場には隣接施設として、日帰り温泉施設や地場産品を販売できる「きなあつ瑞浪」のような商業施設、コンビニ、ATMも展開し、隣町の土岐市や恵那市の施設にきた人々をうまく瑞浪市にも呼び込めるような仕掛けを考えることが大切である。
	・豊かな自然があり、お金をかけたり、遠くに行かなくても、子どもたちが（大人も）楽しめる方法はたくさんあると思うので、自然の中の遊び場、自然で味わう自由、自然の恵みの食べ物、自然の中で生まれる仲間など、自然を中心とした子育て、教育、保育、観光産業に思い切ってシフトチェンジできる大人が増えると、人、まち、暮らしは変わり、豊かになっていけると思う。

・瑞浪市は国内でも珍しい他の自治体と差別化できる資産を持っているのに、それを活用しておらずとてももったいないと感じている。観光等で町は活性化できない。瑞浪は焼き物や化石、ゴルフ、他にもいくつか特徴があるが、それらで全国から人が集められるか。地域経済が活性化するほど人を集められるか。これまで何年も取り組んできて無理だったことは、今後も無理だと思う。瑞浪市には「フェスティカサーキット瑞浪」と「YZ サーキット」というモータースポーツ施設がある。1つの自治体に2つの“重要な”モータースポーツ施設があるのは、恐らく鈴鹿市を除くと瑞浪市ぐらいではないかと思う。(もしかしたら富士スピードウェイのある静岡の小山もそうかもしれないが、それは鈴鹿市と同じで大きな国際サーキットがあるからだ。)例えば「フェスティカサーキット瑞浪」は、国内のプロレーサーであれば知らない人はいないと思う。ほぼ全員が知っている。また「YZ サーキット」は、自動車競技の一つである“ドリフト”を行っている人であれば知らない人はいない。両方ともその業界ではとても有名な欠かせない重要な場所なのだ。そしてそのことを瑞浪市民のほとんどが知らないのだ。モータースポーツに取り組んでいる人は、そもそも可処分所得の多い人たちだ。つまりお金を使える人たちだ。ドリフトをしている子たちなんかは常にお金がないイメージがあるが、それは車にお金を使っているからだ。そして特筆すべきはフェスティカサーキット瑞浪に来る人たちだ。彼らはただのカート愛好家ではない。皆さんかなりのお金持ちなのだ。例えば5月のGWのレース、6月のレースには100人から150人のドライバーがレースにエントリーしている。これは子供から大人まで含めてだ。レースには1人で来るわけではなく、ご家族やチームメンバー、メカニックなどが来るので、300人近くが瑞浪を目的地に来ているのだ。その人たちがどこに宿泊をしてどこで食事をとっていると思うか、恵那、土岐、多治見のビジネスホテルとその周辺の飲食店だ。目的地は瑞浪なのに、他でお金を落としているのだ。この300人にお金を落としてもらうようにすることが、観光で盛り上げる事よりも大切だと思っている。そしてこの2つのモータースポーツ施設を有効活用することで、瑞浪を目的地とする経済が回り始める。観光ではなくコンテンツで町を起こしていこうということだ。アニメなどの聖地巡礼に似ているが、モータースポーツの場合はそのような一過性のものではないという点で優れている。趣味性の高いものなので、そこにお金が集まる。ここに集中していこうということだ。全国民が行きたいと思うような京都や沖縄のようなところじゃないと観光で経済は回らない。コンテンツで経済を回していこうという話だ。

	・何十年も前にスポーツタイプの中古車を探しに県外に行った。その時に店員さんから「どこから来ましたか？」と聞かれたので「知らないと思いますが岐阜県瑞浪市と言うところからです。」と答えたら店員は「えー知ってますよ！モータースポーツが盛んな所じゃないですか！サーキットありますよね？」と言っていた。当時は自分も日吉のサーキットに行ってたのでとても嬉しかった思い出がある。是非とも WRC（ラリージャパン）の誘致をしてほしい。小原では景品をそろえ大抽選大会やパブリックビューイング等まち全体で盛り上っていた。もちろん岩村などのリエゾン区間などもう定着しつつある場所もある。瑞浪市でラリージャパンをしてほしい。ご当地アイドルも良いと思う。今は配信などができるので、配信などで様子をみつつゆくゆくは LIVE などの活動をしてほしい。VTuber もありだと思う。多治見市がやくならマグカップもで、多治見市内をアニメの舞台にしているのを見て、そして聖地巡礼をする方々がいると TV で見たのですごいと思った。是非とも瑞浪市でもやれるよう頑張ってもらいたい。 ・瑞浪市は、川があり、山があり、緑が豊富で日本の四季が感じられて、子どもが過ごす場所としては最適かと思う。そこをもっとアピールしてもらいたいと思う。 ・田舎であることが魅力である。近隣の市を含めゴルフ場やテニスコートが多数あり、カマドブリュワリーのような全国的に有名な店があるのが魅力である。 ・観光業について可児や中津川には歴史遺産においても劣ると思うので、宿泊などの観光客をもてなす受け皿としてアプローチしたほうがよい。 ・市には名産や観光地等たくさんありますが、活かしきれていないので認知度が低く地味なイメージである。もっと広く知ってもらえるよう、ここにしかないイベント等工夫して観光収入を増やし豊かな市となれば、市民への還元も多くなり住みたい街となるのではないかな。若者が住みたい、と思える魅力ある街にして欲しい。
5. 市民生活	・市内で働く場所があればよい。 ・働くところが少ない。 ・産業衰退に伴う働く場所の確保、独自産業の確立と経済の活性化、地域における雇用や仕事をつくり出すことを希望する。 ・魅力的な職（就職先）がほとんど見つからない。 ・少子高齢化が続く中で、日本全体の人口減少は避けられず、未婚化、晩婚化、出生率低下などへの対策が遅れてきたことも否めない。行政も対策を模索しているようだが、人口減少の流れは簡単には変わらないと感じている。東濃厚生病院の転出は、瑞浪市で働く女性の減少につながったと聞く。人口減少対策として、例えば、市職員の女性比率を大幅に高める採用方針や、企業誘致など、女性の働く場所の拡大施策も検討してはどうかと思うことがある。 ・人口を増やすために移住の方に支援は必要だが、もっと今現在住んでいる市民の事を大事にしてほしい。 ・市民の生活がよくなるよう検討してほしい。 ・移民も多くなってきていて、言葉が通じない人も多く地下道を歩く時に後ろに移民がいる時は特に安心できない。 ・ハローワークが多治見にしかないので登録しに行く必要があり不便である。市内にハローワークを作ってもらいたい。

	・ 定住者を増やすためには高齢者や障がい者が安心して暮らせる街にするべきだと思う。若者をいくら誘致しても、老後に暮らしづらいところに定住したいとは思わない。駅からどんなに離れたところに住んでいても車の運転ができなくなっても、買い物や通院など生活に困らないような住環境を整えることが大切だと思う。「ゆりかごから墓場まで、どの世代も安心して暮らせる街づくり」をして欲しい。 ・ コンビニで証明書の交付ができて近くのコンビニに行っても市役所まで行っても手間はたいして変わらず、コンビニで使い慣れない機械を苦勞して使うより、市役所で手続きした方が安心できる。ソフト面だけ整備してもハード面が充実してなければ意味がない。都会までとは言わないが、田舎でも不自由せずに暮らすことができるようにして欲しい。
--	--

◆持続可能なまちづくり

『持続可能なまちづくり』では、公共交通施策に関する意見が最も多く、コミュニティバスの増便や、運転免許返納後の通院・買い物などの移動手段の確保といった意見がみられました。

施策	自由意見
1. 循環型社会	・プラスチックごみを分別できるようにしていただけるとありがたい。設備などを新設するのは大変だと思うが、「長期」を視野に考えていただきたい。 ・施設の維持には、ごみの焼却から得る熱による発電を生かしたらよいと思う。この構想は、パブリックホールだけでなく、あらゆる角度から利用方法を考えたらよいと思う。 ・粗大ごみ（可燃、不燃）の回収を希望する。高齢者世帯などの戸別収集があるが、衣装ケース（プラスチック製）など1個では、戸別収集を利用しにくい。
2. 環境保全・エネルギー	・土岐川清掃のときに、学校側だけでなく、反対側の道路沿いもやってほしい。クズのつるが道路にいっぱいみ出し、そこにごみを捨てていく人がいて、冬に葉が枯れると道路の下にいっぱい出てくるので、環境に悪いと思う。 ・開発ばかりに重点をおかず森や自然を育てる事に目を向けて欲しい。今、森は荒れている。森が豊かになれば災害は減り、熊出没等も減り、水も豊かになり市の力強い味方になってくれると思う。
3. 道路・河川	・道や歩道が木の枝や草で、人が歩けないような所がある。 ・19号から直接車で駅に行けるようにしてほしい。 ・道路脇の清掃（草刈り、ごみ）など、車で走行していると、とても気になる。 ・シルバーカーに乗るにしても、道路や歩道が狭く危ない。 ・国道のインフラ整備と、道路の草や木の伐採を年に最低2回はやってほしい。 ・道路などは整備されているか、疑問に感じる。 ・道路網の整備を推進してほしい。 ・市道や各道路の草が伸び過ぎて、通路が歩きにくい。 ・市有地の草刈りなど、管理をお願いしたい。 ・街路樹の剪定、歩道の整備が大切である。定期的にやってほしい。 ・大川十三塚の七曲は、冬に雪が降ると通りにくく、通勤者の方々は大変苦労している。そのため、地域から他のまちへの引っ越しが多く、人口が急激かつ大幅に減少し、地域経済の活性化や子育ても安心してできない。 ・半原地区から化石博物館方面へ向かう道沿いの樹林が、この道路をつくった時点よりも随分大きくなり、立ち枯れた松があったり、萩や雑草が生い茂ったりして道幅が狭くなっている。 ・徒歩で買い物に行くには地下道(道路の反対側へ行く時に利用)を使用するが、経年劣化で壁が剥がれ落ちてきていたり、ヒビが大幅に入っていたり等があり、危険を感じている。車社会だからかもしれませんが、徒歩で移動する人の事も考え、定期的に歩道の整備(草の処理なども含めて)もして欲しい。 ・19号バイパスを含め、道路や歩道の状態が悪く、生活に支障がある。

施策	自由意見
	・歩道を歩けないほど雑草が茂り、歩きづらくて車道に出てしまうことがある。車から歩行者がいるのが見えないほど高く伸びているところさえあるのに放置されている。
4. 上下水道	・上下水道料金が高い。 ・インフラ（水道、上下水道）は、ある程度の値段で維持してほしい。 ・意外に高い水道代がデメリットかと思う。インフラ整備にお金がかかるとはいえ、もう少しコストを下げる努力をして欲しい。 ・水道料金のコンビニ払いは口座振替にしてほしい。ハガキとか忘れてしまうから。
5. 公共交通	・今は車を運転しているので、生活していて困ることはないが、これから先、車を運転できなくなったときの生活が不安である。 ・交通の便が悪いと感じる。 ・コミュニティバスの増便を希望する。午前、午後ともに往復にしてほしい。 ・もっと移動できたり、集まって話せたり、気楽にできるとよいと思う。 ・高齢者のためのコミュニティバスの増便をお願いしたい。 ・運転免許を返納したときの交通手段があまりないと思う。 ・車に乗れなくなったときの買い物、移動に不安がある。 ・JR中央線があり、中央道があり、行こうと思えばスキーも登山も海水浴も、どこへでも行けて便利だ。それに市内は混まない。 ・車に乗れなくなっても、便利で住みやすくしてほしい。 ・高齢者が運転免許を返納できるよう、瑞浪市内の交通の便を考えてもらえるとよいと思っている。 ・公共交通の充実が大切である。 ・今は自動車を運転することが欠かせない生活をしているが、今後、高齢になって運転できなくなることを考えると、多様な人の暮らしやすさや環境保全の面に配慮した交通システムが瑞浪市にできるとよいと思う。 ・交通手段について、通院、買い物など。いろいろなイベントをしても、会場まで出向けない。幅広く考えてほしい。陶～稲津～瑞浪の交通を安く巡回してほしい。 ・これからの人生を安心して暮らせる、高齢者に対する優しい何か、例えばコミュニティバスの増便などがあればと思う。 ・高齢者が増えていく分、運転免許の返納に伴い、病院への通院や買い物などが不自由になることが考えられる。子どもは仕事もあり、サポートすることがなかなか難しいと聞くと、高齢者は子どもに迷惑をかけたくないと言うため、そういった方のサービスの利用や通院などの手段が増えるような事業の拡大を期待したい。 ・バスの本数を増やしたりしてくれるとよいと思う。 ・高齢者になると、交通の不便に一番困っている。デマンドタクシーはとても助かっている。公共交通バスの昼間の便がないのが不便で、困っている。 ・コミュニティバスをたまに利用している。これから運転免許を返納するときに来た場合、困るのは、100円バスが午後3時15分で終了するためである。駅から出るバスの本数を増やしてもらえると、病院もいくつかあり、店舗などを利用することができるので、とても助かる。

施策	自由意見
	・ 乗り物を便利にしてほしい。 ・ 陶町に住んでいるが、交通の便はバス路線が少なく、高齢者が多く、大変不便を感じている。 ・ 交通機関の充実（高齢者や子どもが安心して移動できる環境整備）が大切である。 ・ 田舎でも車を持たなくても暮らせるようにするために交通は海外のように車所有者が自由に運転手になれるウーバータクシーのようなシステムを導入して欲しい。 ・ 土日のバスが少ない。 ・ 市内バスの本数が少ないので増やしてほしいと思う。 ・ バスで駅に行けるように本数を増やして欲しい。 ・ 大川バス停まで 1 キロあり歩いて行くのにも大変です 高齢者が運転できなくなり買い物 医者など、1 人で瑞浪までは行くことができません。タクシーは数千円します。とても過ごしやすいとは言えないのではないですか？陶町 1 週の循環バスは出てますが、それ以外に直接瑞浪へ降りれる簡易バスがあれば非常にありがたいです ・ 東京から引っ越してきて痛感するのは、移動手段が車メインであること。車を持っていない人は、バスを利用するしかないが、バスが 1 日 4 本しかないのは不便に感じる。維持費の問題などもあるのだろうけど、土岐市にある相乗りタクシーみたいに、予約制で、予約があるときにだけバスまたは、相乗りタクシー運行を増やす等があると嬉しい。また、瑞浪から東濃中部医療センターへ行くには、1 度土岐市駅まで行かないとバスがないので不便である。車がないので、病院から自宅まで猛暑の中 1 時間以上歩く必要がある。車を買えば解決する問題だと言われたらそうなのだが、正社員で働けない事情があるのと、バイトの賃金が低いので、現実的に難しい。また、小学生～高校生の免許持っていない人は、親に送ってもらえるとは限らないので検討していただきたい。 ・ 東濃厚生病院が合併吸収する形で土岐市に行ってしまったので、シャトルバスの本数などを増やして欲しい。
6. 防犯・交通安全	・ パトロールを強化していただきたい。 ・ 住みやすい土地だが、防犯にも力を入れてほしい（カメラの設置など）。 ・ 路上駐車がが多く、困っている。路上駐車が両側に停まっていることや、スピードを出して通る車もあり、とても危険に感じる。 ・ 補助金制度（ヘルメット）の P R が大切である。 ・ 交通安全面での問題点として、農道道路の舗装が荒れ、センターラインも消えており、センターラインを越えて走ってくる車両も多くなり、とても危険を感じる。 ・ 車社会だからこそ、街灯が少なく、子供が一人で歩いていたら危険だと思う場所も多い。 ・ 駅から市役所までは多すぎるくらいの街灯があるのに、他の道路は、夜は懐中電灯がないと歩けないほど真っ暗で危険なところがとても多い。 ・ 大人でも通行するのが怖いと思うようなところを、特に早く暗くなる冬の夕方などに子供が下校する様子を見ていて心配になる。最近は田舎でも犯罪が多く、熊などの野生動物も心配なので、もっと街灯や防犯カメラを多く設置するべきだと思う。 ・ マクドナルドの交差点が右折時あまりよく見えず危ないと感じる。

施策	自由意見
7. 行財政運営	・土岐市では、証明書のコンビニ発行サービスは100円引きと安くなっている。何かメリットがあるとなおよいのではないかなと思う。 ・市役所に行きたくても、子どもに頼らなければ行くことができないため、月に1回でよいので、土日市役所が開いているとよいと思う。 ・これからの未来を担っていく子どもたちに、この瑞浪市に住んでいたことをよかったと思ってもらえるような「まち」にしてほしい。市民みんなの声を拾う機会と人材を増やしてほしい。 ・若い方々の意見を聞いてほしい。 ・瑞浪市民の暮らしをよくするためには、瑞浪市の行政を担う人たちが真剣に多方面から知恵を絞り、他市の行政の在り方を学び、それに取り組むことが大切である。 ・市の職員などが交代で草刈りに出かけてはどうか。 ・水道料金を安くする、ゴミ袋を安くする、などを希望する。 ・ゴミ袋が高い。 ・国の試算でも2040年には自治体は半減していると言われています。私は東濃5市もまた合併の話は避けられないと思っています。隣の恵那市は世界ラリー選手権を招致していてWebサイトでもモータースポーツで町を盛り上げていくと記しています。しかし肝心のモータースポーツ施設は持っていません。もと簡保の宿の駐車場とバイク用のミニサーキットがあるだけです。瑞浪と合併をすれば間違いなくモータースポーツの町と名乗ることができます。また土岐市はアウトレットとイオンモールがエリアの大事なハブとなります。瑞浪や恵那と一緒になりたいと土岐市は思わないかもしれませんが、人口が減ってそうも言ってもらえないと思います。このイオンモール土岐の中にも手軽に楽しめるカート場があります。多治見や中津川には直接的にモータースポーツと直結するものではありませんが、モータースポーツ愛好家はおおかつたりもします。東濃5市が合併したときに何を中心に押し出していかというときにもこのモータースポーツというコンテンツは活かせるものだと思います。その時リーダーシップを取れるのはその施設を持っているみずなみだと思っています。 ・納めている市民税が市の為、市民の為に使われていると我々若者は実感できてとは思えないのが現状である。高齢者に配慮した設備や施設が増えるのは結構ですが若者をターゲットにした施設や政策を考えないと瑞浪市が存続していくのは不可能と考える。 ・瑞浪市は他の市町村、特に愛知県に比べて、給食無償化とか経済支援とか医療分野で遅れてる気がする。 ・サイエンスワールドは市外の人から料金を取るべきである。 ・市でできる権限の範囲で税金の無駄遣いをとにかく辞めて減税を早急に実施してほしい。無駄遣いではない効果的な取り組みはどんどん行なってほしい。ステルス増税で年々税負担が増えて可処分所得が減少し続けているように感じる。現状は税収が増え続けても効果のない無駄遣いが増えるだけのように感じる。

◆その他

施策	自由意見
その他	・子育て世代や高齢者への支援ばかりでなく、そこに含まれない世代も、公平なサービスや支援を求める。 ・昨今、土岐市では市民に商品券やお米券、ごみ袋の配布などがあり、大変うらやましく思った。瑞浪市でも市民が喜ぶ対策を期待している。 ・みずなみ商品券の使用期限が少し短いように感じる。小売店舗もなじみのない店が多いので使いづらい。しかし、発券してもらえただけ非常にありがたい。大切に使用してもらおう。 ・生活の支援が大切である。 ・支援金は子ども、老人だけでなく、全世帯平等にしてほしい。 ・物価高で市民の暮らしが苦しくなっており、特に夏の暑さと冬の寒さがきつく感じる。誰もがワンコイン（500 円くらい）で一日中過ごせるようなパブリックホールのようなところがあれば、各家庭でのライフラインの費用が下げられ、ひいては市全体の燃料費が節約できると思う。 ・現在の生活や物価高への対策に力を入れてほしい。 ・生活環境が移り変わり、高齢化が進んでいるのに、各コミュニティのトイレは和式が多い。災害や地域の行事などの際にとっても不便なので、全て洋式トイレにしてほしい。 ・今物価高でかなりお金的にも苦しいから支援金とかはありがたいし、給食費もありがたいし、そういうのはどんどん増やしていただけるとありがたい。 ・土岐市などは物価高に対し、商品券の配布などしているようだが、瑞浪市は全くない。市民の暮らしをよくしようという姿勢が全く見られない。他の市を参考にしてはどうか。

市民生活の現状についてのアンケート



調査のお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、令和6年3月に第7次瑞浪市総合計画を策定し、将来都市像を「幸せ実感都市 みずなみ 〜いっしょに創ろう 夢ある未来〜」と掲げました。その実現に向けた総合的かつ計画的な行政運営を、市民のみなさんとの協働によって進めていきます。

この調査は、市民のみなさんの暮らしの現状やまちづくりに対する意見や要望などを把握するため、令和8年5月1日現在、瑞浪市に住民票のあった18歳以上の市民の中から無作為に抽出した1,000人を対象に実施するものです。回答は統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。また、ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることも一切ありません。ぜひ、みなさんの率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

令和8年6月

瑞浪市長 水野 光二

ご記入にあたってのお願い

- 封筒の宛名の方が答えられない場合、ご本人に代わってご家族の方がお答えください。
(その場合、「1 あなた(回答者)ご自身について」には回答された方のごことをご記入ください)
- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号または文字に○印をつけてください。
- この調査票は、6月30日(火)までにご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。切手は不要です。

◆この調査はWEBでも回答できます。

右の二次元コードから専用のページ (<https://logoform.jp/f/XzsMY>) にアクセスしてください。WEBページから回答された場合、調査票の返信は不要です。



【調査に関するお問合せ先】

瑞浪市 みずなみ未来部 企画政策課

TEL 0572-68-9740 (直通)

FAX 0572-68-8749

E-mail kikaku@city.mizunami.lg.jp

1 あなた(回答者)ご自身について

設問1 あなたの性別は？ <1つに○印>	1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない ※ご自身の主観によりご記入ください。
設問2 あなたの年齢は？ ※回答日時点の年齢<1つに○印>	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
設問3 ご家族の構成は？ <1つに○印>	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親子二世帯（二世帯） 4. 親子孫三世帯（三世帯） 5. 兄弟姉妹 6. その他（ ）
設問4 あなたの職業は？ <1つに○印>	1. 自営業（農漁業等従事者も含む） 2. 会社員等（公務員・会社役員・専門職も含む） 3. 学生・専門学校生 4. パート・アルバイト 5. 無職（家事従事者も含む） 6. その他（ ）
設問5 あなたのお住まいの地区は？ <1つに○印>	1. 瑞浪地区 2. 土岐地区 3. 明世地区 4. 稲津地区 5. 陶地区 6. 日吉地区 7. 釜戸地区 8. 大湫地区
設問6 あなたは瑞浪市に住んで、通算何年になりますか？ <1つに○印>	1. 半年未満 2. 半年以上1年未満 3. 1年以上5年未満 4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上
設問7 現在、お住まいの住宅の種類は？ <1つに○印>	1. 一戸建て持家 2. 一戸建て借家 3. 分譲マンション 4. 民営賃貸マンション・アパート 5. 社宅・官舎・寮 6. 公営・公団住宅 7. その他（ ）
設問8 【通勤・通学者のみ】 あなたの通勤・通学先はどこですか？ <1つに○印>	1. 瑞浪市内 2. 土岐市 3. 多治見市 4. 恵那市 5. 中津川市 6. 豊田市 7. 名古屋市 8. その他（ ）

2 瑞浪市の暮らしやすさについて

設問9 総合的にみて、瑞浪市は住みよいところだと感じますか？ <1つに○印>

1. 大変住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない
 4. どちらかといえば住みにくい 5. 大変住みにくい

設問10 これからも瑞浪市に住み続けたいと思いますか？ <1つに○印>

1. いつまでも住み続けたい 2. 当分住み続けたい 3. できれば他市町村へ移転したい
 4. すぐにでも他市町村へ移転したい 5. わからない

設問 11 瑞浪市の現状について、あなたは総合的にみてどのように感じていますか？ <1つに○印>

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

3 みんなの暮らしの現状などについて

設問 12 日常生活に関する次の各項目について、「はい」または「いいえ」のうち、あなたの状況にあてはまる方をそれぞれ1つ選んで○印をつけてください。

(1) あなたは、日頃から健康づくりを実践していますか。	はい	いいえ
(2) あなたは、ごみの4 R活動に取り組んでいますか。 ※4 R活動とは、「Refuse (リフューズ) =レジ袋や過剰包装は断る、Reduce (リデュース) =ゴミの排出を減らす、Reuse (リユース) =再利用をする、Recycle (リサイクル) =再資源化をする」を推進する活動。	はい	いいえ
(3) あなたは、省エネルギー・新エネルギーへの取り組みをしていますか。	はい	いいえ
(4) あなたは、災害・火災・急病などに対する備えをしていますか。	はい	いいえ
(5) あなたは、困りごとを相談できる人や場所がありますか。	はい	いいえ
(6) あなたは、地元の農畜産物を食べるように心がけていますか。	はい	いいえ
(7) あなたは、市内の商店街（小規模商店）でよく買い物をしていますか。	はい	いいえ
(8) あなたは、生涯学習（趣味・スポーツを含む）に取り組んでいますか。	はい	いいえ
(9) あなたは、日頃からスポーツや運動に親しんでいますか。	はい	いいえ
(10) あなたは、日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいますか。	はい	いいえ
(11) あなたは、地域活動やボランティア、NPO活動に参加していますか。	はい	いいえ
(12) あなたは、まちの情報を、わかりやすく知ることができますか。	はい	いいえ
(13) あなたは、過去1年間に人権を侵害されたと感じたことがありますか。	はい	いいえ

4 まちの現状について

設問 13 まちの現状に関する次の各項目について、あなたのお考えに**最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○印をつけてください。**

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
(1) 瑞浪市は、地域の支え合いや社会保障が充実しており、安心して暮らせるまちだと思いますか。	1	2	3	4
(2) 瑞浪市は、子どもを産み育てやすいまちだと思いますか。	1	2	3	4
(3) 瑞浪市は、障がい者やその家族が安心して暮らせるまちだと思いますか。	1	2	3	4
(4) 瑞浪市は、高齢者が地域で元気に暮らせるまちだと思いますか。	1	2	3	4
(5) 瑞浪市は、利用しやすい公共交通が整っているまちだと思いますか。	1	2	3	4
(6) 瑞浪市は、犯罪や事故対策がしっかりととなされていて、安全で安心なまちだと思いますか。	1	2	3	4
(7) 瑞浪市は、必要な道路が整備され、安全で快適に生活ができているまちだと思いますか。	1	2	3	4
(8) 瑞浪市は、誇りの持てる、魅力あるまちなみだと思いますか。	1	2	3	4
(9) 瑞浪市は、防災対策等が整い、安心して快適な住環境が整ったまちだと思いますか。	1	2	3	4
(10) 瑞浪市は、水洗化推進により、市内を流れる川、身近な水路がきれいなまちだと思いますか。	1	2	3	4
(11) 瑞浪市は、働きやすいまちだと思いますか。	1	2	3	4
(12) 瑞浪市は、市内の産業の活気が高まっているまちだと思いますか。	1	2	3	4
(13) 瑞浪市は、市内の観光資源の魅力が高まっているまちだと思いますか。	1	2	3	4
(14) 瑞浪市は、学校・家庭・地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまちだと思いますか。	1	2	3	4
(15) 瑞浪市は、地域での交流や活動が活発に行われているまちだと思いますか。	1	2	3	4
(16) 瑞浪市は、市民ニーズに合った事業が行われ、まちが良くなっていると思いますか。	1	2	3	4

5 みんなの幸福度について

設問 14 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。 いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください

とても幸せ										とても不幸
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点

設問 15 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。
次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。 <○はいくつでも>

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 家計の状況（所得・消費） | 2. 就業状況（仕事の有無・安定） |
| 3. 健康状況 | 4. 自由な時間 |
| 5. 充実した余暇 | 6. 仕事の充実度 |
| 7. 精神的なゆとり | 8. 趣味、社会貢献などの生きがい |
| 9. 家族関係 | 10. 友人関係 |
| 11. 職場の人間関係 | 12. 地域コミュニティとの関係 |
| 13. その他（ | ） |

設問 16

瑞浪市民の幸福感を高めるために、瑞浪市が特に重点的に実施すべき事業は何だと思いますか。

次の中から5つ選んで○をつけてください。＜5つに○印＞

(1) 人・未来を育むまちづくり

1. 子育て支援 児童館、子育て支援センター、こども園、放課後児童クラブ(学童クラブ)など	2. 就学前教育・学校教育 教育環境及び施設の整備・充実、学業支援員の配置など	3. 生涯学習 生涯学習の推進、図書館の充実、シニア世代への学習機会の提供など
4. 生涯スポーツ スポーツ施設の充実、スポーツ教室の開催、スポーツ指導者等の育成など	5. 文化・芸術・文化財 郷土芸能などの保存、資料館などの施設整備・運営、文化財保護など	6. 人権尊重社会 人権教育、男女共同参画の推進など

(2) 魅力あふれるまちづくり

7. シティプロモーション 交流・関係人口の増加へ向けた取組、地域資源のブランド化の推進、シビックプライドの醸成、多様な情報発信など	8. 協働のまちづくり 地域活動を担う人材・団体の育成、夢づくり地域交付金などまちづくり活動の支援、自治会支援など	9. 住環境 移住定住の促進、住宅耐震化の支援、瑞浪駅周辺再開発、市営住宅の維持管理、地籍調査の実施など
10. まちなみ 景観に配慮した施設整備、屋外広告物の管理、都市公園の整備など	11. 情報共有 情報公開制度、広報みずなみの発行、ホームページやSNS等による情報提供など	

(3) 生涯活躍のまちづくり

12. 地域福祉・社会保障 地域福祉の取組、国民健康保険の運営、国民年金など	13. 健康・医療 健康づくり、健康診断、母子保健、生活習慣病予防、医師確保の取組など	14. 障がい者福祉 障がい者雇用の促進、障がい福祉サービス、支援体制の充実など
15. 高齢者福祉 介護保険事業、老人憩いの家、介護予防教室、長寿クラブの支援など		

(4) 活みなぎるまちづくり

16. 農林業 農産物等直売所、ほ場整備、特産品開発、里山保全、林道整備など	17. 畜産業 家畜伝染病防止、畜産環境の改善、畜産を利用した地域活性化など	18. 商業 商店街活性化、地域交流センターの活用など
19. 工業 みずなみ焼ブランドの販路拡大、企業誘致、創業支援など	20. 観光 観光情報の発信、観光資源の魅力向上、観光連携など	21. 市民生活 市民相談窓口や消費生活相談、勤労者の生活支援、雇用対策の充実など

(5) 持続可能なまちづくり

22. 循環型社会 不燃・可燃ごみの収集、ごみの減量化、リサイクル推進など	23. 環境保全・エネルギー 環境学習の機会と情報提供の充実、公害対策、脱炭素社会の推進など	24. 道路・河川 市道の整備・改良、補修、中小河川の改修、急傾斜地崩壊対策など
25. 上下水道 安定した水道水の供給、上下水道の整備、合併浄化槽設置の促進など	26. 公共交通 コミュニティバス、デマンド交通、地域の交通手段の確保など	27. 消防・防災 防災行政無線等による情報提供体制の構築、消防車両の整備、応急手当知識の普及、消防団の育成など
28. 防犯・交通安全 防犯設備の整備、カーブミラー、ガードレールの整備、交通安全啓発など	29. 行財政運営 行政改革の推進、職員の質の向上、財政の健全化など	

6 その他のご質問

●市の重点施策についてお聞きます。

令和6年度から開始した第7次瑞浪市総合計画では、「子育て支援」と「シティプロモーション」を重点施策として位置付け、本計画の中でも特に戦略的・重点的に取り組むこととしています。

設問 17 「子育て支援」と「シティプロモーション」が本市の重点施策であることを知っていますか。

<1つに○印>

1. 両方とも知っている
2. 「子育て支援」が重点施策であると知っているが、「シティプロモーション」は知らなかった
3. 「シティプロモーション」が重点施策であると知っているが、「子育て支援」は知らなかった
4. 両方とも知らなかった

設問 18 本市の「子育て支援」と「シティプロモーション」の取組が充実していると感じますか。

<1つに○印>

(1) 子育て支援

- | | | |
|--------------|-------------|---------------|
| 1. とても充実している | 2. やや充実している | 3. あまり充実していない |
| 4. 充実していない | 5. わからない | |

(2) シティプロモーション

- | | | |
|--------------|-------------|---------------|
| 1. とても充実している | 2. やや充実している | 3. あまり充実していない |
| 4. 充実していない | 5. わからない | |

設問 19 「子育て支援」と「シティプロモーション」について、今後特に力を入れてほしい取組を、各分野につき最大3つまで選んで○をつけてください。

(1) 子育て支援 <1から15の中から最大3つまで○印>

1. 給食費の無償化
2. 出産や進学などの節目のタイミングでの一時給付金やクーポン配布、子育て用品の支給
3. 子育て支援サービスを利用した場合の補助・支援金制度の創設
4. 公園の遊具の更新・大型遊具の設置
5. 雨の日でも遊べる屋内プレイスペースの整備
6. 安全に送迎・通学できる歩道の整備
7. 一時預かり等保育サービスの拡充
8. 保育園・学童等の子どもを預ける施設の整備
9. 児童館等の子どもの居場所の充実
10. 早期療育と療育支援体制の充実
11. 家事支援ヘルパー派遣などの訪問型支援
12. 子育て全般に関する気軽な相談機関の充実
13. 地域の子育て支援センターやサロンの増設
14. 多世代が交流できるコミュニティ拠点の整備
15. 地域でのボランティア活動の促進・支援

(2) シティプロモーション <1から16の中から最大3つまで○印>

1. SNS (Instagram、X、YouTube 等) を活用した若者向けの情報発信
2. 市の魅力を発信する PR 動画の制作
3. ドラマや映画などのロケ誘致による市の魅力発信
4. 子育て世帯や移住希望者などに向けた情報サイトの充実
5. 市の魅力を体験できるイベント (化石採集体験、グルメフェスなど) の開催
6. 空き家の活用や改修への支援
7. 市に人を呼び込む体験プログラムの充実 (お試し移住など)
8. 移住相談員による個別相談などの移住支援の充実
9. 若者世帯や新婚世帯の住まいへの支援 (家賃や住宅購入)
10. 特産品の PR やブランド化、ふるさと納税返礼品の充実や販路拡大
11. 歴史的建造物や文化財などの地域資源を活用した観光の充実
12. 地域の伝統行事や祭りの継承・支援
13. 瑞浪市のシンボルとなる景観やスポットの整備
14. 市民主体のイベントやまちづくり活動への支援や補助の充実
15. 郷土学習など地域の魅力を学ぶ教育の充実
16. 市だけでなく、市民や企業などあらゆる主体がシティプロモーションに取り組める体制の構築

● 証明書コンビニ交付サービスについてお聞きます。

設問 20 住民票などの証明書について、全国のコンビニ等に設置してある端末から交付を受けられるサービスが、瑞浪市で開始されていることを知っていますか。 <1つに○印>

1. 知っている
2. 知らない

設問 21 あなたは、証明書コンビニ交付サービスを利用したことがありますか。

<1つに○印>

1. ある → 問 22 へ
2. ない → 問 23 へ

設問 22 設問 21 で「1. ある」と答えた方にお聞きます。

証明書コンビニ交付サービスを利用した全体的な満足度を教えてください。 <1つに○印>

21. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

設問 23 今後利用される機会があることを含め、証明書コンビニ交付サービスの便利さについてどのように感じますか。 <1つに○印>

1. 非常に便利 2. 便利 3. 変わらない 4. 不便 5. 非常に不便

市民の皆さんの暮らしを豊かにするために、意見や提案（アイデア）、瑞浪市の将来像や夢をお持ちでしたら、是非、お聞かせください。

[illegible]

締め切りの **6月30日（火）** までに、
ご投函くださるようお願いいたします。

